

外務省  
記録

自  
年  
月  
日

本邦に於ける右翼運動及び  
全団体関係雑件

第

巻

I  
4  
5  
1  
16

自  
年  
月  
日

本邦に於ける右翼運動及び  
全団体関係雑件

第

巻

I-0726

第三一號

昭和十年五月

國內情勢調查資料第六輯

主要國家主義團體便覽

秘

外務省調查部

I-0726

0006

凡例

- 一、國家主義團體ニ關シテハ、曩ニ當部編『右翼運動ノ現勢』（國內情勢調査資料第三輯）ニ於テ一應調査済ミノ次第ナルカ右ハ、稍々詳細ニ過キ、閱讀ニ不便ナルヤノ嫌ヒナキニ非サル一方、右調査作成以後ニ於テ、國家主義團體ニ相當ノ變動モアリ、旁々昭和十年五月現在ニ於ケル國家主義團體中其ノ主要ナルモノニ關シテ簡便ニ其ノ概念ヲ獲ルニ資スル目的ヲ以テ、今般『主要國家主義團體便覽』ヲ作成シタリ。
- 一、國家主義團體ノ系統ニ關シテハ、其ノ大體ノ傾向竝ニ特徴ニヨリ便宜之ヲ（イ）一般國家主義團體（ロ）軍人中心團體（ハ）教化團體ノ三者ニ分チ採録シタリ。
- 一、國家主義團體ハ之ヲ名稱ノ五十音順ニ據リ配列シタルカ便宜上「ク」ハ「カ」、「キ」ハ「イ」、「ヲ」ハ「オ」、「エ」ハ「エ」、「ヤウ」ハ「ヨウ」ニ夫々統一配列シタリ。

昭和十年五月

外務省調査部

I-0726

### 主要國家主義團體便覽

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
愛國革新聯盟	一般國家主義團體	東京市深川區本村町一六一	昭七二	—	伊藤信司、高田純吉、矢吹良介、佐藤恒吉、中村八重、荒井重兒、石原道山 (會員數) 約一〇〇名	一、皇室中心主義ニ基キ皇道ヲ中外ニ宣揚ス 二、大亞細亞聯盟樹立ニ邁進ス 三、腐敗政黨ノ淨化刷新ヲ期ス 四、亡國赤化思想ノ撲滅ヲ期ス
愛國學生聯盟	一般國家主義團體	東京市瀧野川區田端五六五	昭六、〇	愛國新聞	樋口喜定、坂本保之介 (會員數) 約八、〇〇〇名	吾等ハ純真ナル學徒ノ立場ヨリ犧牲殉國ノ精神ヲ以テ團結シ皇日本建設皇道宣布ノ前衛タラシコトヲ誓フ 一、吾等ハ建學ノ本旨ニ則リ文武ヲ勵ミ修徳、習業、品位アル國民タラシコトヲ期ス 二、吾等ハ享樂懦弱ノ弊風ヲ打破シ實質剛健ナル氣風ヲ作興ス 三、吾等ハ學園内ノ非國家思想ヲ一掃シ學園ヲシテ熾烈ナル愛國精神ノ源泉タラシメ一日緩急アル秋進

ア (愛國革新聯盟、愛國學生聯盟)

ア (愛國皇民黨、愛國社、愛國政治同盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
愛國皇民黨	一般國 家主義 團體	東京市小石川區指ヶ谷町一四六	昭三不明	—	浦部武夫 (目下會員ト稱スルモノナシ)	一、テ祖國防衛ノ第一線ニ立チ義勇奉公ノ赤誠ヲ致サントトナス 一、吾等ハ盟誓ニ基キ文化百般ノ是正向上ヲ期ス 皇室中心主義ヲ稱ヘテ共產主義ヲ標榜スル徒輩ニ對シテハ絕對之レヲ排撃シ國體擁護ヲ以テ目的トナス
愛國社	一般國 家主義 團體	東京市芝區白金臺町一ノ八一	昭三、八	愛國新	岩田愛之助 (會員數) 約二〇〇名	一、愛國社ハ對支問題及思想問題ノ研究ヲ爲ス等問題ノ發生スル毎ニ重立者ノ會議ニ係リ種々ナル運動ヲ爲スモノナリ 二、本會ハ大陸積極政策ノ遂行及研究並ニ思想問題ノ研究ヲ以テ目的トス
愛國政治同盟	一般國 家主義 團體	東京市麴町區内幸町一ノ七、幸ビル六階	昭七、五	維新日本	小池四郎 陶山篤太郎 藤岡文六 山元龜次郎 今村 等 山名義鶴 森直次 大槻正秋 五十嵐治孝 (會員數) 約六五〇名	綱領 一、君萬民ノ國民精神ニ基キ搾取ナキ新日本ノ建設ヲ期ス 一、我黨ハ國民運動ニヨリ金權支配ヲ廢シ皇道政治ノ徹底ヲ期ス 一、我黨ハ合法的手段ニヨリ資本主義機構ヲ打破シ國家統制經濟ノ實現ニヨリ國民生活ノ保護ヲ期ス 一、我黨ハ人種平等資源平衡ノ原則ニ基キアジア民族ノ解放ヲ期ス

ア (愛國青年同盟、愛國青年聯盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
愛國青年同盟	一般國 家主義 團體	東京府八王子市千代町一三八	昭七、二	—	野口 幹 番場源太郎 山田健雄 小川 昌 山上孝太郎 山口 清 町田又吉 寺田勝之 横溝泰山	本同盟ハ皇道維新新行ヲ促進セシムル爲左ノ事項ヲ貫徹ヲ期ス 一、大日本主義政府ノ樹立 一、大日本主義政黨ノ出現 一、大日本主義教育ノ徹底 一、大日本主義宗教ノ普及 一、皇道經濟ノ確立
愛國青年聯盟	一般國 家主義 團體	東京市麴町區有樂町一ノ六、大正ビル内	昭七、三	愛國新	林 逸郎 兒玉信夫 柳野 茂道 神保幸三郎 山野 邊潔 服部 豊 松井 秀雄 野崎 義雄 淺野 逸郎 (會員數) 約二五〇名	綱領 一、吾等ハ建國ノ本旨ニ則リ刻苦勉勵以テ人格向上ヲ圖リ國家ノ忠良ナル臣民タラントトナス 一、吾等ハ欺瞞政治ヲ排撃シ非國家主義的思想ヲ撲滅ヲ期ス 一、吾等ハ大陸積極政策ノ確立遂行ヲ期ス 一、吾等ハ常ニ愛國ノ眞髓ニ基キ祖國防衛ノ士タラントトナス 一、吾等ハ正義ニヨリ正シキ輿論ヲ喚起ヲ期ス

I-0726

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
愛國戰士救援會	一般國 家主義 團體	東京市四谷 區新宿一阪 井ビル改造 之日本社内	昭八、九	愛國戰 士救援 會報	頭山 滿 八幡 博 吉田 益三 花井 益三 細川 潤一 角 岡 知良	本會ハ愛國戰士ノ解放、滅刑、救援 運動ニ從事セントスル者及廣ク此等 運動ヘノ同情者ヲ以テ構成ス
愛國同志會	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區下二番町 七	大四、二	愛國 同志會	一條 實孝 川口 彦治 安達 房次郎 守屋 源次郎 南 暉吉	一、吾人同志ハ天業ヲ承シ大ニ國 體ノ精華ヲ發揮セントコトナリ 一、吾人同志ハ國防ノ充實ヲ遂ゲ東 亞民族ノ血盟ヲ固リ我民族ノ世界 的使命ヲ實現セントコトナリ 一、吾人同志ハ道徳ヲ本トスル健全 ナル立憲政治ヲ確立セントコトナリ 一、吾人同志ハ浮華放縱危險ヲ矯メ 國體ニ立脚シテ國民生活ノ擴充發 展ヲ期ス
愛國法曹聯盟	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區有樂町一 ノ六 大正 ビル内	昭七、五	愛國新 聞	角 岡 知良 伊 藤 清 福 田 秀一 兒 玉 信夫 中 里 義夫 五十嵐 治孝 木下好太郎 草野 正慶 中里 義夫	社會正義ノ擁護者ヲ以テ任スル在野 法曹タル我等同志結成シテ起テ法律 ノ權威ヲ失墜セシメ世相ヲ暗黒ナラ シメル之等ノ陋習妄想ヲ排擊廢止シ テ崇高至純ナル日本精神ニ基キ凡ソ ル法律ノ解釋適用並ニ改善ニ精進セ ン

ア(愛國戰士救援會、愛國同志會、愛國法曹聯盟)

四

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
愛國勞動聯盟	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區有樂町一 ノ六 大正 ビル内	昭八、四	愛國新 聞	伊 藤 清 青 山 憲 原 田 治 島 田 治 林 田 治 本 田 治 市 郎	一、吾等ハ建國ノ精神ニ則リ労働者 獨自ノ立場ニヨル政治的經濟的社 會的要求ノ貫徹ノため全國労働者 ノ組織的結合ヲ期ス 一、吾等ハ共産主義及ビ左翼労働組 合ニ尖鋭ニ對抗シ是ガ克服ヲ期ス 一、政黨政治及ビ自由競争の資本主 義機構ノ積弊ヲ覆シ愛國精神ニ基 ク是ガ改革ヲ期ス 一、吾等ハ勤勞奉仕以テ國家産業ノ 興隆ヲ計ルト共ニ相互扶助ノ實ヲ 舉ゲムコトナリ
維新國策審議會	一般國 家主義 團體	東京麴町區 丸ノ内三ノ 八(假事務 所)	昭一〇、一		島 中 雄三 宮 崎 龍三 山 崎 純吉 相 田 信吉 小 池 四郎 杉 浦 武雄 工 藤 蒙吉	現經濟機構ノ變改是正ニ關スル具體 的方策ト手段トヲ審議ス

ア(愛國勞動聯盟) イ(維新國策審議會)

五

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
維新青年隊	一般國家主義團體	東京市麹町區内幸町一ノ七幸ビル六階	昭九四	—	佐々木武雄 大川兼一 藏本正義	<p>隊 誓 詞</p> <p>我等ハ愛國政治同盟ノ綱領ヲ信奉シ維新運動ノ先驅的實踐ニ獻身ス</p> <p>隊 律</p> <p>一、國士ノ誓ハ死ヲ以テスルモ之ニ悖ルベカラズ</p> <p>一、ヨロシク大勇ニツキ徒ラニ功ヲ爭フベカラズ</p> <p>一、後進ハ身ヲ以テ先進ニ代リ先進ハ克ク後進ノ爲ニ謀ルベシ</p> <p>一、困苦缺乏艱難ニ堪ヘ從容挺身以テ部署ニ任ズベシ</p> <p>一、君ヲ念ヒ國ヲ憂フ生死何カアラム至誠一貫ヨク天下ノ難ニ赴クベシ</p>
維新同盟	一般國家主義團體	東京市澁谷區榮町通リ一ノ二	昭七七	維新公論	西澤公雄 大林一之 吉永 侃 伊藤金五郎	<p>一、大日本帝國ノ大精神ニ基キ皇道ヲ奉シテ中外ニ宣揚ス</p> <p>一、國體ヲ明辨シテ皇座ヲ尊崇シ神佛ヲ敬信ス</p> <p>一、内ニハ社會正義ニ基キ國民生活問題ヲ解決シテ共存共榮ヲ樂シム</p> <p>一、外ニハ國際正義ニ則リ地球表面ノ利用權ヲ平等ナラシメ永久平和ヲ實現ス</p> <p>一、信ト行トテ一致セシメテ人格ノ完成ヲ期スベク國民ノ訓練ニ勉ム</p>

4 (維新青年隊、維新同盟)

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
彌榮會	一般國家主義團體	東京市麹町區九段三ノ四	昭四七	皇道新開	白川資七 木村平太郎 大橋常三郎 宮入清四郎 相馬由也 李 東 雨 曾根朝起	<p>一、君意民心相即不二ノ精神ノ大道ヲ奉シテ中外ニ宣揚ス</p> <p>一、國體ヲ明辨シテ皇座ヲ尊崇シ神佛ヲ敬信ス</p> <p>一、内ニハ社會正義ニ基キ國民生活問題ヲ解決シテ共存共榮ヲ樂シム</p> <p>一、外ニハ國際正義ニ則リ地球表面ノ利用權ヲ平等ナラシメ永久平和ヲ實現ス</p> <p>一、信ト行トテ一致セシメテ人格ノ完成ヲ期スベク國民ノ訓練ニ勉ム</p>
櫻華聯盟	教化團體	東京市澁谷區櫻田三ノ一九一	昭六一	櫻華	佐藤卓藏 内田虎三郎 二木謙三 加藤 傳	<p>一、櫻華聯盟ハ何ノ規則モ制度モナク「富士」ト櫻ノ實現即チ全日本櫻華運動ノ徹底目的トシ神社佛閣、名所、史蹟或ハ義人志士ノ遺蹟ニ植樹シテ保存宣揚ニ努メル</p> <p>一、連絡機關アル</p> <p>一、櫻華聯盟ノ同志ハ年一回一本以上何カ有意義ナル日ニ樹ヲ植エルコトヲ申シ合セヨク實行ハ必ズ守ルコト</p>
恢弘會	軍人中心團體	東京市麹町區九段坂上偕行社内	大三四	恢弘	大井成元 筑紫熊七 佐藤鐵太郎 松井庫之助 奥平後藏 海軍寶之助 高田豐樹 南郷次郎	<p>一、明治天皇ノ御遺徳ヲ顯揚シ今上陛下ノ聖旨ヲ奉體シテ國民精神ヲ作興シ時弊ヲ矯正シ以テ國體ヲ精進ヲ發揚センコトヲ期ス</p>

4 (彌榮會) 才 (櫻華聯盟) カ (恢弘會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
回天時報社	一般國 家主義 團體	東京市赤坂 區青山南町 五ノ五四	大五〇〇	—	八木 龍 佐藤清 遠藤 格 兩角三郎 佐藤 卓 (會員數) 二、五〇〇名	一、教育國防等ニ關スル事項ヲ討究 シ以テ國運ノ發展ニ資センコトヲ 期ス 一切ノ非日本の思想的學術的折伏 及之ニ基調セル大陸政策ノ確立ヲ期 ス
鶴鳴莊	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區內幸町一 ノ六	昭六三	—	榎 建 甫 村上 芳 榎 建 克 夫 嘉納 信 高木 普	一、吾人ハ皇祖國ノ神勅ヲ奉戴シ 皇道ノ大義ヲ闡明シテ國魂ヲ精體 シテ恢弘ス 一、吾人ハ皇室中心國家本位ノ政治 ヲ奉行ス 一、吾人ハ自主ト正義ノ外交ヲ斷行 シ以テ國威ノ發揚ヲ計リ大日本主 義ニヨル全亞細亞皇化ノ實現ニ努 力ス 一、吾人ハ右ニ背馳スル主義主張行 動ヲ排撃シ難キ避ケズ一死以テ之 ガ貫徹ヲ期ス
汗山莊	一般國 家主義 團體	東京市四谷 區永住町二 入江方	大五〇四	—	入江 種 矩 川島 浪 速 五百木 良 三	主 張 一、日本海文明ノ確立 一、滿蒙王國建設 一、大亞細亞民族ノ自覺奮起

カ(回天時報社、鶴鳴莊、汗山莊)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
關東玄洋社	一般國 家主義 團體	東京市芝區 芝公園一號 ノ八	大四三	—	岡安 三 郎 田中 正 次 郎 渡邊 千 冬 高山 公 道 中山 友 藏 梅津 勳 兵 衛 小島 長 次 郎 金 井 米 吉 松本 清 太郎 篠 信 太 郎 中村 三 吉 平 松 兼 三 郎 倉持 直 吉 鈴木 榮 太 郎 (會員數) 約五、〇〇〇名	一、本會ハ一黨專心皇室中心主義ニ 結束シ益々實行の威力ヲ擴張スル ト共ニ最モ其ノ行動ヲ慎重ニシ我 國體ヲ擁護シ其ノ精華ヲ發揚スル 爲メ好機ニ投シテ全力ヲ傾注セン コトヲ期ス 一、本會ハ政黨派ニ超越シテ嚴正 批判ノ位置ニ立脚シ苟モ我國體ノ 基礎ヲ搖シ道徳ノ淵源ヲ危ケスル 一切ノ事相ヲ排除センコトヲ圖ル ベシ 一、本會ハ現時ノ世態ニ鑑ミ進ミテ 社會の正當防衛ニ當リ誠實ナル公 論正義ヲ接護シ其ノ健全ナル發達 ニ貢獻センコトヲ努ムヘシ
關東國粹會	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區內幸町二 ノ四虎ノ門 ビル	大八〇〇	「國粹」	友野 直 二 増田 忠 雄 宮川 守 善 後藤 一 男 野田 培 夫 (會員數) 約五〇〇名	我日本ハ國ヲ肇ムルコト安遠ニシテ 德ヲ樹ツルコト新ナリ故ニ吾人ハ詭 ノ天ノ明命ニ順ミ盛ニ維新ノ經綸ヲ 行ヒ進ンテ大義ヲ四海ニ布キ以テ人 類ノ進歩ト光榮トナシ顯揚スベク左ノ 綱領ニヨリ邁進スルモノトス 一、傳統ヲ尙ヒ天業ヲ震贊ス
舊邦社	一般國 家主義 團體	東京市麻布 區田島町三 六	昭三二	—	—	—

カ(關東玄洋社、關東國粹會)キ(舊邦社)



名 稱	系 統	本 部 所 在 地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義、 綱 領
錦旗會	一般國 家主義 團體	東京市牛込 區原町三ノ 五九	昭三、五	錦旗	遠藤友四郎  (讀者數約七〇〇名ト稱ス)	一、義ニ據リ道ニ遊ヒ維新ノ經綸ヲ行フ 一、學ヲ勉メ職ヲ勤ミ俗ヲ替スルモ風ヲ改メス 一、我等ハ日本現津神ニシテ慈父ナル上御一人ト臣子ニシテ赤子タル下國民トシテ神作ラナル合一體タルコトヲ信ス 一、我等ハ吾神威日本ノ君ト臣ト國士トノ即チ不離ニ於ケル天壤無窮性ト之ヲ抱懷シ表現セル吾民族祖先ノ思想的精神偉大性ト而シテ是等ヲ基トシテ優越シ來レル民族國家獨特ノ歴史の個性ヲ信ズ (他ハ省略)
金鷄學院	教化團 體	東京市小石 川區原町一 二	昭三、四	—	酒井忠正 安岡正篤  (會員數) 一一、〇〇〇乃至一三、〇〇〇名ト稱ス	一、儒教ヲ中心ニ東西聖賢ノ學ヲ修ム 一、特ニ日本民族精神並ニ國體ト治道トヲ研究シ社禮ノ士ヲ養フ 一、政治經濟ノ代用ヲ習ヒ世界ノ情勢ヲ講究ス

キ (錦旗會、金鷄學院)

一〇

名 稱	系 統	本 部 所 在 地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義、 綱 領
勤皇維新同盟	一般國 家主義 團體	東京市小石 川區水道端 町二ノ六 直心道場	昭七、一	—	永井了吉 田尻準人 三浦大寬 大森一登 石渡山達 三浦延次  (會員數) 約二、三百名ト稱スルモ事實ハ少數ノ見込	一、我等ハ建國報業ノ第一義ニ立脚シ歴史ニヨリ維新ノ興國運動ニ直進スル 一、我等ハ明治維新ノ第二次運動トシテ民主的機關ノ返上奉還ヲ絶叫スル 一、我等ハ大化改新ノ精神ニ復古シ民有生産ノ皇本の統制並ニ政治經濟文化等萬般ノ日本の大完成ヲ要望スル 吾等ノ標語 一、明治維新ノ第二次完成 一、大化改新ノ精神の復古 一、尊皇第二維新ノ大成就 一、舉國團結シテ外ニ延擧スベク政罪財禍ノ根源ヲ一掃セヨ 一、國家社會主義ノ不徹底ヲ戒メ國民資本主義ノ倒壞ヲ期セ
勤王會	一般國 家主義 團體	東京市麻布 區六本木二 七	昭七、八	—	角岡知良 若宮卯之助 紀平正義 三井甲之 川手忠義 巽田胸喜	主義 對立思想個人主義ノ誤謬ヲ正シ全國民一致シテ國體ニ歸依シ忠義臣道ヲ實現セントス 綱領 教育勸諭 軍人勸諭、明治天皇御集ヲ經典ト仰キ精神文化、社會歴史科學ノ研究方法、論理學ヲ確立シテ思

キ (勤皇維新同盟、勤王會)

一一

I-0726

キ(皇勳聯盟、勤勞日本黨)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
勤皇聯盟	一般國家主義團體	東京市四谷區南寺町四二	大二三一	勤皇	菊地武夫、佐藤清勝、久世爲次郎、菅澤重雄、豐田朝喜、鈴木勇、吉田勝退、鈴木庸之助 (會員數) 約五〇〇〇名	一、國民思想ノ進化防止團體擁護、忠君愛國心涵養ノタメ天皇中心主義ヲ國民ニ宣傳シ鼓吹スルヲ以テ目的トス 二、會員ハ忠君愛國ヲ主眼トスル天皇中心主義ヲ固守シテ天皇及皇室ヲ尊敬シ苟クモ不純思想ヲ抱カサルコト 三、會員ハ諸福利ヲ遵奉シ一致協力以テ國運發展ヲ期スルコト 四、會員ハ日本魂ノ所有者トシテ如何ナル誘拐ニ遭フモ不純思想ニ染マズ身命ヲ惜シマズ日本國體ヲ擁護スルコト 五、我黨ハ國體ノ本義ニ基キ金權政治ノ介在ヲ排除シ君民一如理想國家ノ實現ヲ期ス
勤勞日本黨	社會主義運動轉向派	東京市神田區美土代町二ノ一	昭九四	日勤本勞	松谷與次郎、近藤榮藏、白鳥廣近、齋藤武彌、藤本與市、五十嵐隆	一、我黨ハ行詰マレル資本主義機構ヲ合理的ニ改廢シ國民生活ノ改善ヲ期ス 二、我黨ハ愛國精神ニ基ク國民道德ヲ振興シ以テ社會惡ノ克服ヲ期ス 三、我黨ハ世界平和ノ基礎ニ立チ人種平等ヲ期ス 四、我黨ハ社會改造ノ根本原理トシテ國家社會主義ヲ信奉ス 五、惟神ノ大道ニ立脚シテ皇道ヲ中外ニ宣揚ス 六、天皇政治ヲ確立シテ議會中心主義ヲ打倒ス 七、日本國體ニ背反スル一切ノ既成政黨及赤色無產政黨ヲ撲滅ス 八、日本ノ國體原理ニ背反スル資本主義的經濟制度ニ反對シ天皇ノ下ニ産業大權ヲ確立シテ實現シ一君萬民ノ無權取國家ヲ建設セシムコトヲ期ス 九、共產主義、社會民主主義、國家社會主義等一切ノ社會主義ト對立シ嚴守トシテ之ヲ討滅ヲ期ス 十、日本主義ノ旗ノ下ニ六合ヲ兼テ宇トナシ八紘ヲ地フテ都ヲ開ク建國ノ理想ヲ實現ス

ケ(建國會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
建國會	一般國家主義團體	東京市荒川區三河島六ノ七五	大五二	皇道	深田吟治郎、宇佐美勝次、川出雄次郎、本田滋二、瀧川末一	一、我黨ハ行詰マレル資本主義機構ヲ合理的ニ改廢シ國民生活ノ改善ヲ期ス 二、我黨ハ愛國精神ニ基ク國民道德ヲ振興シ以テ社會惡ノ克服ヲ期ス 三、我黨ハ世界平和ノ基礎ニ立チ人種平等ヲ期ス 四、我黨ハ社會改造ノ根本原理トシテ國家社會主義ヲ信奉ス 五、惟神ノ大道ニ立脚シテ皇道ヲ中外ニ宣揚ス 六、天皇政治ヲ確立シテ議會中心主義ヲ打倒ス 七、日本國體ニ背反スル一切ノ既成政黨及赤色無產政黨ヲ撲滅ス 八、日本ノ國體原理ニ背反スル資本主義的經濟制度ニ反對シ天皇ノ下ニ産業大權ヲ確立シテ實現シ一君萬民ノ無權取國家ヲ建設セシムコトヲ期ス 九、共產主義、社會民主主義、國家社會主義等一切ノ社會主義ト對立シ嚴守トシテ之ヲ討滅ヲ期ス 十、日本主義ノ旗ノ下ニ六合ヲ兼テ宇トナシ八紘ヲ地フテ都ヲ開ク建國ノ理想ヲ實現ス

ケ(芝洋社、原理日本軍、原理日本社)

名称	系統	本部所在地	創立	機関紙	主要人物及役員数	主義、綱領
玄洋社	一般國 家主義 團體	福岡市西職 人町	明三 詳不	—	喜多島淳 頭山満	一、皇室ヲ敬重スベシ 一、本國ヲ敬重スベシ 一、人民ノ權利ヲ固守スベシ 右ノ條々各自ノ安寧幸福ヲ保全スル 基ナレバ熱望シテ子々孫々ニ傳ヘ 人類ノ此世界ニ絶エザル間ハ決シテ 之ヲ換フルコトナカルベシ若シ後世 子孫之ニ背反セバ粹然タル日本人 ノ後昆ニ非ズ突嗟呼服スベキ哉此 憲則、集議可決ス、長ク芝洋社ノ骨 髓ナリ
原理日本軍	一般國 家主義 團體	東京市産橋 區西大久保 二ノ三四五	大八不詳	—	鬼倉重次郎	一、眞實素朴ノ心ヲモツテ現實アル カ儘ノ自己ト人生トヲ觀ルモノ トツテハ外ニ示サル警覺精進ノ*
原理日本社	一般國 家主義 團體	東京市世田 區區若林二 七八	大五一 —	原理日 本	宮崎五郎 上領一郎 三井甲之	一、眞實素朴ノ心ヲモツテ現實アル カ儘ノ自己ト人生トヲ觀ルモノ トツテハ外ニ示サル警覺精進ノ*

一、コノ現實的理想主義ハ、ハヤ古事記萬葉集ニツキ素實アラハナル根源の根本精神ノ思想の特質アリ、日本文化史ノ各時代ヲ貫テ出沒隱見シツツ日本民族生活ヲ支持シ來タリ、東西洋ノ外來文化トノ接觸交流ノ劃時的展開ノ諸

ケ(原理日本社)

階次に於テ内的勝利ノ凱歌ヲ奏セタマフテアル  
一、ワレハカクノ如キ意味ニ於ケル日本文化史上ノ思想の偉人戰士トシテ、ソレ故ニ祖國守護ノウツクシキ神靈トシテ聖徳太子、人麿、實朝、親鸞、愚管抄著者、素行、松陰、近ハ井上毅、正岡子規等ヲ顯シ、マタ長カレド、明治天皇ヲ仰キマツルヲテアル。道元、日蓮、芭蕉、宣長、福澤諭吉等ハ海嶽の二外的要素ノ内的純化ニ最後ノ一線ニ於テ「日本の」ニ缺ケル所ヲ認メシムルヲテアル。猶ソレヲ顧ミシムルモノガアル。マタ近ク高山樗牛ト岩野泡鳴トハ「日本主義」ノ名ノ下ニ戰ハシ先驅同志トシテ大須賀乙字、大津康ト共ニ、イマソレナガラ新ニコソノトナミテ始ムルニ當ツテ悲シキ心ヲ以テ追憶スル所デアリ

一、ワレハワレヲコソ日本國民生活ノ思想の産物ノ傳統ガ、全國民ト祖國永久生命ノタメニ、マタ同時ニ世界文化ト人類生活ノ理想トヲタメニ歐洲ノソレニ比較シテ、マタ新興ノ北米合衆國ノソレニ比較シテ、維持長養スルニ價值アルモノトシテ正當ニ評價確信セラルベキニ中外全世界ニ向ツテ宣言シ要求スル、何トナレバ日本ノ文化ハ現在並ニ將來ノ世界文化ト人類生活ノ理想トヲタメニ既ニ確立セラレタル「世界文化單位」トシテ必須缺クベカラザルモノデアリ日本文化が獨立國家日本ニツキ現實の基礎ヲ置カスモノデアラウナラバ、ソレハ世界文化ト人類生活史上ノ重大價值ヲ經緯ニ導クト共ニ、マタ獨立國家日本ノ保障ニヨツテ直接間接ニソノ國家的獨立ヲ維持シツツアル人類全民族ノ過半ヲ致命の没落ニ陥ルモノデアラカテアル

一、ワレハワレヲコソ國際國民生活事實ニ對シテ現狀維持困難固執ノ態度ヲトルモノデハナイ、日本無窮ノ生命ハ不斷ノ交通ト改革ニヨツテ合成創造セラルルモノコソ世界全人類生活ノ流動的展開ニ隨順スルコトニヨリテノミ實現セラルベキチ信ズル、ワレハソノタメニ内外物心一切ノ迷信障礙ヲ打破シヨウニスルノデアリ、即チワレヲノ現實經驗ト思想信念トヲ藝術的表現ニヨツテ直示スルト共ニ、「世界文化單位」トシテ既ニ確立セラレタル「原理日本」ヲ究明宣説シ、ワレヲノ人類思想生活史上ニ於ケル迷信打破事業トシテノ不斷思想學術改革ヲ實行シテ現在及ビ將來ノ國際國民生活經營トシテノ政治、外交、社會、經濟制度ノ不斷改革ニ進展セシメントスルノデアリ

一、コソワレヲハ舊來ノ神佛ト云フ如キ實體概念ニ固執スル東西ノ神話、神學的宗教ソノ近代の變形トシテノ舊式形而上學乃至冥想理想主義哲學マタソレヲニ厭ハセトコロノ地上天國ヲ夢想スル喜劇的人生觀ヲ以テシテ凶暴殘忍ノ過激突進革命ヲ宣傳實行セントスル無政府、共產主義共ノ他ノ空想世界、人道、國際平和主義マタ一般思想態度トシテノ個人主義ソレヲ基礎トスル限リ資本主義、黨派主義、名目ヲケノ偽善的國家主義乃至外來思想「原理日本」ヲ信セズ認主主義等ヲ含メテ凡ソ日本國民ノ思想の素質ト、ソノ綜合生成の傳統生命ノ無極開展ヲ即チ「原理日本」ヲ信セズ認メザル内外一切ノ思想運動ニ對シテ不斷連續ノ永久思想戰ヲ宣言スル

一、智識ヲ世界ニ求メ大イニ皇基ヲ振起スベシ、コソノ半バ成就セラレタル、ワレヲノ父祖ノ世界的自己宣言チイヤマシ成就セムコトガ、ワレヲノ絶エセヌイノテアリマス盡キザルイノナミデアリ

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
皇維會	一般國家主義團體	東京市麻布區本村町一五二	昭八三	皇維	原田政治 大崎嘉一 薩摩雄次 松尾友太	一、建國ノ大本ヲ擴充シ皇道維新ノ大業ヲ恢弘スベシ 一、皇國日本ノ實體ヲ世界ニ顯現シ皇道ノ大生命ヲ宣布スベシ 一、皇道政治經濟ノ確立ヲ期シ文武庶民其ノ位ニ就キ其ノ本分ヲ盡シ以テ皇國日本ノ使命ヲ完フスベシ 一、滿洲建國ノ生命ヲ徹底セシメ以テ大亞細亞聯盟建設ニ導クベシ
興國義會	一般國家主義團體	東京市芝區田村町二ノ一内田ビル	昭四一		松林 亮	主張 主要内政問題ノ是正
皇國國旗會	教化團體	東京市淀橋區角管三ノ一四三	不詳		近藤 實 原口祐生 中村雅成 島内正義 伊藤 聖 須田輝雄 伊藤 聖 沖口千七 井口越南	本會ハ國旗ニ對スル敬意尊重ノ觀念ヲ誘導シ之レヲ取扱ヒテ揭示シ揚擧ナシ國民精神ノ作興ニ努ムルモノトス
興國社	一般國家主義團體	東京市四谷區單町五ノ六	不詳			

コ(皇維會、興國義會、皇國國旗會、興國社)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
興國青年同盟	一般國家主義團體	京都市左京區八條内田町六一	昭五二	興青ニユース	柴山 滿	
興國同志會	教化團體	東京市淀橋區西大久保二ノ二三六	昭七六	興國後藤靜香 興國新(會員數)約四〇〇〇名ト稱ス	中崎辰九郎	一、我等ノ運動ハ宗派政黨階級年齡民族等ノ一切ヲ超越ス 一、我等ハ心身ノ修練、學藝ノ習熟並ニ情操ノ敦養ニ努メ各自ノ全能力ヲ發揮ス 一、我等ハ互ニ敬ヒ互ニ位シ同胞相愛以テ共存共榮ノ社會ヲ建設ス 一、我等ハ勤勞ヲ尊ビ各自ノ本務ニ精勵シ進ンテ國家ノ興隆ニ實シ以テ國力ノ充實ヲ期ス
興國統盟	一般國家主義團體	東京市麩町區内幸町幸ビル内	昭九一	興國運動	中崎辰九郎 鬼塚多門	皇道ヲ守リ日本精神ニ生キントスル同志相結ビ偏々タル理論ヲ弄バズ輕々ナル行動ニ走ラズ中正眞摯ナル輿論ノ根幹トナリ剛健實ナル國民ノ中堅トシテ事ヲ期ス
皇國擁護會	一般國家主義團體	東京市荒川區日暮里町九ノ一一〇	大三七		本多輝雄 秋草愛一 田邊普人 山越長七 並木彌十郎 朝比奈秀徳	一、皇國建立ノ大義ヲ奉シ祖宗ノ遺訓ヲ守リ忠勇義烈ノ精神ヲ振作シ以テ仁禮ヲ宇内ニ布クベシ 一、明治維新ノ御誓文ヲ體シ憲法ノ條章ニ隨ヒ君民合同ノ實ヲ顯彰シ

コ(興國青年同盟、興國同志會、興國統盟、皇國擁護會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義・綱領
更始一新會	一般國 家主義 團體	東京市品川 區大井町 三五四五	昭七 九	報 華期時 角田清彦	約一〇名 (會員數)	<p>人類平等ノ原理ヲ宣揚スベシ</p> <p>一、政、教、國策ノ樹立ニ超越シ實 實剛健博愛共存ノ道ヲ篤クシ智徳 ヲ並進シ盛ニ經綸ヲ行フベシ</p> <p>一、分限ヲ重シシ大義ノ存スル所死 ヲ以テ之ヲ踐メ</p> <p>一、他人事ハ我事ト思ヒ慈悲仁愛ヲ 旨トシテ判斷處置シ我事ハ他人事 ト思ヒ嚴格ニ反省批判セヨ</p> <p>一、因果ノ理法ヲ忘レルナ</p>
皇生會	一般國 家主義 團體	東京市澁橋 區西大久保 二ノ二四六	昭九 四	皇國青 年	吉田 顯明 甲斐久 邦 藤原慶 隆 山川 龍夫 賀茂 弘 石北 政男	<p>一、吾人ハ一君萬民ノ本義ニ則リ財 國政黨ニヨリ獨裁政治ヲ打破シ以 テ天皇政治ノ確立ヲ期ス</p> <p>一、吾人ハ一國一家ノ精神ニ基キ政 黨ノ對立ヲ否定シ單一政黨主義ノ 下ニ地方自治ノ徹底ヲ期ス</p> <p>一、吾人ハ大義名分ノ本旨ニ從ヒ所 有權ヲ返上シ一國一家族主義の經 濟組織ノ樹立ヲ期ス</p> <p>一、吾人ハ共存共榮ノ理想ニ基キ利 己ノ自由主義ヲ排撃シ相對的團體 主義ノ下ニ協同組合ノ徹底ヲ期ス</p>

コ(更始一新會、皇生會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義・綱領
皇道會	軍人中 心團體 ノ門會館	東京市芝區 琴平町二虎 ノ門會館	昭八、 四	皇道 新	黑澤主一 郎 富家 政市 社本 弟三 平野 力三 瀧澤 操 六 (會員數) 約八、五〇〇名	<p>一、吾人ハ國際正義確保ノタメニ、 「アジア」ニ對スル白色人種ノ不當 ナル壓迫ヲ排除シ惹イテ亞細亞民 族ノ解放ヲ期ス</p> <p>皇道政治ヲ徹底シ以テ金甌無缺ナル 我が國體ノ精華ヲ發揚スルヲ主眼ト ス</p> <p>一、既成政黨ノ積弊ヲ打破シ以テ公 明ナル政治ノ確立ヲ期ス</p> <p>一、資本主義經濟機構ヲ改廢シ國家 統制經濟ノ實現ヲ期ス</p> <p>一、國民道徳ノ振興ヲ圖リ以テ綱紀 ノ肅正ヲ期ス</p> <p>一、軍備ヲ充實シ以テ國防ノ完備ヲ 期ス</p> <p>一、國際正義ノ貫徹ヲ圖リ世界資源 ノ衛平ヲ期ス</p>
皇道義會	教化團 體	東京市澁谷 區千駄ヶ谷 四ノ六五八	大七、 七	自力	荒木 貞夫 石井 三郎	<p>一、皇道精神ヲ發揮シ民心ノ作興ニ カムル事</p> <p>一、國民思想ヲ善導シ義勇奉公ノ氣 風涵養ニカムル事</p> <p>一、大和民族ヲ中心トセル大亞細亞 主義實現ニカムルコト</p> <p>一、教育、産業ノ統制ヲ圖リ國防ノ</p>

コ(皇道會、皇道義會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
皇道血戰團	一般團 家主義 團體	東京市神田 區小川町二 ノ二 天下堂ビル	昭八、一	血戰	大庭 (會員數) 約三五名	充實ニカムル事 一、敬神、講武、崇禮修文以テ志氣ヲ振作シ國士養成ニカムル事 一、皇道ヲ世界ニ宣揚シ世界人類ヲ皇道ニ慈光ニ浴セシメル皇道樂土ノ建設ヲ期ス 一、教育勸誘及ヒ軍人勸諭ヲ奉體ス 一、共産黨ノ誤解ヲ是正シ皇道ヲ信奉セシム 一、財閥及ヒ政黨ニ利己主義ノ非ヲ悟ラシメ舉國一致皇道ヲ信奉セシム 一、既成宗教ハ皇道ノ内ニ包含セラレベキモノニシテ皇道即眞理ナルコトヲ悟ラシメ以テ皇道ヲ信奉セシム 一、帝國固有ノ皇道ニ根據シ忠愛至誠ヲ以テ國威ヲ發揚ヲ期ス 一、大道ノ橋正義ノ銜之吾等ガ戰フノ武器タリ 一、侮蔑スル外敵ヲ飽迄懲罰シ惡化セル思想ヲ極力善導セントス 一、經濟困難ニ善處シ失業救済ニ竭
皇道振興會	一般團 家主義 團體	東京市四谷 區左衛門町 四	昭六、一〇		北小路實武 長深小輔 小倉俊徳 新沼千代治 益屋六郎 志村國明 大谷昌俊 尼子止	スベク努力ス 一、風紀頹廢ノ矯正ニ力メ浮華靡佻ノ腐氣一掃ニ邁進ス 一、皇道ノ本義ヲ發揚シテ教育ノ根本ヲ樹立ス 一、皇道ノ精神ヲ闡明シテ政治、經濟、學術等百般ノ指導原理ヲ喚起ス 一、國民倫理ヲ宣布シテ思想ノ淨化ヲ圖リ人心ノ歸趨ヲ統一ス 一、帝國固有ノ精神ニ則リ眞ニ亞細亞人類ノ自決ヲ達成ノ爲メ志士ノ養成ヲ目的トス 一、光風塾ハ皇道ヲ發揚ト其ノ實踐ヲ期ス 一、君民一體、相愛扶助、孝悌友和ハ我國固有ノ國民精神タルコトヲ自覺セシムベシ 一、不易ノ皇道ハ世界平和ノ基本ニシテ萬邦ヲシテ之ヲ基調トスル國際協調ノ實ヲ擧ガシムベシ

二〇 (皇道血戰團、皇道振興會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
皇道發揚會	一般團 家主義 團體	東京市神田 區三崎町三 ノ二	昭八、一〇	皇道發揚	今泉定助 (會員數) 約五〇〇名	スベク努力ス 一、風紀頹廢ノ矯正ニ力メ浮華靡佻ノ腐氣一掃ニ邁進ス 一、皇道ノ本義ヲ發揚シテ教育ノ根本ヲ樹立ス 一、皇道ノ精神ヲ闡明シテ政治、經濟、學術等百般ノ指導原理ヲ喚起ス 一、國民倫理ヲ宣布シテ思想ノ淨化ヲ圖リ人心ノ歸趨ヲ統一ス 一、帝國固有ノ精神ニ則リ眞ニ亞細亞人類ノ自決ヲ達成ノ爲メ志士ノ養成ヲ目的トス 一、光風塾ハ皇道ヲ發揚ト其ノ實踐ヲ期ス 一、君民一體、相愛扶助、孝悌友和ハ我國固有ノ國民精神タルコトヲ自覺セシムベシ 一、不易ノ皇道ハ世界平和ノ基本ニシテ萬邦ヲシテ之ヲ基調トスル國際協調ノ實ヲ擧ガシムベシ
光風塾	一般團 家主義 團體	東京市芝區 三田功運町 八	昭七、一〇	光風	千々波敬太郎 川内鐵三郎 村本實藏 伊藤鶴松 久保田晴士 津布久重久 島内正藏 美間坂剛太 野須保雄 松田一人 (會員數) 約三〇名	スベク努力ス 一、風紀頹廢ノ矯正ニ力メ浮華靡佻ノ腐氣一掃ニ邁進ス 一、皇道ノ本義ヲ發揚シテ教育ノ根本ヲ樹立ス 一、皇道ノ精神ヲ闡明シテ政治、經濟、學術等百般ノ指導原理ヲ喚起ス 一、國民倫理ヲ宣布シテ思想ノ淨化ヲ圖リ人心ノ歸趨ヲ統一ス 一、帝國固有ノ精神ニ則リ眞ニ亞細亞人類ノ自決ヲ達成ノ爲メ志士ノ養成ヲ目的トス 一、光風塾ハ皇道ヲ發揚ト其ノ實踐ヲ期ス 一、君民一體、相愛扶助、孝悌友和ハ我國固有ノ國民精神タルコトヲ自覺セシムベシ 一、不易ノ皇道ハ世界平和ノ基本ニシテ萬邦ヲシテ之ヲ基調トスル國際協調ノ實ヲ擧ガシムベシ

二一 (皇道發揚會、光風塾)

I-0726

名	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
皇民意識 研究會	一般國 家主義 團體	東京市港橋 區下落合四 ノ二九八	昭七〇	—	長澤九一 郎 (會員數) 約十數名	眞個錦旗ノ守護ニ任ジアル一騎當千 ノ士ノ精進機關トナス
興民會	一般國 家主義 團體	東京市赤坂 區福吉町一	昭六一	興民布 告	日堂則義 笹川多門 (會員數) 約一千名ト稱スルモ事實ハ 約一〇名内外	吾々ハ東西文化ノ妙諦ヲ進取シ勞役 大衆ノ生活權ヲ空シクセル百般ノ宿 弊ト少數ノ特權者庇護ヲ目的トスル 處ノ一切ノ暴戾頑迷ト闘ヒ平和幸福 ノ倫理社會ヲ實現ス
皇民會	教化團 體	東京市赤坂 區中ノ町一 四	大九七	皇民	松井 茂 加藤勝一 郎 森山慶三 郎 小林一 郎 泉二新熊 龜岡豐二 郎 平原廣義 井筒調策	網領 一、建國ノ理想ヲ一貫シテ國本ノ堅 固ヲ期ス 一、萬世一系ノ皇統ヲ中心トシテ國 體ノ精華ヲ發揚ス 一、國民精神ヲ振作シテ時弊ノ革正 ヲ期ス 一、文化ヲ促進シ國富ヲ増大シテ國 運ヲ發展ス 一、帝國ノ世界的地位ヲ確保シ人類 恒久ノ平和ニ貢獻ス 一、剛健ノ精神ヲ涵養シテ懦弱ヲ戒 ム 一、健實ノ思想ニ立脚シテ醜激ヲ排

コ(皇民意識研究會、興民會、皇民會)

皇民軍	皇明會
一般國 家主義 團體	一般國 家主義 團體
埼玉縣川口 市金山町三 ノ六〇六	東京市豊島 郡東鴨二ノ 一
昭九四	大八二
中島鐵之助 岩田源次郎 鈴木光男 森 盛安 西野一 郎 佐藤覺次郎 樋野 榮 新井好興 栗原伸香	四宮憲章
畫間吉太郎 山中福松 小川郁太郎 伊藤政美 城所勤之助 春日一 郎 島田子之吉 阿部武夫	
一、勤勉力行ノ美風ヲ興シ浮華ヲ去 ル 一、誠忠至孝ノ特性ヲ發揮シ異習ヲ 退ク 一、國體一體ヲ尊重シテ奉公ノ赤心 ヲ貫ク 一、忠君愛國ヲ基念トシ天皇中心主 義ヲ絕對信條トシ皇道日本ノ世界 的躍進ヲ期ス 一、建國精神ニ反スル共產主義並ニ 非國家思想ノ撲滅ヲ期ス 一、勞資協調ヲ主眼トシ中小工業者 勞働者農民及一般大衆ノ生活保全 ノ爲之ヲ指導開發ヲ期ス	目的 本會ハ皇國ノ尊義ヲ闡明シ國體ノ精 華ヲ宣揚スルヲ以テ目的トス 綱領 一、本會ハ左ノ事項ヲ以テ綱領トス 一、我國體ノ淵源ニ則リ皇國タル 一、眞實義ヲ明カニスルコト 一、我惟神ノ皇道ニ則リ敬神、尊 皇、愛國ノ旨ヲ明カニスル事 一、天地ノ皇道ニ則リ破邪顯正ノ

コ(皇民軍、皇明會)

I-0726

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
五月黨	一般國 家主義 團體	東京市中野 區沼袋南一 ノ一五二五	昭八 五	—	島山清 島山行 山田眞一 山田眞 生田眞 關英太 郎 松本親敏 岡澤三能 後藤學 山本浩三	實明ニスルコト 一、明治天皇ノ教勅ニ則リ皇民道 徳ノ眞義ヲ明ニスルコト 一、世界ノ大勢ト我本源ノ傳統ノ 正義ニ則リ國民思想ノ歸趨ヲ明 ニスルコト 外情操ノ信念ニ關スル綱領ハ別ニ皇 民經ニ於テ之ヲ示ス 一、我等ハ神洲不滅ノ信ニ生キ祖國 日本ニ歸順ス 一、我等ハ全國民總懺悔ヲ嚴修 シ昭和維新ヲ冀望ス 一、我等ハ惟神天業ノ經綸ヲ冀望シ 世界皇化ノ具現ヲ期ス 宣 誓 我等ハ信ヲ同ウシ志ヲ一ニシテ本黨 ニ入黨セル上ハ只管我が祖國日本ニ 歸依隨順シ奉公無私互ニ苦樂ヲ共ニ シ足ラザルヲ補ヒ長チ暢バシ、カシ ノ實ノ一ツ心ニ和衷協力シテ昭和 天業冀望ヲタメ水火ヲ辭セザルモ ナリ若シ苟モ義ニ叛キ盟ヲ破リタル 際ハ如何ヤナル制裁ニモ甘ンズベ ク祖國神靈ノ大御前ニ宣誓嚴修スル モノナリ

コ(五月黨)

二四

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領	
國維會	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區內幸町一 ノ三大阪 ル二號館七 階	昭七 一	國維	岡部長景 吉田文茂 近衛文麿 酒井忠正 橋本清之助 富田亥之七 安岡正篤	共產主義「メンター」シヨナルノ 横行ヲ排シモシメズ排他的「ショー ワイニスム」ノ跋扈ヲ退ニセシメズ 日本精神ニ依ツテ内政外政ノ維新ヲ圖 リ外藩隣ノ誼ヲ修メ以テ眞個ノ國際 平和ヲ實現センコトヲ期ス 一、廣ク人材ヲ結成シ國難ノ更張ヲ 期ス 一、大イニ國家ノ政教ヲ興シ産業經 濟ノ發展ヲ期ス 一、輕佛禮敬ナル思想ヲ匡シ日本精 神ノ世界ノ光被ヲ期ス 一、建國ノ精神ヲ遵守シテ皇室ヲ尊 崇シテ君民同治ノ政ヲ布キ大義名 分ヲ明カニシ忠孝一如ノ大本ニ基 キ國體ノ擁護ヲ觀念トスベキ事 一、飲定ノ條章ニ基テ進取ノ國是 ニ則リ憲政濟美ノ實ヲ舉フベキ事 一、内政ヲ改善シテ地方自治ノ完美 ヲ期スベキ事 一、外交ヲ振作シテ國威國權ノ伸張 ヲ期スベキコト 一、浮華ノ民族ヲ矯正シテ勤儉尚武 ノ風尚ヲ獎勵シテ社會ノ改良ヲ圖ル ベキコト 一、教育制度ヲ更新シテ國民道徳ヲ	
國士會	一般國 家主義 團體	東京市淺草 區千束町二 ノ三四	大二 九	國士道	辻嘉六 瓜生場 河村天龍 石崎順一 砂川天岳	大島辰次郎 松本學 香坂昌康 湯澤三千男 町田辰次郎 安部十二造	志村吉雄 鈴木旭山 紅谷東洋 中村鐵雄

コ(國維會、國士會)

二五

I-0726



名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
國志同盟	一般國 家主義 團體	東京市目黒 區三田一五	昭六三	東北春	中川 功 竹田 重正 中村 彌平 松井 弘大 澤村 敏雄	一、亞細亞ノ地ニ正義ヲ樹テヨ 一、亞細亞ニ秩序ト統一ヲ興ヘヨ 一、亞細亞ノ諸民族ニ皇道ノ惠澤ヲ 光被セシメヨ 一、志ヲ世界ニ保ツテ亞細亞ニ之ヲ 施スベシ志ヲ世界ニ行フ唯一路ヲ アルト信ズ
國粹大衆	一般國 家主義 團體	大阪市東區 北濱一ノ二	昭六三	國粹大衆	笹川 良一 高田 忠志 菊地 一部 平井 新治	主 義 大日本國民タル自覺ニ基キ實業前健 自己不中心主義ヲ體得シ正義ノ大進

コ(國志同盟、國粹大衆)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
國體擁護聯合會	一般國 家主義 團體	東京市芝區 田村町二ノ 一内田ビル	昭七三	—	入江 種矩 五百木 良三 實川 時治郎	一、國體擁護 一、日本精神ノ昂揚 一、愛國團體ノ戰線統一
國柱會	教化團 體	東京市江戶 川區一之江 町申孝園	明三三	大日本	田中 智學 保坂 智寅	一、五大國聖ノ宏猷ヲ奉シ國體ノ正 義ヲ以テ修養生活ノ根本精神ト爲 スベシ 一、五大國聖ノ宏猷ヲ體シ天業民族 ノ使命ヲ自覺シテ建國ノ精神ヲ現 代ニ活現スベシ 一、五大國聖ノ明訓ニ從ヒ國體民性 ノ大審トナルベキ思想習性ヲ開導 シテ徹底文化ノ普及ニ努ムベシ (五大國聖トハ天照皇大神、神武天 皇、聖德太子、明治天皇、日蓮上人)
國風會	教化團 體	東京市牛込 區東五軒町	大九二二	國風新報	江上 泉徳彌 江口 麟六 佐藤 哲二	一、神武建國ノ活精神ニ培ハレタル 我國特有ノ文化ヲ擁護發展セシメ 以テ國利民福ヲ期ス 一、産業上ノ自由競争ノ弊害ヲ排除 シ相互扶助ノ精神ノ長發具現ヲ期ス 一、立法行政及地方自治ニ浸徹セル 弊習ヲ打破シ神州正義ノ伸張 ヲ期ス

コ(國體擁護聯合會、國柱會、國風會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
國防社	一般國家主義團體	大阪市東區北濱一ノ二	大二三三	國防	波邊 汀 大久保高明 松原利佐衛門 大上 秀時 上田 秀男 大 中 熊雄	祖以來ノ國風ヲ進メ正義人道ニ基キ世界ノ平和ヲ完成スルヲ以テ目的トス 綱 領 一、萬世一系ノ皇室ヲ中心トシ忠孝ヲ勵ミ勤儉力行ヲ旨トシ國民思想ノ善導統一トシ國力ノ充實並ニ國民ノ世界ノ活躍トシ企圖スルコト 一、人類平等ノ思想ニ稽ミ人種民族ノ宗教上ノ差別待遇ヲ撤シ各自共存ノ幸福ヲ達成スルコト
國防聯盟	一般國家主義團體	東京市中野區文園町一	昭六二	國防ニ經濟	望月 義人	一、本聯盟ハ東洋平和ノ大眼目ニ立脚シ敢然天下ノ僥光ニ率先大義内閣ヲ支持シ未曾有ノ大困難ノ打開ニ邁進ヘンコトヲ宣誓ス 一、滿蒙ハ大日本帝國權益ノ嚴存スル所仍テ此ノ權益地域ニ對シ斷シテ他國ノ干渉壓制ヲ許サズ 一、敢テ之ヲ冒瀆スルモノアラバ須カ舉國開戦ノ上之ヲ決スベシヲ必須ノ義見高邁ノ經濟遠大ノ内閣諸公宜シテ此ノ意ヲ諒トシ速ニ機宜ノ措置ニ出テ萬々誤リナカラシムコトヲ望ム

コ (國防社、國防聯盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
國本社	一般國家主義團體	東京市麴町區平河町六ノ三六	大二三三	國本新	平沼騏一郎 大田耕造 池田成彬 小 山 松 吉 菊地武夫 矢萩富橋 (會員數)二十萬名餘	國民精神ノ涵養振作ニ努メ國本運動ヲ助長シ教化運動ノ徹底ヲ期ス 一、強力國策内閣ノ樹立 一、公益ヲ基調トスル國家統制經濟ノ確立 一、新世界平和秩序ヲ目的トスル大亞細亞主義ノ強行 一、軍備ノ完全充實 一、日本主義國民文化ノ創造及宣揚 帝都復興ニ關スル御詔書ノ御趣旨普及徹底ヲ期ス
國民協會	社會主義運動ノ六商興ビル内	東京市麴町區內幸町一	昭八八	國民運動	赤松克廣 津久井龍雄 石塚幸次郎 倉田百三 森 清人 大木 雄二 (會員數)約五〇〇名	一、修養ノ本義ヲ闡明シテ人格ノ向上ヲ期ス 一、國體ノ精華ヲ宣揚シテ民力ノ發展ヲ期ス 一、文明ノ普及ヲ助成シテ人類ノ進
國民共勵會	教化團體	東京市赤坂區田町六ノ一	大二三九	繼續評論	平沼騏一郎 宇佐見勝夫 德富猪一郎 鈴木喜三郎 山岡萬之助 松波仁一郎 田中 稔 積 横田 秀 雄 正力松太郎 泉 野 正 衛 津島金重郎 和 田 正 衛 百々巳之助 宮野 正 衛 渡邊小洋 芳賀如水	一、修養ノ本義ヲ闡明シテ人格ノ向上ヲ期ス 一、國體ノ精華ヲ宣揚シテ民力ノ發展ヲ期ス 一、文明ノ普及ヲ助成シテ人類ノ進
國民精神協會	教化團體	東京市目黒區東町五四	大二三九	國民精神	渡邊小洋 芳賀如水	一、修養ノ本義ヲ闡明シテ人格ノ向上ヲ期ス 一、國體ノ精華ヲ宣揚シテ民力ノ發展ヲ期ス 一、文明ノ普及ヲ助成シテ人類ノ進

ク (國本社、國民協會、國民共勵會、國民精神協會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
黑龍會	一般國 家主義 團體	東京市麴町二 區永田町二 ノ八六	明三、一	亞細亞 (時論 廢刊)	内田良平 小幡虎太郎 坂井六輔 川原信一郎 (會員數) 約四、五百名	帝國ノ皇誤ヲ恢復シ亞細亞民族ノ振興ヲ圖ル 皇室中心主義ヲ奉體シテ國民ノ和衷協同ニヨリ其共存共榮ヲ圖リ國體ノ精華ヲ發揚ス 赤路ノ東方赤化ノ策謀ニ對シ、コレヲ防退シ東洋諸民族ノ文化的獨立ヲ期ス
護皇會	一般國 家主義 團體	東京市牛込 區市ヶ谷富 久町一〇五	大正一〇	護皇	中山忠次	一、日本國體ノ原理ヲ簡明シ皇道ヲ世界ヲ布カントコトヲ期ス 一、世界經濟聯盟ヲ組織シ、人類共存共榮ノ實ヲ舉ゲントコトヲ期ス 一、人類共存ノ大義ニ基キ總テ偏狹ノ思想ヲ撲滅シコトヲ期ス 一、社會混沌ノ病根ヲ剔抉シ之ヲ掃蕩ス 一、東西文明ノ融合ヲ圖リ純文明ヲ創造セんとコトヲ期ス
國家主義 東亞聯盟	一般國 家主義 團體	東京市赤坂 區青山北町 方ノ八香波	昭六、一	—	巖田胸喜 池田渡 弘信	一、政治的ニハ我が社體統公同自 治ヲ確立ス 一、經濟的ニハ我が共存互濟ノ原則 ニヨリ農本トシ衣食住物質ノ充足 ニ努ム 一、教育ハ人ノ性能ヲ涵養スルヲ以 テ目的トス 一、外交ハ彼我協和ノ主旨ヲ重シク 無キテ目的トス
縱橫俱樂部	一般國 家主義 團體	東京市澁橋 區戸塚源兵 衛町一五六	大正六	縱橫	結城源心 宮田晉 佐々木貢	一、政治的ニハ我が社體統公同自 治ヲ確立ス 一、經濟的ニハ我が共存互濟ノ原則 ニヨリ農本トシ衣食住物質ノ充足 ニ努ム 一、教育ハ人ノ性能ヲ涵養スルヲ以 テ目的トス 一、外交ハ彼我協和ノ主旨ヲ重シク 無キテ目的トス

コ(黑龍會、護皇會、國家主義東亞聯盟) シ(縱橫俱樂部)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
紫雲莊	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區內幸町一 ノ六	大正三、三	—	橋本徹馬 越智秀一	青年立國ヲ意圖シ理想政治ノ先驅タルコト
自治農民 協會	一般國 家主義 團體	東京市目黒 區中根町一 八四一	昭七、四	—	長野朋 權藤成郷	一、政治的ニハ我が社體統公同自 治ヲ確立ス 一、經濟的ニハ我が共存互濟ノ原則 ニヨリ農本トシ衣食住物質ノ充足 ニ努ム 一、教育ハ人ノ性能ヲ涵養スルヲ以 テ目的トス 一、外交ハ彼我協和ノ主旨ヲ重シク 無キテ目的トス
修養團	教化團	東京市澁谷 區千駄ヶ谷 四ノ六八八	明三、二	向上 愛汗 白ゆり	平沼驥一郎 蓮沼門三	一、皇國日本ノ確立ヲ期ス 一、常ニ心身ヲ鍛練シ直ニ國ニ殉ス 一、國家觀念ヲ養成ス 一、國家觀念ヲ社會觀念ナキモノヲ徹底的排撃ス 一、天皇中心一君萬民ノ理想政治ノ確立ヲ期ス 一、資本主義偏重ノ社會組織並ニ經濟機構ヲ根本的ニ改革シ生産及分配ヲ徹底的ニ國家管理政策ヲ遂行シ以テ國民生存權ノ確立ヲ期ス
殉國會	一般國 家主義 團體	東京市澁谷 區上通 ノ二〇	昭八、二	—	水田義一 石森壽一 中里春雄 小林春雄 (會員數) 約三五名	一、皇國日本ノ確立ヲ期ス 一、常ニ心身ヲ鍛練シ直ニ國ニ殉ス 一、國家觀念ヲ養成ス 一、國家觀念ヲ社會觀念ナキモノヲ徹底的排撃ス 一、天皇中心一君萬民ノ理想政治ノ確立ヲ期ス 一、資本主義偏重ノ社會組織並ニ經濟機構ヲ根本的ニ改革シ生産及分配ヲ徹底的ニ國家管理政策ヲ遂行シ以テ國民生存權ノ確立ヲ期ス
殉國青年 黨	一般國 家主義 團體	東京市世田 谷北澤三ノ 一〇三三 吉村方	昭九、二	殉國青	吉村剛 伊藤直吉 岩倉藤吉 戸深國明 中務武人 小島修	一、皇國日本ノ確立ヲ期ス 一、常ニ心身ヲ鍛練シ直ニ國ニ殉ス 一、國家觀念ヲ養成ス 一、國家觀念ヲ社會觀念ナキモノヲ徹底的排撃ス 一、天皇中心一君萬民ノ理想政治ノ確立ヲ期ス 一、資本主義偏重ノ社會組織並ニ經濟機構ヲ根本的ニ改革シ生産及分配ヲ徹底的ニ國家管理政策ヲ遂行シ以テ國民生存權ノ確立ヲ期ス

シ(紫雲莊、自治農民協會、修養團、殉國會、殉國青年黨)

名稱	系統	本部所在地	創立	機関紙	主要人物及會員數	主義、綱領
昭和義塾	一般團 家主義 團體	東京市芝區 新橋六ノ四	昭八二	威成	前田芳藏 (會員數) 約四〇名	一、頑迷保守ト急進左傾ヲ撲滅シ自主的正義外交ニヨリテ日本第一主義ヲ實現ヲ計リ以テ管理政策ヲ遂行シ以テ國民生存權ヲ確立ス 一、歐米式輕重浮薄ナル教育ヲ改革シ廉恥、犧牲、果敢、獨行、規律、風雅、高尚ナル武士的精神ノ涵養ヲ期ス 一、殉國青年黨員ハ天下何者ヲモ怖レザルベシ只正義ノ審判最モ峻嚴ナル事ヲ聲明ス 宣言 我等ハ建國ノ本旨ニ則シ非日本のナルモノノ總テヲ抹殺シ置日本ノ確立ヲ期ス 綱領 一、天皇親政ノ大義ヲ闡明シ皇國の獨裁政治ノ實現ヲ期ス 一、一君萬民ノ擁護ナキ經濟機構ノ建設ヲ期ス 一、一切ノ階級抗爭ヲ克服シ稜威ヲ世界ニ昂揚セントス 主義 本會ハ神聖ナル神國日本ノ大道、皇道ニ則リ萬世一系ノ聖天子ノ天業ヲ承贊シ奉リ皇國ノ精神ヲ遵奉シ皇國
昭和神聖會	一般團 家主義 團體	東京市四谷 區愛住町七 六	昭九七	人類愛 善新聞 旬刊 神聖 月刊	出口王仁三郎 内田村龍吉 御田村龍吉 大國以都男 出口宇智廣 頭山 滿 米倉嘉兵衛	ノ大使命ト皇國民天賦ノ使命達成ヲ期ス 綱領 一、皇道ノ主義ニ基キ祭政一致ノ確立ヲ期ス 一、天祖ノ神勅並ニ聖詔ヲ奉體シ神國日本ノ大使命遂行ヲ期ス 一、萬邦無比ノ團體ヲ闡明シ皇道經濟、皇道外交ノ確立ヲ期ス 一、皇道ヲ國教ト信奉シ國民教育指導精神ヲ確立ヲ期ス 一、國防ノ充實ト農工商ノ隆昌ヲ圖リ國事ノ基礎確立ヲ期ス 一、神聖皇道ヲ宣布發揚シ人類愛善ノ實踐ヲ期ス 皇室ヲ中心トシ教育勸語ノ精髄ヲ奉戴シテ敬神愛國ノ念ヲ助長シ以テ赤化思想ノ撲滅ヲ期ス

シ(昭和義塾、昭和神聖會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機関紙	主要人物及會員數	主義、綱領
昭和同志會	一般團 家主義 團體	東京市芝區 田町八ノ一	昭六二		小川良一 小池元男 宮坂武雄 百瀬若雄 小林順一郎 河村圭三 渡邊滿太郎 佐藤卓藏 川瀬由太郎 田中市三郎 吉川正曉	ノ大使命ト皇國民天賦ノ使命達成ヲ期ス 綱領 一、皇道ノ主義ニ基キ祭政一致ノ確立ヲ期ス 一、天祖ノ神勅並ニ聖詔ヲ奉體シ神國日本ノ大使命遂行ヲ期ス 一、萬邦無比ノ團體ヲ闡明シ皇道經濟、皇道外交ノ確立ヲ期ス 一、皇道ヲ國教ト信奉シ國民教育指導精神ヲ確立ヲ期ス 一、國防ノ充實ト農工商ノ隆昌ヲ圖リ國事ノ基礎確立ヲ期ス 一、神聖皇道ヲ宣布發揚シ人類愛善ノ實踐ヲ期ス 皇室ヲ中心トシ教育勸語ノ精髄ヲ奉戴シテ敬神愛國ノ念ヲ助長シ以テ赤化思想ノ撲滅ヲ期ス
新經濟國策研究會	一般團 家主義 團體	東京市麴町 區內幸町大 平ビル五階	昭八二		國井二郎 大井成元 松本勇三	新經濟國策ノ樹立ヲ期ス

シ(昭和同志會、新經濟國策研究會)

I-0726

シ(神州護國團、神州青年連光會、新政會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
神州護國團	一般國 家主義 團體	東京府八王子市千人町 一三八	昭三、四	—	野口 幹 番場源太郎 小林健雄 馬場 清	本團ハ大日本主義ヲ以テ皇國ノ大經綸ヲ斷行シ建國ノ皇業ヲ完成ス
神州青年連光會	一般國 家主義 團體	東京市品川區品川五ノ一〇一六	昭八不詳	—	望月源治 (會員數) 約一五〇名	皇道精神ニ生キ明治大帝ノ御聖訓ヲ奉ズル青年ヲ全國ニ求メ皇道徹底ヲ計リ皇國ノタメ殉國精神ヲ宣揚センコトヲ期ス
新政會	一般國 家主義 團體	東京市本郷區駒込林町三五	昭五、三	—	神木猶之助 深澤 湛 周山重太 鈴木義三郎 眞木高吉 石岡重治	綱領 一、天皇中心家族主義日本ノ確立ヲ期ス 一、政黨政治ヲ排斥シ區別政治ノ徹底ヲ期ス 一、吾人ハ合法的手段ニ依リ同志ノ代表ヲ帝國議會ニ選出シ區別政治ノ上奏ト其ノ實現ヲ期ス 一、吾人ハ言論其他ノ方法ニ依リ同胞ノ覺醒ヲ促シ本會總旨ノ宣傳、邪論ノ風伏ヲ期ス 一、吾人ハ政黨政治ノ缺陷ヨリ生ズル一切ノ弊害ニ對シ本會ノ主張ニ基キ之ヲ解決センコトヲ期ス

三四

シ(新日本協會、新日本建設同盟、新日本國民同志會、新日本國民同盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
新日本協會	教化團 體	東京市世田谷區代田二ノ六八一	大二〇、五	共存	山本健二郎 今井龍三郎	一、明治大帝ノ勅語ヲ奉戴シテ建國三千年來ノ日本精神ヲ發揚シ義勇奉公ノ普及徹底ヲ期ス 一、既成政黨ノ積弊ヲ打破シテ昭和維新ノ大成ヲ期ス 一、腐敗墮落セル青年層ノ覺醒ヲ促シ非常時新日本ノ建設ヲ期ス 一、學生青年ノ思想ヲ善導シ講演、演說、其他ヲ以テ之ノ目的貫徹ヲ期ス 一、航空省ノ建設ヲ期ス 一、民間飛行青年ノ教練ヲナシ有事ノ防空充實ヲ期ス
新日本建設同盟	一般國 家主義 團體	東京市下谷區茅町二ノ二〇	昭八、三	—	笠原幸八 笠原正成 福田長太郎 宮下裕治	我等ハ聰明ナル認識ト強固ナル團結力トヲ以テ凡ル現代社會惡ノ根源ヲ排除シ以テ新日本建設ヲ期ス
新日本國民同志會	一般國 家主義 團體	東京市麴町區丸ノ内日清ビル六二一號	昭八、二	新日本	高廣三郎 杉山謙治 保科治良 二宮宗太郎 中島大郎 川原田政太郎 日影 董 吉村 正 伊藤道機 内田繁隆	—
新日本國民同盟	社會主義運動 轉向派	東京市中野區昭和通一ノ七	昭七、五	錦旗 民軍	佐々井一晁 滿川龜太郎 神田兵三 野本義松 神永文三 皆川利吉	盟誓 建國ノ本義ニ基キ擅取ナキ新日本ノ建設ヲ誓フ

三五

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義・綱領
政教社	一般國家主義團體	東京市神田區猿樂町二ノ一五	明治三二	雜及日本誌 及日本 人誌 出版 其他	五百木良三 森洲生 松林亮 雜賀博愛 皆川三陸	一、我等ハ國民的集結力ニヨリ金權支配ヲ廢絶シ以テ天皇政治ノ徹底ヲ期ス 二、我等ハ資本主義機構ヲ打破シ國家統制經濟ノ實現ニヨリ國民生活ノ確保ヲ期ス 三、我等ハ人種平等、資源衡平ノ原則ノ上ニ新世界秩序ノ創建ヲ期ス 皇國精神ノ宣揚
醒國會	教化團體	(本部) 東京市杉並區馬橋二ノ一六四 (事務所) 東京市赤坂區表町一ノ四	昭和四二	神武精神	板倉傳吉 寺門繁雄 中村吉造 黒木俊雄	一、本會ハ性神ノ大道タル敬神愛國ノ大義ヲ明ニスルヲ以テ本分トス 二、本會ハ人類相愛ヲ目的トシ天理人道ヲ宣揚シ修理固成ノ眞髓ヲ顯彰進奉スルモノトス 三、本會ハ大日本主義ヲ揚揚シ億兆一心大イニ皇基ヲ振起ス 四、本會ハ第一條第二條第三條總旨ノ實行的權威ヲ以テ世界風教上其

七(政教社、醒國會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義・綱領
聖日本學會	一般國家主義團體	東京市澁谷區原宿三ノ二三〇	大二三二	聖日本	伊藤武雄 藤野野矢 西川光二 富田照郎 金丸吉治 天野辰夫 永井了吉 (會員數) 約三〇名	「神聖日本」ノ大精神ヲ究明シ、神聖日本主義ヲ高揚普及スルヲ以テ目的トス 一、主義綱領トシテハ明確ナルモノヲシ唯實行ノ二字アルヲミ 二、事業トシテ尊皇山愛國寺建立 大日本國防宗總本山、尊皇山愛國寺建立ノ發願 獻身殉國ノ士ハ既ニ鐵國ノ神トシテ靖國神社ニ鎮座マシマセリ 尊皇尚武ノ士ハ護國ノ佛トシテ愛國寺ニ安座マシマントス
赤誠會	教化團體	東京市目黒區駒場八〇	昭和八一	—	栗原勇	一、赤化ハ社會秩序ノ根柢ヲ破壊シ人類ノ幸福ヲ呪咀スルモノナルガ故ニ本團ハ一死以テ之ヲ防退ニ任スベキヲ誓フ
赤化防止團	一般國家主義團體	東京市澁谷區栢木三二五	大一一〇	大鷲新日本	米村喜一郎 鹽谷慶一郎 (會員數) 約五〇名	一、赤化ハ社會秩序ノ根柢ヲ破壊シ人類ノ幸福ヲ呪咀スルモノナルガ故ニ本團ハ一死以テ之ヲ防退ニ任スベキヲ誓フ

七(聖日本學會、赤誠會、赤化防止團)

I-0726

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
全國大日本主義同盟	一般國家主義團體	東京市澁谷區常盤松二六	昭六四	全日同盟ニユ	松永 材 米持 格夫 石垣 貞一 横井 金男 鬼塚 武彦 北米 正 高瀬 兼介 齋藤 智勇 神谷 英三 岩崎 重喜 (會員數) 約三〇〇名	一、資本家ノ横暴ト富豪ノ専恣トハ過激思想助長ノ原因ナリ故ニ實本家富豪ニ對シテ極力猛音ヲ促ス 一、共產黨撲滅 一、既成政黨並財閥排撃 一、昭成政黨ノ斷行 一、一切ヲ舉ゲテ天皇ヘ無產政黨ノ偽裝暴露
洗心莊	一般國家主義團體	東京市澁谷區水川町一五	昭九三	—	友納 早一 中村 傳	一、赤心報國ヲ期ス 一、社會人心ノ革新ヲ期ス 一、亞細亞ニ經綸ヲ行ヒ全世界ニ皇道ノ宣布ヲ期ス
全日本護國聯盟	一般國家主義團體	北海道小樽市稻穂町東五ノ五	昭五八	護國日本	山本 一郎 林 貞四郎 田澤 定藏 小坂 要一 平野 深重 菅井 伊達雄 奈良 深重 青木 靜一	一、本聯盟ハ同志ノ男女ヲ割合シ帝國ノ眞面目ヲ發揮セシムコトヲ期ス 一、本聯盟ハ天皇中心政治ノ確立ヲ期ス 一、本聯盟ハ國體破壞ノ運動者ヲ撃滅ヲ期ス

七(全國大日本主義同盟、洗心莊、全日本護國聯盟) 三八

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
全日本報國青年同盟	一般國家主義團體	東京市京橋區銀座西七ノ五	昭九不詳	報國評論	蛭田 順一郎 山本 勝也 朝岡 稻太郎 光山 百川 峰間 信吉 浦見 花眠 山本 武弘 齋藤 常四郎 渡邊 弘 宮本 茂 宇野 邦雄 川口 寅兒 富野 昌美 徳田 健兒	一、本聯盟ハ純正ナル愛國運動タルコトヲ期ス 一、吾等ハ我が建國ノ精神ニ基キ皇愛國ノ大義ヲ鼓吹シ常ニ日本ノ對世界ノ使命ヲ遂行貫徹スベキ本源ノ努力ヲタルチ眼目トシ終始大日本皇道ノ上ニ立脚シテ國體擁護ノ目的ヲ達成スルコトヲ期ス 一、吾等ハ全日本ノ青年ニシテ純忠奉公、至誠、大義ヲ持スルノ志士ヲ割合シ常ニ國民思想ノ指導勢力タルヲ期シ特ニ政治、經濟ノ智識ヲ啓發シテ日、鮮、滿、滌一體ノ新生命ヲ開拓ス 一、吾等ハ利己的、排他的歐米本位ノ文化思想ヲ排撃シ人類社會ノ基調核心タル皇道原理ヲ宣揚開展シ以テ之ヲ祖國ヨリ全世界ニ擴充公布スルコトヲ期ス 一、吾等ハ祖國非常時ニ際シ常ニ一貫不感實剛健、素朴簡易、皇道正義ヲ全生活ニ體現スベシ 一、吾等ハ頂天立地斷々乎トシテ昭和維新ノ新精神ヲ宣布シ以テ社會世相ニ對スル正美ノ審判最モ峻嚴ナルコトヲ誓ヒス

七(全日本報國青年同盟) 三九

I-0726

名	系	本部所在地	創立	機關	主要人物及會員數	主 義、綱 領
祖國會	一般國家主義團體	東京市杉並區非森三ノ一	昭三・七	祖國	北 吟吉 若宮卯之助 下 位春吉 五來欣造 杉 森幸次郎 養田陶喜 (會員數) 約二〇〇〇名ト稱ス	一、本會ハ政黨ノ所屬ト階級ノ差別ヲ超越シ我國ノ傳統ニ基キ世界ノ進運ニ順應シテ祖國ノ全的發展ニ寄與スルコトヲ目的トス 二、本會ハ現下ノ社會問題ト思想問題トヲ研究調査シテ國民ノ遵守スベキ原則ヲ闡明スルコトヲ目的トス 三、本會ハ一切ノ非祖國的思想ト運動トヲ根源ヲ究明シ拔本塞源ノ對策ヲ講スルコトヲ目的トス
大亞細亞	一般國家主義團體	東京市澁谷區大和田	昭七・一	大亞細亞	三浦義一 (會員數) 約三〇〇名ト稱ス ルモ事實ハ十二三名	一、吾人ハ現下資本家階級獨擅ノ社會組織經濟機構及諸制度ノ合理的改革ヲ斷行シ以テ皇道進化日本ノ建設ヲ期ス 二、吾人ハ新日本精神ノ喚起顯現ト亡國ノ模倣風潮ノ排滅ヲ期ス 三、吾人ハ自主の道義外交ノ實現ノ純正對滿蒙政策ノ根本の確立ヲ期ス 四、吾人ハ白色民族ノ世界の幕制ノ排擠ト亞細亞諸民族ノ大同團結ヲ期ス 五、吾人ハ實質剛健、至誠一貫ノ風

ソ(祖國會)々(大亞細亞)

四〇

名	系	本部所在地	創立	機關	主要人物及會員數	主 義、綱 領
大亞細亞協會	一般國家主義團體	東京市麴町區內幸町大坂ビル六五三號	昭八・三	大亞細亞主義	中谷武世 鹿子木貞信 下中彌三郎 角岡知良 鈴木貞一 近衛文麿 松井石根 廣田弘毅 德富猪一郎 菊地武夫 政治的並ビニ經濟的聯合體ヲ組織*	格ナ尙ヒ以テ時代ノ先驅者タラムコトヲ期ス

\*セントスルコトハ人類社會ノ必然ノ行程テアル、民族國家ヨリ世界國家ニ飛躍スルコトハ、不自然デアリ、不可能デア  
ル、偶々歐洲大戰ナル異常ナル機會ニ於テ歴史的要因ノ熟成ヲ待タズ早期ニ出現シタル汎世界聯合トシテノ國際聯盟  
ガ汎大陸主義乃至汎民族主義ニヨリテソノ原則的修正ヲ受クルコトハ蓋シ當然ノ歸結テナレバナラヌ、ソノ加盟諸  
國ノ誠意アル努力ニモ拘ラズ國際紛争ノ解決ト民族間争ノ緩和ト國際聯盟ガ殆ド無力ニシテ紛争解決ノ努力ガ却ツテ  
紛争ヲ激成シツツアルノ態ヲ免レザル所以ノモノハ上述ノ如キ國際政治並ビニ國際經濟ハ恐ラク歐羅巴聯合、亞  
上ニ立脚スル國際聯盟ノ本質的缺陷ニ出ツルモノデアアル、今明日ノ國際政治並ビニ國際經濟ハ恐ラク歐羅巴聯合、亞  
細亞聯合、亞米利加聯合、ソウイェト聯合或ハアンカソクン聯合等ノ汎大陸の乃至汎民族の諸集團ノ對立ト協力  
ノ交錯ニヨリテ運籌セラルベキ動向ニアリ新ナル世界平和ノ機構ハ正ニ斯クノ如キ諸集團並立ノ態勢ヲ基調トシテ樹  
立セラレザルベカラザルヲ知ルンテアル

大亞細亞聯合ノ結成ハ今日ノ亞細亞ニトリテ必要ナルノミナラズ眞個ノ世界平和確保ノ上ニモ最善且絕對ノ途デア  
ル、吾人ガ茲ニ相圖ツテ大亞細亞協會ヲ創立シ亞細亞諸國ニ於ケル文化、政治、經濟諸事情ノ調査研究、皇國ト亞細  
亞諸國トノ親和誘掖關係ノ増進、之等諸國ニ對スル皇國文化ノ紹介、普及等ノ努力ヲ進シテ、ヤカテ全亞細亞諸民族  
ヲ打ツテ一九トスル亞細亞聯盟ノ實現ニ向ツテ拮据セントスル所以ノモノモ實ニ此ノ途ガ人類文化ノ進運ニ貢獻シ世  
界平和ヲ確保スル最善絕對ノ途ナルコトヲ確信スル

々(大亞細亞協會)

四一



名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
大亞細亞建設社	一般國家主義團體	東京市澁谷區千駄ヶ谷五ノ八七〇	昭八、六	大亞細亞	笠木良明 馬場園義馬 口田康信 高村光治 (會員數) 約一三名	一、目標、世界ノ爲メニ大道ヲ開闢シ政治的獨道ヲ超越シ經濟的獨道ヲ清算シテ真正平和ノ基ヲ開ク 一、認識、世界革命ノ歴史の必然ハ文化共同體タル亞細亞民族ノ大同團結ノ一途アルノミニシテ而モ滿洲建國ハソノ第一歩ナルヲ確認ス 一、實踐、道ノ興起ハ世界維新ノ始メニシテ終リナルヲ決着シ近ク一郷一村ノ道統自治ヲ實現シ之ヲ推シテ遠キニ及ビ大同維新ヲ完成ス 一、世界正義ノ確立ハ大アジアノ實現ヲ前提トスルヲ確信シ全アジア青年ノ精神的覺醒ヲ喚起ス 一、世界ノ興隆ハアジアノ正シキ秩序ト公正ト自主トノ回復ニ始マルベキヲ確信シアジア再組織ノタメニ精進健闘ス 一、アジアノ世界の使命ノ遂行ハ専ラアジア民族ノ團結ニアルヲ確信シアジア青年ヲ動員ス 一、世界ノ道德の一元化ハ邪惡歪曲ノ折伏ニヨリ貫徹サルベキヲ確信シ内外ニ挺身道ニ殉セントス
大亞細亞日本青年聯盟	一般國家主義團體	東京市澁谷區百人町二ノ二〇二	昭八、八	大亞細亞青年	山口一太郎 二村克巳 三宅勉 青柳芳彦 (會員數) 約三〇〇名	一、條約ヲ尊重シ外交ノ威信ヲ確保スルコト 一、滿蒙ニ於ケル我カ權益ヲ確保スルコト 一、在滿蒙華人ノ利益ヲ擁護スルコト 一、一黨一派ニ偏セズ是非々主義ヲ以テ國論ノ喚起ト輿論權威アル國民外交ノ樹立ヲ目的トス

多(大亞細亞建設社、大亞細亞日本青年聯盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
大亞細亞民族會	一般國家主義團體	東京市麴町一區內幸町一ノ五內幸セ	不詳	—	高鍋日統	一、條約ヲ尊重シ外交ノ威信ヲ確保スルコト 一、滿蒙ニ於ケル我カ權益ヲ確保スルコト 一、在滿蒙華人ノ利益ヲ擁護スルコト 一、一黨一派ニ偏セズ是非々主義ヲ以テ國論ノ喚起ト輿論權威アル國民外交ノ樹立ヲ目的トス
對外同志會	一般國家主義團體	東京市世田谷區三軒茶屋石光方	昭四、一	—	大井成元 小林順一郎 五百木良三 葛生能久 入江種矩 石光眞臣 菊地武夫 田鍋安之助 內藤順太郎 (會員數) 約六〇〇名	一、大化會ハ日本ノ對世界の使命ヲ全國ニ理解セシメ以テ日本ノ合理的改造ヲ斷行スル根源的勢力タルヲ目的トス 二、大化會ハ奴隸的日本ノ舊思想ヲ排斥ス同時ニ模倣反響ヲ事トスル歐米ノ舊思想の革命ヲ排斥ス 三、大化會ハ全國民ヲ基基トシテ其ノ間ノ指導的青年ノ人格的結合ヲ計リ以テ全國ニ號令スルノ日ヲ努力ス 四、大化會ハ日本非道ノ大事ニ際シ
大化會	一般國家主義團體	東京市牛込區加賀町二ノ五	大九、四	—	岩田富美夫 小山大藏 荒牧退助 (會員數) 約三〇〇名	一、大化會ハ日本ノ對世界の使命ヲ全國ニ理解セシメ以テ日本ノ合理的改造ヲ斷行スル根源的勢力タルヲ目的トス 二、大化會ハ奴隸的日本ノ舊思想ヲ排斥ス同時ニ模倣反響ヲ事トスル歐米ノ舊思想の革命ヲ排斥ス 三、大化會ハ全國民ヲ基基トシテ其ノ間ノ指導的青年ノ人格的結合ヲ計リ以テ全國ニ號令スルノ日ヲ努力ス 四、大化會ハ日本非道ノ大事ニ際シ

多(大亞細亞民族會、對外同志會、大化會)

I-0726

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大義社	一般國 家主義	東京市澁谷 區代々木富 ヶ谷一五六	不詳	—	渡邊 豐	テ原始的の武人ノ典型タルヘシ剛 健、素朴、簡易、雄大、正義ノ全 生活ヲ體現スヘシ 五、大化會員ハ天下何者ヲモ怖レザ ルベシ只正義ノ審判最モ峻嚴ナル コトヲ誓服ス
大衆國威 聯盟	一般國 家主義	東京市麴町 區元平河町 一〇	昭三、二	大衆國 威	箕浦 春濱 坂本 憲三 副島 愛川 山田 徹 階 本 樹 清 山 樹	一、我々ハ立憲政治ヲ排撃シ天皇政 治獲得ニ闘フ 一、我々ハ精神文化ヲ再興シテ統制 經濟ノ確立ニ闘フ 一、我々ハ大亞細亞民族ヲ結成シテ 外敵ノ壓迫ニ闘フ 其ノ他各地方局ノ指導下ニ府縣町 村等ハ各支局、分局、班等設置之 レテ各支分班長各自ヲ統制ノ任ニ 當ル

★(大義社、大衆國威聯盟)

四四

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大乘會	一般國 家主義	東京市小石 川區小日向 三	大九、三	大乘	田中 弘二 本田 廣善 光山 百川 山田 百川 (會員數) 百數十名ト稱ス	今ヤ東方亞細亞文化復興ノ機運漸ク 熟シ大東日本ハ其ノ盟主トシテ勇猛 精進スベキ歟ニ際シ聖德太子ノ遺 教ヲ奉シテ久シク教會ニ活躍シ來レ ル我大乘會ハ東亞ノ精神文化ノ精髄 タル大乘佛教ノ妙理ヲ根柢トシ更ニ 西歐ノ物質文化ノ美點ヲ採リ以テ鐵 肉鑿美ノ大乘的新文化ヲ日本ニ建設 シ進ミテハ接連即救光土ノ大理想ヲ 實現セムト欲ス……
大正赤心 團	一般國 家主義	東京市深川 區平久町一 ノ一三	大七、二	—	森 健次 原田 君次 高橋 四吉男 赤羽 康州 米山 義夫 渡部 武夫 小林 信	一、皇室ヲ中心トシ我國民精神ノ統 一完成ニ努ム 一、國體ノ尊嚴ヲ危ウスル總テノ思 想ニ對シ其撲滅ヲ期ス 一、帝國憲政ノ穩健ナル發達ヲ庶幾 ス 一、黨派ニ偏セズ一意國威ノ伸張ヲ 念トス 一、殖産興業ノ國家的發達ヲ協力ス
大統社	一般國 家主義	千葉縣東葛 飾郡八幡町	大五、三	—	吉田 三郎	一、大統社ハ光輝アル我國體宣揚ノ タメ決死殉難ノ志士ニヨリ精パレ タル血盟ナリ 一、大統社ハ弱少亞細亞諸民族ノ大 同團結ヲ策シ奪ハレタル亞細亞ノ 奪還ヲ期ス

★(大乘會、大正赤心團、大統社)

四五

I-0726

表(大道社、大動社)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大道社	一般國 家主義 團體	東京市麻布 區六本木二 七	昭四	—	角岡知良	一、大統社ハ一切ノ行動世俗ノ毀譽 褒貶ヲ顧ス只天ノ照臨審判ヲ俟ツ 一、世界平和ノ爲國際正義ヲ確立ス 期ス 一、汎フラン人種間ニ血族的和親ヲ 求メ文化的經濟的提携ヲ圖ル 一、國家的對清支政策ヲ樹立シ期シ 之等ノ地方ニ關スル知識ヲ普及ニ 努力ス 一、國民精神ノ復興ヲ期シ青年士氣 ノ作振ニ道ヲ顯揚ニ努力ス
大動社	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區永田町二 ノ一	昭七三	—	山本岩雄	主義 建國精神ヲ實揚シ國民志願ヲ大道ヲ 守護シ以テ道義的統一ニ進進ス 綱領 一、東洋平和ヲ確立ハ一ツニ我々國 防ノ完壁ニアリ據ツテ軍備ノ充實 ヲ期ス 一、經濟國策ヲ基調シ確立シテ國運 ヲ進展ス 一、一君萬民ノ大義ニ則リ國民精神 ヲ發揚ス

大同聯盟	一般國 家主義 團體	東京市目黒 區上目黒九 八七	大一一〇	—	小島高踏 下澤秀夫 芳川哲 佐藤守文 松本守正	一、國體ノ精華ヲ發揚シ君民同治ノ 完成ヲ期ス 一、國體ヲ危ウスル國體ノ撲滅ヲ期 ス 一、金權政治ヲ排撃シ民衆生活ノ充 實ヲ期ス 一、內政ヲ改革シ國民外交ヲ確立ス 期ス 一、人種平等ノ大義ニ則リ民族ノ融 合ヲ期ス
大日本愛 國義團	一般國 家主義 團體	東京市本所 區業平橋二 ノ四	昭五〇	愛國義 團報	松岡林造 波邊正良 (會員數) 約一五〇名ト稱ス	主義 日蓮主義
大日本學 生聯盟	一般國 家主義 團體	東京市澁橋 區西大久保 三ノ九一	昭六五	神政	森清一 清水英雄 菊地弘泰 木田留男 松尾大象	盟誓 吾等ハ純真ナル學徒ノ立場ヨリ犧牲 愛國ノ精神ヲ以テ團結シ眞日本建設 ノタメ皇道宣布ノ前衛タラシコトヲ 誓フ 綱領 一、吾等ハ建學ノ本旨ニ則リ文武ニ 精勵シ修徳習業品位アル職團の中 堅國民タラシコトヲ期ス 一、吾等ハ輕佻浮薄ノ弊風ヲ打破シ 實實國民ナル氣風ヲ作興ス 一、吾等ハ非國家的思想ヲ一掃シ學

表(大同聯盟、大日本愛國義團、大日本學生聯盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本錦旗會	一般國家主義團體	東京市澁谷區幡ヶ谷三ノ三六	昭五三	錦旗公論	本多葵堂 小橋正則 山田庄藏 小倉康榮 野木高踏 小山六之助 渡邊浩利 遠藤辰五郎 庄司彦雄 山田冬藏 (會員數) 約二〇〇名	一、皇道日本ノ建國ノ大義ニ則リ君民ノ間ニ介在スル一切ノ不正ヲ排除シ一君萬民ノ理想政治ノ完成ヲ期ス 二、資本偏重ノ社會組織並ニ經濟機構ノ改革ヲ斷行シ國民ノ生存權ノ確立ヲ期ス 三、國際友誼ヲ尊重スル一面強硬自主的外交ニヨリ國權國威ノ宣揚ヲ期ス 四、東西文明ノ融合統一ニヨリ大和民族本來ノ使命タル建國ノ理想ノ實現ヲ期ス 五、頑迷保守ト急進左傾ノ非日本的思想ノ撲滅ヲ計ルト共ニ心身ノ鍛練ニヨリ武士道ノ雄魂ノ氣風ヲ育成作興シテ國民思想ノ統一ヲ期ス
大日本俱樂部	一般國家主義團體	東京市牛込區河田町一	大一二六	—	増田一悅	日本及日本人本來ノ使命ノ再認識ヲ強調シ現時ノ外交ニ内治ニ日本臣民トシテ眞ニナスベキヲナシ上ナル皇道日本帝國ノ建設ニ邁進ス

タ (大日本錦旗會、大日本俱樂部)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本經國聯盟	一般國家主義團體	東京市赤坂區福吉町二(別邸内)	昭三二	經國新聞	一條實孝 吉富庄祐 瓜生喜三郎 大島高精 小林 鑄 座間止水 増田具治 中里義夫 澤田壯吉 阿部民治 森山知可	一、我等同志ハ建國ノ精神ヲ體シ經國の政治ノ實現ヲ期ス 二、我等同志ハ國防ノ充實ヲ計リ皇道精神ノ顯揚ヲ期ス 三、我等同志ハ建國ノ精神ニ基テ教育制度ヲ確立シ大國民の教化ノ達成ヲ期ス 四、我等同志ハ皇道精神ヲ基調トスル經國の經濟政策ヲ斷行シ國民生活ノ確保ヲ期ス 五、我等同志ハ東亞民族ノ結成ヲ計リ世界平和ノ促進ヲ期ス
大日本建國精神率團	教化團體	東京市本郷區根津宮永町三八	昭六	國之礎	香取信一郎	主 唱 天照大神大理想「建國之大精神」 一、皇太神宮ニ朝禮スル事 二、ハバ、ママ等ノ外語排撃 三、大日本ト外邦トノ紀元ノ對照
大日本皇國會	一般國家主義團體	東京市世田ヶ谷區玉川等々力町三ノ七六一	—	—	栗山 勇	綱 領 一、大日本國土黨ノ目的ハ光輝アル我國體ノ精神ヲ發揚シ併セテ先
大日本國土黨	一般國家主義團體	東京市牛込區山吹町一三三小四方	昭八三	—	伊藤公明 山岸純一郎 藤野武志 宮永辰治 小澤啓志 初田龍藏	—

タ (大日本經國聯盟、大日本建國精神率團、大日本皇國會、大日本國土黨)

大日本國粹會總本部

名	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本國粹會總本部	一般國 家主義 團體	京都市堺町 二條上ル中 安方	大八二〇	日本 國粹之 機關紙	中安信三郎 床次竹次郎 頭山三郎 (會員數) 約二十萬ト稱ス	一、皇室中心主義ニヨリ道徳ノ大綱ヲ鑿キ忠孝ノ大義ヲ以テ國家道徳ノ頌揚ヲ防止シ國體ヲ擁護セシメトナリ 一、仁俠ノ精神ニ基キ國體ニ當リ社會ノ秩序ヲ整頓セシムコトヲ期ス 一、生活問題ヲ解決シ資本家ト勞働者トノ協調ヲ計リ以テ社會ノ安全ヲ期ス

五〇

※少皇道ヲ世界ニ布クノ大業ニ在リ  
 一、大日本國土黨ノ目的ハ建國ノ精神ニ立脚シタル道義ヲ確立シ、之ニ反スル一切ノ諸惡ヲ討滅スルニアリ  
 一、大日本國土黨ノ目的ハ大義ノタメニハ名利ヲ超越シ國土輔國權性職身ノ大使命ニ基キ日本臣民タルノ本分ヲ盡シ以テ國體ノ柱石トシテコトナリ  
 一、大日本國土黨ノ目的ハ平時ハ至誠一貫業務ヲ守リ高潔ナル武人ノ精神ヲ典型トナシ一朝有事ノ際ハ義勇奉公一死以テ目的ノ貫徹ヲ誓風ス  
 一、大日本國土黨ハ忠君愛國ノ志士ニヨリテ結バレタル血盟ナリ  
 一、大日本國土黨ハ天下何者ヲモ怖レズ一切ノ空論ヲ斥ケ只ソノ所信ニ向テテ勇往邁進ス  
 一、大日本國土黨ハ日本國家ノ傳統ヲ把握シ一切ノ非國家的要素不義ヲ討滅スル所謂純正日本魂主義デアラル  
 一、大日本國土黨ハ公明正大ナル綱領ニ則リ皇國ノ興隆ニ貢獻セシムコトヲ天地神明ニ誓フ

一、黨員ハ私ヲ棄テ公ヲ主眼トスベシ  
 一、行動ハ敬活ニシテ萬ノ議論ハ一ツノ實行ニ如カズ  
 一、先輩ニ對シテハ絕對ノ服從ト敬意ヲ表シ禮儀ヲ正シクスベシ  
 一、黨員ハ爭鬪ヲ好マスサレド武士道ヲ尚ブ若シ敵ノ襲撃ヲ受ケタル場合死力ヲ盡シテ我が身ヲ護ルベシ  
 一、信義實業ヲ守リ相戒メ相富ミ不善不徳尙シケモ兇暴ノ振舞アル可カラズ

大日本國會、大日本國青年黨、大日本古神道實行團

大日本國會	大日本國青年黨	大日本古神道實行團
教化團體	一般國 家主義 團體	一般國 家主義 團體
京都市本所 區東駒形町 三ノ二七	京都市豊島 郡池袋二ノ 八五三	大分縣別府 市外朝日村 小倉大平山 麓
大八二二	八五三	大三四
片岡君惠 波邊志盛 松本幸 (會員數) 三五〇名	須藤理助	奥村愛子 中村良助 中村俊作 坂本寛之 山本豊國彦 奥村玉二 和田義彦
一、皇室中心主義ヲ遵奉シ精神の護國ノ大任ニ邁進ス 一、國家ノ干城タル義務ニ同情シ其ノ後援ヲナス 一、社會政策ノ見地ヨリ貧者病者失業者在總軍人ヲ保護シ其ノ救済ニ盡力ス 一、講演、慰安會ヲ隨時開催シ時ニ或ハ雜誌ヲ發行シ又ハ新聞圖書ヲ刊行シ此ノ機關トナスト共ニ本會維持費ノ補填ヲナス	一、我等ハ天孫降臨ノ歴史的意義ニ基キ皇祖皇宗ノ遺訓ヲ奉シ祖先ノ偉業ヲ繼承シ爾來ニ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼シ奉ラシ事ヲ期ス 一、我等ハ國本ノ大義ニ則リ神政ヲ復建シ全國神社ヲ中核トシタル神祇崇敬觀念ノ徹底ヲ期シ天祖ノ大道ニ遵由リ以テ生成生花ノ眞理化運動ヲ提唱ス 一、天照皇大神一點張ニテ個人ヲ修信條	

五一

I-0726

名	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
大日本國家社會主義協會	社會主義運動 轉向派	東京市芝區 田村町二ノ 一〇赤門屋 ビル内	昭九三	國家主義 建設	石川準十郎 右近良一 樋口喜徳 春日幸造 香月正治 田邊三郎 長谷川正 石川準十郎 勝谷爲友 別府峻介 相良政行 金子忠吉 齊藤直幹 宮川千之助 鷺野準太郎 關後二 約二、五〇〇名	<p>一、我等ハ現下ノ我國生活ノ救済ハ國家ニヨル集中ノ計畫經濟ノ施行ニヨル外ナキモノト信ジ合法的方法ニヨリ之ヲ達成ス</p> <p>一、我等ハ凡ソ國民ハ其ノ生存ノ自然ノ基礎(土地及資源)ニ於テ平等ノ權利ヲ有スルモノト信ジ我國民ノ生存ニ必要ナル土地及資源ヲ公然世界ノ適當占有國民ニ向ツテ要求ス</p> <p>一、我等ハ「アジア」民族及有色民族ノ解放ヲ以テ世界人類ニ對シ我國民ノ與ヘラレタル使命ナリト信ジ一大民族運動ニヨリ之ヲ實現ス</p> <p>綱領</p> <p>一、皇室ヲ中心ニ大衆共榮ノ理想實現ス</p> <p>一、實質剛健ナル氣風ヲ涵ヒ奇矯ナル思想ノ絶滅ス</p> <p>一、節義ヲ重シ友誼ヲ保持シ以テ民心ヲ興ス</p> <p>一、正義ヲ尊ビ純理ニ立脚シテ行動ス</p> <p>一、公共ノタメニハ一切ノ名利ヲ超越シ赤誠專ラ其ノ目的ノ達成ヲ期ス</p>
大日本國家社會主義黨	社會主義運動 轉向派	東京市芝區 田村町二ノ 一〇赤門屋 ビル内	昭九三	國家主義 建設	石川準十郎 右近良一 樋口喜徳 春日幸造 香月正治 田邊三郎 長谷川正 石川準十郎 勝谷爲友 別府峻介 相良政行 金子忠吉 齊藤直幹 宮川千之助 鷺野準太郎 關後二 約二、五〇〇名	<p>一、我等ハ現下ノ我國生活ノ救済ハ國家ニヨル集中ノ計畫經濟ノ施行ニヨル外ナキモノト信ジ合法的方法ニヨリ之ヲ達成ス</p> <p>一、我等ハ凡ソ國民ハ其ノ生存ノ自然ノ基礎(土地及資源)ニ於テ平等ノ權利ヲ有スルモノト信ジ我國民ノ生存ニ必要ナル土地及資源ヲ公然世界ノ適當占有國民ニ向ツテ要求ス</p> <p>一、我等ハ「アジア」民族及有色民族ノ解放ヲ以テ世界人類ニ對シ我國民ノ與ヘラレタル使命ナリト信ジ一大民族運動ニヨリ之ヲ實現ス</p> <p>綱領</p> <p>一、皇室ヲ中心ニ大衆共榮ノ理想實現ス</p> <p>一、實質剛健ナル氣風ヲ涵ヒ奇矯ナル思想ノ絶滅ス</p> <p>一、節義ヲ重シ友誼ヲ保持シ以テ民心ヲ興ス</p> <p>一、正義ヲ尊ビ純理ニ立脚シテ行動ス</p> <p>一、公共ノタメニハ一切ノ名利ヲ超越シ赤誠專ラ其ノ目的ノ達成ヲ期ス</p>

表(大日本國家社會主義協會、大日本國家社會黨)

名	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
大日本國家社會主義黨	社會主義運動 轉向派	東京市芝區 田村町二ノ 一〇赤門屋 ビル内	昭九三	國家主義 建設	石川準十郎 右近良一 樋口喜徳 春日幸造 香月正治 田邊三郎 長谷川正 石川準十郎 勝谷爲友 別府峻介 相良政行 金子忠吉 齊藤直幹 宮川千之助 鷺野準太郎 關後二 約二、五〇〇名	<p>一、我等ハ現下ノ我國生活ノ救済ハ國家ニヨル集中ノ計畫經濟ノ施行ニヨル外ナキモノト信ジ合法的方法ニヨリ之ヲ達成ス</p> <p>一、我等ハ凡ソ國民ハ其ノ生存ノ自然ノ基礎(土地及資源)ニ於テ平等ノ權利ヲ有スルモノト信ジ我國民ノ生存ニ必要ナル土地及資源ヲ公然世界ノ適當占有國民ニ向ツテ要求ス</p> <p>一、我等ハ「アジア」民族及有色民族ノ解放ヲ以テ世界人類ニ對シ我國民ノ與ヘラレタル使命ナリト信ジ一大民族運動ニヨリ之ヲ實現ス</p> <p>綱領</p> <p>一、皇室ヲ中心ニ大衆共榮ノ理想實現ス</p> <p>一、實質剛健ナル氣風ヲ涵ヒ奇矯ナル思想ノ絶滅ス</p> <p>一、節義ヲ重シ友誼ヲ保持シ以テ民心ヲ興ス</p> <p>一、正義ヲ尊ビ純理ニ立脚シテ行動ス</p> <p>一、公共ノタメニハ一切ノ名利ヲ超越シ赤誠專ラ其ノ目的ノ達成ヲ期ス</p>

表(大日本國家社會黨)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
大日本守國會	一般國家主義團體	名古屋市南區熱田旗屋町二九二	昭八四	守國	興 吳 鋼 二 伊 藤 倉 藏 伊 藤 清 藏 藤 井 茂 行 服 部 鈴 吉	皇室を中心ニ大衆共榮ノ理想實現ヲ目的トス 一、本會員ハ絶體皇室中心主義ニ結東シ光輝アル我が國體ヲ擁護シ進シテ全世界ノ皇化ヲ期ス 一、本會員ハ天皇政治ノ確立ヲ主張シ政黨中心主義政治ノ廢除ヲ期ス 一、本會員ハ國民道徳ヲ涵養シ祖先ノ遺風ヲ顯彰シ品性ヲ高メ人格ヲ重シ正義ニ生キ仁俠ヲ以テ大和民族傳統ノ美風ノ完成ヲ期ス 一、本會ハ從來ノ自由資本主義ヲ排撃シ産業工業ノ國家統制樹立ヲ計ル 一、本會ハ東洋平和ト大日本帝國ハ是樹立ノタメニ滿蒙トシベリヤニ大和民族ノ進出發展ヲ計ル 一、本會ハ世界平和將來ノ世界大戰防止ノタメニ國防充實ニ對シ獻身ノ努力ヲナス 一、本會ハ赤化思想ト共産主義ニ對シ徹底的撲滅運動ヲ成ス 一、本會ハ皇道義勇ヲ設置シ以テ青年ノ精神ノ修養ヲ成ス

五 (大日本守國會)

五四

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義綱領
大日本昭和聯盟	一般國家主義團體	東京市麴町區内山下町一ノ一東栢ビル内	昭四二	あかるい政治	増井潤一郎 安岡正篤 富田郡三 加藤 傳 (會員數) 約三〇〇名ト稱ス	一、國體ノ宣揚 一、本會ノ目的ハ國體ヲ宣揚シ皇道ヲ四海ニ布クニ在リ 一、道義ノ確立 一、本會ノ目的ハ憲法報國ニ立脚シタル道義ヲ確立シ之レニ反スル諸惡ヲ根絶スルニ在リ 一、費用ノ自辨 一、本會ノ目的遂行ニ要スル一切ノ費用ハ同志ノ出金ヲ基金トシ連署者ノ働キヲ得タルモノヲ以テ之ヲ支辨シ斷シテ外部ノ物質的援助ヲ仰ガズ
大日本昭	教化團體	東京市麴町區内山下町一ノ一東栢ビル内	昭四二	あかるい政治	水野鍊太郎 白上佑吉 森田 福市 福島潤太郎 熊谷直三郎	目的 本會ハ昭和親政ノ本義ニ則リ政黨政派ヲ超越シ健全ナル政治思想ヲ普及發達ト公明ナル政治道徳ヲ振作更張トシ圖ルヲ以テ目的トス 綱領 一、敬神尊王愛國ノ大道ヲ政治ノ大本トナス 一、九千萬同胞ノ最後ノ一人ニ至ル迄陛下ノ赤子タルニフサワシキ生活ヲナス事 一、共存共榮ノ大義ニ則リ恒久ノ平和ヲ地上ニモタラス事

六 (大日本昭聯盟、大日本昭和聯盟)

五五

★(大日本進興俱樂部、大日本神農會、大日本正義團)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本進興俱樂部	一般團 家主義 團體	大阪市西成區長橋通二ノ七	昭七九	—	佐々木藤松 宗川勝 淺田泰司 平野伊三郎 廣瀬義一 若林吉雄 伊藤眞三 福井泰次郎	建國ノ精神ニ基キ皇道主義ヲ強調シ以テ正義ノ大道ヲ邁進ス 綱領 一、建國ノ精神ヲ擴充シ以テ國民精神ヲ作興シ全世界ニ皇道之宣布ヲ期ス 一、思想ヲ善導シテ社會百般ノ積弊ヲ打破シ大衆生活ノ明期ヲ期ス
大日本神農會	教化團 團體	東京市淺草區北田原町六	大二五二	—	山田春雄 (會員數) 約三〇〇名	綱領 一、皇室中心國民相愛ノ大義ニ起テテ諸制ヲ改革シ隨習ヲ打破シ以テ社會平和ト國家興隆ニ實セシムコトヲ期ス 一、實質剛健ナル精神ノ振興ヲ計ルコト 一、社會缺陷ノ改善不常ナル制度ノ改革促進ヲ計ルコト 一、博愛共存ノ大義ヲ宣揚スルコト
大日本正義團	一般團 家主義 團體	東京市芝區高輪南町二九	大二四二	正義時報	酒井榮藏 (會員數) 關東地方ニテ約七萬名ト稱ス	一、慈悲任侠ヲ旨トシ仁義ノ道ヲ志スルナ 一、忠君愛國、孝行信義ノ念ヲ專ラトシ己ガ發業ニ精勵スベシ

五六

★(大日本生産黨)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本生産黨	一般團 家主義 團體	東京市麴町區永田町二ノ八六	昭六六	改造戰線	頭山滿 吉田益三 葛生能久 松田禎輔 立花良介 坂井六郎 柴山滿 井上四郎 西郷隆秀 (會員數) 約十四、五萬名ト稱ス	一、自重ノ念ヲ起シ廉恥ノ心ヲ養ヒ共同和親ノ實ヲ舉グ 一、親分ハ親ノ如ク乾分ハ子ノ如ク乾分同志ハ一家兄弟タリ親分ノ命スル處ハ水火モ辭セズ兄弟ハ互ニ相助ケ又禮讓ヲ忘ルベカラズ 綱領 一、國體觀念ヲ缺知セル政治家ノ根絶 一、金融寡頭專制政治打破 一、金融財閥ノ寄生虫、政民兩黨非撃 一、國賊共産黨、全協亞流共産主義黨(全國勞農大衆黨)、社會民主主義黨(社會民衆黨)擊滅 一、國民共存共榮政治ノ建設 一、國民共在共榮政治ノ建設*

\*、大日本主義政權ニ立ツ強硬外交展開  
一、支那ノ誘導開發  
一、精銳ナル國防機關ノ充實實國の軍縮論排撃  
(經濟)  
一、亡國の資本主義經濟組織ノ根本的改善  
一、我利の金融資本家打倒、金融機關ノ國家管理  
一、勤勞國民大衆ノ生活保證  
一、生活必需品ニ對スル消費稅撤廢  
一、生活必需品(瓦斯、水道、電氣)供給停止反對

五七



★(大日本青年同志會、大日本青年聯盟、大日本奉公團)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本青年同志會	一般國家主義團體	東京市赤坂區青山南町五ノ五四	昭七、〇	大日本青年同志會	鈴木善雄、河野策太郎、小崎一誠、寶玉一英、吉田重一	武道技術ノ練磨並ニ精神ノ修練ニ精進シテ實業團體ノ志ヲ發シ忠良ナル臣民ノ本分ヲ當リシ此ノ對期の時代ノ進運ニ添ハン事ヲ期ス
大日本青年聯盟	一般國家主義團體	東京市赤坂區青山南町二ノ一一	昭三、二	—	久保山之輔、榎部一郎、石井製袋吉、加賀幸太郎、中村重雄、岸野清藏	一、明治大帝ノ遺訓ヲ尊奉シ以テ維新ノ宏願ヲ顯揚セムコトヲ期ス 一、日本特有ノ文化ヲ根幹トシテ東西文化ヲ融合シ以テ健全ナル思想ヲ發達ス 一、天職ヲ重シテ新興日本ノ青年タル大使命ヲ全サセムコトヲ期ス
大日本奉公團	一般國家主義團體	東京市麴町區土手三番町三〇蓮井	昭三、九	—	進井繼太郎 (會員數) 三〇〇名	綱領 一、意氣ヲ以テ仁侯ヲ本領トス 二、皇室中心主義ヲ奉テ國民精神ヲ作興ス

(社會)  
 一、一國一家主義徹底  
 一、不合理ナル社會の制度ノ撤廢  
 一、一切ノ勞働者ニ對スル失業、疾病、災害保險制度ノ確立  
 一、施療施設ノ徹底  
 一、教育ノ機會均等、建國精神ニ立脚スル國民教育ノ徹底  
 一、自主的愛國青年團建設  
 一、一切ノ階級の利己主義排撃、家族の國民道德高揚  
 一、日本の勞働組合法ノ確立  
 一、誤レル一切ノ現行爭議調停法ノ根本的改正  
 一、徵兵其他公務奉仕ニヨル失業災害並ニ窮乏家族保險制度ノ確立  
 一、宗教、教育ノ營業化禁壓  
 一、移民政策ノ確立

★(大日本報國會、大日本愛國青年同盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
大日本報國會	一般國家主義團體	東京市京橋區銀座西七ノ五	昭四、四	報國評論	庭田順一郎、朝岡稻太郎、峰岡信吉、山本武弘、渡邊弘、津野邦雄、宇野昌美、富塚昌美	本會ハ我カ建國ノ精神ヲ尊重シテ尊皇愛國ノ大義ヲ鼓吹シ時勢ニ鑑ミ思想善導ニ努力シ國體擁護ノ目的ヲ達成スルコトヲ期ス
大日本愛國青年同盟	一般國家主義團體	東京市澁谷區美竹町一三	昭七、九	—	三宮維信、武井福造	一、大日本主義ノ國是ニ則リ皇道政治ノ確立ヲ期ス 二、大日本主義の經濟經濟論ヲ斷行シ以テ左記ノ目的ノ達成ヲ期ス 一、國防計畫ノ充實 二、國民本位ノ經濟機構ノ改修斷行 一、産業ノ民營化ノ斷行 二、中小商工業者ノ商權ノ確保ト向上 三、農村經濟更生ト無産農民大衆ノ生活權ノ確立 四、勤勞無産大衆ノ勞働權ノ確立ト向上

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義・綱領
大民俱樂部	一般國家主義團體	東京市世田谷町若林二八一	昭六三	大民	柴田徳次郎 眞藤義丸 山崎源二郎 (會員數) 一、五〇〇名ト稱ス	三、國家財政計畫ノ確立 四、日滿統制經濟制度ノ確立 一、大日本主義的教育制度ノ確立 一、大日本主義精神作興ト國民思想善導方針ノ確立 一、國家以來ノ國是ニ基キ輿論ノ指導、國民ノ教化社會人類ノ福祉ヲ増進スルヲ以テ目的トス (標語) 愛國救人 友情協力 社交修養
中央乃木會	教化團體	東京市赤坂區新坂町六三	大三六	—	阪谷芳郎	
中央報徳會	教化團體	東京市四谷區三光町八	明三六二	新氏	下村壽一 關屋龍吉 小倉正恒 有賀長文 四條隆英 赤星陸治 馬場英一 小平權一 水町製裝六	

六〇 (大民俱樂部) 子(中央乃木會、中央報徳會)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義・綱領
地湧日本社	一般國家主義團體	東京市芝谷區原宿二〇九	昭八八	—	内田剛藏	「大地震襲シ地湧ノ著露出現ス」ト地湧著書トハ地下層ニ埋ルル救主ノ群ト云フコト即チ草澤ノ英雄下層階級ノ義傑偉人ノ義ナリ 一、本社ハ皇國々體ノ眞姿ヲ論ニ求メ現實ニ提ミテ國體ノ眞姿ヲ顯現シ擁護スベク一切ノ運動ニ精進スベシ 一、本社ハ護國ノ爲メニ尊キ犧牲トナレル先覺ノ魂膽ヲ現實ニ生カスベク世論政治ヲ超越シテ行動ニ移スベシ 一、本社ハ統治權ノ上ノ最高ノ統治權ガ國際的ニ復活シテ各國家統治スル最高國家ノ出現ヲ覺悟スベシ 一、本社ハ日本化シ世界化シタル亞細亞思想ヲ以テ國民ヲ啓蒙シ人類ノ神性的進歩ヲ期スベシ 右四項ヲ具體化スベク四海同胞是皆佛子ノ天道ヲ宣布シ國家改造、亞細亞聯盟、世界聯邦實現ノ一大聖戰ニ勇躍ス 一、我等ハ協同一致ノ組織ヲ以ツテ生活ノ向上福利ノ増進並ニ知識ノ啓蒙ヲ期ス 一、我等ハ着實ナル手段方法ヲ以テ
遞友同志會	社會主義運動團體	東京市芝谷區今入町一五	大一九九	遞信労働新聞	中野正剛 戸島豐治 櫻井彦一郎 居宮朝一 安浦山隆行 北村省三 村仁恭	

六一 (地湧日本社) 子(遞友同志會)

I-0726

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
天業青年團	一般國 家主義	東京市下谷 區上野櫻木 町一	大一一、一	天業氏 報	田中智學	通信事業ノ公共性ヲ擁護シ進ンテ 其ノ健全ナル發達ヲ期ス 一、我等ハ一君萬民ノ精神ニ基キ亡 國資本主義機構ヲ打破シ擡取ナキ 新日本ノ建設ヲ期ス 日蓮主義
天行會	一般國 家主義	東京市澁谷 區常盤松一 二	昭六二	—	頭山秀三 佐藤俊治 關金太郎 平井幸四郎 和田準三 増田一徳	廣ク天下ノ大道ヲ闡明シ外ハ東亞諸 民族ノ興隆ヲ計リ内ハ自強以テ建國 精神ノ發揚ヲ期スナ目的トス 心得 一、君ニ忠ニ父母ニ孝ヲ盡スコト 一、家業ヲ勉勵スルコト 一、子弟ノ教育ヲ志ラザルコト 一、禮儀ヲ守リ儉約ヲ旨トスルコト 一、常ニ親善ヲ計リ互ニ相扶ケ合フ コト 團則拔萃 一、本團ハ明治天皇ノ御意ヲ表現シ 給ヒタル御製、勅書、勅語ニ就キ
天長地久團	教化團	東京市杉並 區高圓寺三 ノ三〇一	大二三〇	項角	—	—

子(天業青年團、天行會、天長地久團)

六二

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
東亞社	一般國 家主義	東京市赤坂 區青山南町 六丁目	—	—	内藤順太郎	人道ヲ鼓吹シ世界人類ノ思想融和 ヲ大成スルヲ主眼トス
東亞聯盟 義會	一般國 家主義	東京市芝區 田村町二ノ 一内田ビル	昭三二	—	小山田劍南 入江種矩 須藤理助 (會員數) 約一〇〇名ト稱ス	一、内政ノ刷新 一、對支外交ノ確立 一、政權爭奪ヲ事トスル政黨ノ排撃
東海聯盟	一般國 家主義	東京市目黒 區三谷町九 五五	大二三八	—	大杉精一 (會員數) 千五百名ト稱スル 毛實ハ二、三千名位	皇室中心主義ヲ標榜シ國難ニ當ル
統天塾	一般國 家主義	東京市本郷 區西片町一 〇〇ノ一一	昭九、四	—	藤村又彦 鈴木 欸 大屋源幸	登 旨 吾等乾元統天ノ理ニ則リ治國經世ノ 要道ヲ究メ内ニ皇道ノ大本ヲ確立シ 外皇德ヲ光被シテ四海大和ノ聖業ヲ 達成スベキ使命ヲ感懐ス即チ統天塾 ヲ營ム所以ナリ同志互ニ切磋琢磨シ 以テ之ヲ修得達願ヲ期ス 榮 箴 一、志士仁人ノ道ハ救國靖民ノ道義 ヲ樹ツルニアリ宜シク虛ニシテ不

ト(東亞社、東亞聯盟義會、東海聯盟、統天塾)

六三

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
東洋共存會	一般國家主義	東京市中野區文園町一丁目	大二三	—	望月義人 大竹貫一 (會員數) 約二〇名	一、本會ハ東洋文明ヲ復興シ亞洲ノ富源ヲ開發シ東洋民族ノ共存共榮ノ幸福ヲ招來スルヲ以テ目的トス 二、本會ハ東洋文明ヲ復興シ亞洲ノ富源ヲ開發シ東洋民族ノ共存共榮ノ幸福ヲ招來スルヲ以テ目的トス 三、本會ハ東洋文明ヲ復興シ亞洲ノ富源ヲ開發シ東洋民族ノ共存共榮ノ幸福ヲ招來スルヲ以テ目的トス
内外更始俱樂部	一般國家主義	東京市牛込區原町一丁目	昭三八	革新時報	入澤吉次郎 森谷天湖 畑中光球 平野小劍 西村泰藏 影山知二 角田清彦 (會員數) 約一〇名	一、我黨ハ天皇ト國民大衆ノ間ニ介在スル一切ノ不當ナル中間勢力ヲ排除シ一君萬民一如ノ掙取ヲ冀メ正日本國家ノ建設ヲ期ス 二、我黨ハ天皇中心主義ノ下ニ全日本國民大衆ヲ忠實ニ代表シ之ガ生活權ヲ確立ヲ期ス 三、我黨ハ天皇政治ヲ徹底シ之ニ背反スル諸組織ニ根本的修正ヲ加ヘ産業大權ノ下ニ全産業ノ國家統制ヲ期ス 四、我黨ハ高度資本主義ノ傀儡タル既成政黨ト國性ヲ無視セル赤化勢力ニ對立シ之ガ克服ヲ期ス 五、我黨ハ一切ノ反軍的勢力ヲ掃蕩シ軍民一致以テ國防ヲ完備ヲ期ス 六、我黨ハ日本精神ヲ世界ニ高揚シ亞細亞民族ノ解放ヲ期ス
日猶協會	一般國家主義	東京市澁谷區猿樂町三丁目	昭七二	—	酒井勝軍	一、我黨ハ天皇ト國民大衆ノ間ニ介在スル一切ノ不當ナル中間勢力ヲ排除シ一君萬民一如ノ掙取ヲ冀メ正日本國家ノ建設ヲ期ス 二、我黨ハ天皇中心主義ノ下ニ全日本國民大衆ヲ忠實ニ代表シ之ガ生活權ヲ確立ヲ期ス 三、我黨ハ天皇政治ヲ徹底シ之ニ背反スル諸組織ニ根本的修正ヲ加ヘ産業大權ノ下ニ全産業ノ國家統制ヲ期ス 四、我黨ハ高度資本主義ノ傀儡タル既成政黨ト國性ヲ無視セル赤化勢力ニ對立シ之ガ克服ヲ期ス 五、我黨ハ一切ノ反軍的勢力ヲ掃蕩シ軍民一致以テ國防ヲ完備ヲ期ス 六、我黨ハ日本精神ヲ世界ニ高揚シ亞細亞民族ノ解放ヲ期ス

ト(東洋共存會) ナ(内外更始俱樂部) ニ(日猶協會) 六四

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
日東義會	一般國家主義	東京市麴町區內幸町一丁目	昭九三	—	牧野利務 武永利三郎 脇阪次郎 丹羽五郎 湯江利江 齋藤善兵衛 河野利江 齋藤善兵衛 小幡一政 古川誠治 倉富金市 佐川宣堅 小宮山豐太郎 賣間耕三 若木剛	一、我黨ハ天皇ト國民大衆ノ間ニ介在スル一切ノ不當ナル中間勢力ヲ排除シ一君萬民一如ノ掙取ヲ冀メ正日本國家ノ建設ヲ期ス 二、我黨ハ天皇中心主義ノ下ニ全日本國民大衆ヲ忠實ニ代表シ之ガ生活權ヲ確立ヲ期ス 三、我黨ハ天皇政治ヲ徹底シ之ニ背反スル諸組織ニ根本的修正ヲ加ヘ産業大權ノ下ニ全産業ノ國家統制ヲ期ス 四、我黨ハ高度資本主義ノ傀儡タル既成政黨ト國性ヲ無視セル赤化勢力ニ對立シ之ガ克服ヲ期ス 五、我黨ハ一切ノ反軍的勢力ヲ掃蕩シ軍民一致以テ國防ヲ完備ヲ期ス 六、我黨ハ日本精神ヲ世界ニ高揚シ亞細亞民族ノ解放ヲ期ス
日本皇政會	一般國家主義	東京市小石川區鷹龍町二丁目三七合泉	昭四三	—	今泉定助 小谷文清 (目下正規會員ト稱スルモノナシ)	一、大日本建國ノ基礎ニ基キ天皇親政ノ大義ヲ宣昭ス 二、天皇政治ノ天則ニ悖ル不良分子一切ヲ掃蕩ヲ期ス

ニ(日東義會) 日本皇政會) 六五

I-0726

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
日本交通 從業員組 合	社會主 義運動 ノ四虎ノ門 轉向派 セル内	東京市麴町 區内幸町二 ノ四虎ノ門 セル内	昭八二	交通日 本新聞	伊藤 誠 宮井昌吉 馬場五四三 濱田藤治郎 小林信吉 加藤 昇	一、天皇意志並ニ團體觀念ヲ明徴シ 民心ノ統一ヲ期ス
日本弘道 會	教化團 體	東京市神田 區西神田二 ノ一	明九四	弘道	徳川達孝 服部宇之助 廣江萬次	一、天皇中心國家主義ノ宣揚 一、我が陸海軍政策ノ徹底的鞭達 一、日滿提携ニヨル亞細亞統制ノ確 立 一、對滿移民政策ノ徹底 一、非常時ニ於ケル内治外交ノ根本 的刷新 一、議會政治ノ革正 一、國民生活ヲ基調トセル經濟機構 ノ再建
日本國民 軍	一般國 家主義 團體	東京市中野 區大和町二 ノ二七四	昭七四	轉換時 代	石井敬三 馬場政一 山中伊平 四宮二郎 深山 謙 (會員數) 約一、七〇〇名	一、議會政治ノ再建ト「ファツシヨ」 排撃 一、國民主義外交ノ徹底 一、生活權確立ヲ基調トセル經濟機 構ノ革正 一、日本再建ノ根本原則ヲ調査研究シ、 ソノ實現ヲ期スル事ヲ以テ目的トス

二 (日本交通從業員組合、日本弘道會、日本國民軍)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
日本再建 同盟	一般國 家主義 團體	東京市芝區 琴平町二小 倉セル内	昭七五		板垣守正 田村秀吉 渡邊鬼子松 高岡大輔	一、議會政治ノ再建ト「ファツシヨ」 排撃 一、國民主義外交ノ徹底 一、生活權確立ヲ基調トセル經濟機 構ノ革正 一、日本再建ノ根本原則ヲ調査研究シ、 ソノ實現ヲ期スル事ヲ以テ目的トス
日本産業 軍	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區内幸町一 ノ七番セル 六階	昭九二		今村 等 陶山篤太郎 森田作間 森直次 松下彦一 米村長太郎 松吉悦次 山本龍助 松尾國一 森 登守 (會員數) 約二、五〇〇名	綱領 一、君萬民ノ建國精神ニ基キ産業大權 ヲ信奉シテ國家産業ノ發展興隆ニ努 メ皇道日本ノ確立ヲ期ス 主 張 一、我等ハ日本國民タルモノハ皇國 ノ礎タル全活動ノ終局ノ目的トス ル日本精神ニ基キ私益ヲ追求スル 階級的利己主義ノ思想、行動ヲ排 撃ヲ期ス 一、我等ハ國家奉仕ノ一元的觀念ニ 基キ日本ノ共同産業形態ヲ確立ニ ヨリ資本主義産業ノ反皇道性ノ 打破ヲ期ス 一、我等ハ君民一致共同體ノ本義ニ ヨリ都市、農村ノ對立ヲ排シ生産 消費ノ合理化ニヨリ國民經濟ノ更 正ヲ期ス

二 (日本再建同盟、日本産業軍)

二 (日本産業労働俱樂部、日本新進青年聯盟)

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
日本産業労働俱樂部	社會主義運動 轉向派	東京市京橋區新島西町二ノ七	昭八六	日本産業労働	石井熊藏 東條喜七 西山仁三郎 大久保秀治 長嶺運一 森川昌示 小出道生 長谷川忠二 森本晃一 佐藤修次 城戸房雄 田代政平 横地福三郎 橋本清吉	(附記) 日本産業軍ハ祖國ヲ熱愛スル同志ノ全人格的結合體ニシテ日本精神ノ發現ニヨリ終生奉公ノ獻身的實踐力ニヨリ綱領主張ノ貫徹ヲ期ス 日本主義労働組合ノ統一結成ヲ目的トス
日本新進青年聯盟	一般國家主義團體	東京市小石川區武島町一三	昭七三	國教	吉田治吾平 平松亮郷 青島理明 李田信茂 田窪多雨 李八龍 青島榮 金田光郎 梅原武張 宮司三雄	青年ハ國家ノ中堅ニシテ其ノ元氣ト志操トハ青年ノ生命ニシテ國家ノ原動力ナリ然シテ青年ノ元氣ト志操トハ一二青年ノ團結シ練習スルコトニ依リテ向上シ充實シ得ベキナリ此ニ依リテ團結シ結合シ其ノ眞ニ自 *ノ必要ニ應ジテ起レル青年ノ集會ヲ團結セルモノ少カラズ現存スルモ青年自ラノ覺醒ニヨリテ團結シ結合シ其ノ眞ニ自 由發揚ナル理想ニ基キ向上シハカレル青年會ナルモノニ至ラズハ未タ之アルヲ聞カス 是レ現代青年ノ向上發展ノタメニ一大缺陷ニアラザルナキカ況ヤ現今人心極度ニ頹廢シテ皇國ノ基礎モ亦危カラントス 此ノ際吾人青年タルモノ奮起セズシテ可ナランヤ、吾人ハ深ク鑑ミル所アリ新タニ日本新進青年聯盟ヲ組織シ大イニ志

キ同ウセル青年子女ノ參加ヲ得テ相共ニ切瑳琢磨自己ヲ修メ品性ヲ養ヒ家庭ヲ淨化シ進メテ國家ヲ隆盛ニシ理想の社會ヲ青年ノ力ニヨリテ實現セシムル事ヲ期ス

一、新進青年ハ先ツ自己ノ力ヲ信ジテ其ノ使命ヲ遂行スベシ

一、青年ノ事業ハ自ラノ手ヲ青年ノ覺醒ニヨリ青年自治ノ精神ヲ普及徹底ス

一、既成諸青年集團ノ根本的組織ヲ改善シ利慾的青年指導者ヲ排撃ス

一、覺醒セル新進青年ノ力ニ依リテ青年ノ理想ヲ確立シ善導シ其ノ具體化實踐化ヲ圖ル

一、新進青年ハ自ラ立ツテ結盟シ青年ノ自覺ニ基キ左キ中道ヲ歩ム

一、既成宗教及思想政治日本國體觀社會觀ノ覺醒的研究

一、純真ナル新進青年ノ力ニ依リ全日相ノ惡化ヲ淨化シ思想ヲ轉向ス

一、内治外交其ノ他一切ノ社會的及國家的ノ時務ニ注意シ或ハ考究シ青年トシテ之ニ對スル態度ヲ決定シ輿論ノ統一ヲ期ス

名稱	系統	本部所在地	創立	機關紙	主要人物及會員數	主義、綱領
日本生産大衆黨	一般國家主義團體	東京市荒川區南千住一ノ五二	昭五五	稜威	神保孝三郎 小原榮治 (會員數) 約二〇〇名ト稱ス ルモ事實ハ二、三十名	一、吾等ハ腐敗セル政黨政治ヲ撲滅シ皇統治權ヲ確立ス 一、吾等ハ建國ノ大本ヲ闡明シ國民生産者層ノ興隆ノタメニ障害ヲ與フルモノ一切ノ粉砕ヲ期ス 一、吾等ハ内訌的階級對立ヲ克服シ稜威ノ發揚ヲ全世界ニ擴充セシムルヲ期ス
日本精神協會	教化團體	東京市赤坂區溜池一三會堂内	昭八二	日本精神	菊地武夫 高須芳次郎 大關敬三 森清人 小池源太郎	イマヤワガ日本ハ決然一大轉換ヲ行ハネバナラヌ時機ニ臨ンテハ一大轉換トハ何ゾ、歐米追隨ノ態度ヲ*

二 (日本生産大衆黨、日本精神協會)

二 (日本青年愛國同盟)

名 稱	日本青年愛國同盟
系 統	一般愛國主義團體
本部所在地	東京市四谷區番町一丁目二七番地
創 立	昭七二
機 關 統	新日本公共
主要人物及會員數	座間勝平 佐々木嘉三郎
主 義	一、我等ハ天皇親政萬民輔翼ノ我ガ不動ナル團體ヲ以テ人類最高ノ理想ノ國家形態ヲ以テ信シ我ガ國民ノ總意ガ此ノ理想ノ目標ノ完成ノタメニ邁進センコトヲ希ヒ且之ガ目的達成ノタメニ努力センコトヲ期ス 二、愛國ノ血ニ燃エ鐵ノ如ク鍛ヘタル青年ノ全國的結合ト有權青年ノ政治道徳ノ向上ヲ期ス 三、道義立國ノ精神ニ則リ相信シ相

七〇

久シク續ケテキタ在來ノ不見識サキメ皇道日本精神ニ基キ一切ノ改造改革ヲ行ハネバナラヌコト即チコレガ、現代日本が目ザマシイ發達ヲ遂ゲタノハ明治維新ニヨリ日本精神ニ目ザメテ見タカラテアル、シカシ一方ニ於テ餘リニ歐米模倣ヲ事トシテ結果、利弊合セ伴ヒ、ツレニ今日ノ行キ詰リチシタノテアル、コノ内外多難ノ日本ヲ新希望、新光明ノ世界ヘ導キ出スタメニハ邁進シテ皇道精神ヲ宣揚シ先ツ純粹ナリ日本精神ニ立チ還ツテ、ソコカラ新シク出發シテナクハナラヌ日本精神ハ中正、公明アリ調和、統整ノ美ヲ備ヘテキル、カウシテ精神ヲ土臺トシテ歐米的不純分子ヲ取り除キ、ソコカラ獨特ノ創造作用ヲ爲スコトガ日本ヲ正シク明クシテ生カス運テアル、古來日本ハ道義建國ノ大精神ニ立チ居キ、進取、開發ノ諸長所ヲ兼テ備ヘ中正公明ノ旨ヲ各方面ニ明示シテ西洋ノ如ク物質本位ニ傾カズ支那、印度ノ如ク精神本位ニ因ハレズ、ヨク宇宙ノ大生命力ニ即シテ物心ニ面テ統制シ世界ニ比類ナキ文化ヲ建設シタテ目下ノ急務アル、一切ノ希望、光明ハココカラ生ズル

本會ハコノ方針目的ノモトニ生レ海ノ内外ニ互ツテ教化運動ヲ起シ日本精神ヲ興ニカメントスルモノテアル、教育ノ革新、赤化思想ノ征服、日本學ノ建設等本會ノ爲サントスル仕事ハナカナカ多イ、コレ等ハ時勢ニ鑑ミテ發奮努力シ誠心誠意如上ノ大目的ニ向ツテ邁進シタイト思フ、切ニ大方ノ支持ト聲援トヲ切望スル次第アル

日本青年協會	日本農民組合	日本魂社	日本勞働同盟
教化團體	社會主義運動	教化團體	社會主義運動
東京市麻布區新龍土町歩兵第三聯隊内	東京市芝區琴平町二虎ノ門會館	東京市京橋區新富町一ノ三	東京市神田區美土代町二ノ一
昭三二三	昭六一	大五四	昭七二
アカツキ	日本農民新聞	日本魂	國民戰士
清浦圭吾 宇垣一成 松本學 武富邦茂	平野力三 北山亥四三 河田弘 稻富樓一 今里勝雄 松澤永雄 垣次東洋 小野永雄 須藤淳二 阿部乙吉 飯沼市太郎	後藤武夫	大矢富三 白島廣近 山本富嘉 野口音松 川端一二三 矢尾喜三郎 神山勝次郎 熊本與市 本田滋二 小田孝
一、尊皇愛國ノ誠ヲ竭シ敬神崇祖ノ念ヲ養フベシ 二、博愛共存ノ誼ヲ篤クシ自治協同ノ風ヲ興スベシ 三、攻學進善ノ志ヲ旺ニシ實踐躬行ノ實ヲ擧グベシ	一、皇道政治ノ徹底ヲ期ス 二、資本主義機構ノ改廢ヲ期ス 三、農村文化ノ建設ヲ期ス		一、我等ハ一君萬民ノ日本建國ノ精神ニ基キ勞働階級ノ生活ヲ絕對ニ保證スル措取ナキ新國家ノ建設ヲ期ス 二、我等ハ勞働組合ガ資本主義打倒

二 (日本青年協會、日本魂社、日本農民組合、日本勞働同盟)

七一

名 稱	系 統	本 部 所 在 地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
乃木講	教化團體	東京市麹町區紀尾井町六	大正四二	友乃木講	岡五郎 萩原貞一	全面的政治闘争部面ヲ擔當スルコトヲ認識シテ完全ナル使命ノ履行ヲ期ス 一、我等ハ強固ナル團結ト勇敢ナル戰術トヲ以テ資本階級ノ彈壓ニ抗争セントス
白王社	一般國家主義團體	東京市芝區田村町二ノ一内田ビル	昭和三二		入江種短 松林亮	滿蒙獨立運動ヲ主張トス
白血球聯盟	一般國家主義團體	東京市澁橋區戸塚町二ノ三一	大正六一		福田長太郎 森吉義旭 小林政彦 上里親二 高野芳信 五來欣造 笠原正成 向井秀法 政 慶 雄 御園生弘	一、民間飛行家出デヨ 一、民間飛行場ヲ作レ 一、航空者ヲ起セ 一、日本男兒ノ精華ヲ空中ノ一騎トシテ發揮セヨ 一、戰爭ノ勝敗ヲ決定スルモノハ征空權ヲ獲得ニアリ

ノ(乃木講) ハ(白王社、白血球聯盟)

七二

名 稱	系 統	本 部 所 在 地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
原青年部	一般國家主義團體	東京市芝區今入町一五和合クラブ	昭和三二		佐藤徳太郎 鈴木謙彰 三瓶倉治 青柳治三郎 國吉良吉 西野秀銀 (會員數) 約二〇名	一、皇道ヲ精神ニ立チマコトノ道ヲ歩メ 一、國體ヲ尊守シ強固不拔ナル國民信念ヲ統一シ助長シ急激ニ醜態ヲ示シテ物質的並ニ精神的惡風非行ヲ掃出シ猛者ト改革トヲ強調シ以テ久遠ノ國策ヲ樹立スルニ努ム 一、急進的世相ノ變化ニ依ル生活様式ノ複雜化トニ依ツテ來タレル國民生活ノ不安定ニ對シ徹底セル社會政策ヲ斷行シ以テ個々ノ生活權ヲ擁護シ社會不安ノ一掃ヲ期ス
風雲俱樂部	一般國家主義團體	東京市芝區三田功運町八光風塾内	昭和三二		千々波敬太郎 美間剛大 久保田晴士 星野末吉 六田武八郎 (會員數) 約二〇名	一、國體ヲ尊守シ強固不拔ナル國民信念ヲ統一シ助長シ急激ニ醜態ヲ示シテ物質的並ニ精神的惡風非行ヲ掃出シ猛者ト改革トヲ強調シ以テ久遠ノ國策ヲ樹立スルニ努ム 一、急進的世相ノ變化ニ依ル生活様式ノ複雜化トニ依ツテ來タレル國民生活ノ不安定ニ對シ徹底セル社會政策ヲ斷行シ以テ個々ノ生活權ヲ擁護シ社會不安ノ一掃ヲ期ス

ハ(原青年部) フ(風雲俱樂部)

七三



名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主要人物及會員數	主 義、綱 領
奉仕會	教化團	東京市麹町 區富士見町 二ノ一〇	大正二	奉仕の友	佐藤鐵太郎 萬生仁三郎	一、現下無産黨ノ跋扈ト危險思想ノ跳梁トハ既成政黨ノ無主義無節操ノ結果ニ起因ス然ルニ政府及政黨ガ其ノ結果ヲ見テ之ヲ危懼シ其ノ取締リニ腐心スルハ本末ヲ轉倒スルモノナリ依ツテ吾人ハ徒ラナル既成政黨ノ醜態ナル政爭ヲ排ス 一、資本家ノ金權獨占的傾向ハ國民生活ヲ壓迫シ其ノ感情ヲ惡化セシメ社會ノ進運ト産業ノ發達ヲ萎縮阻害スルモノナリ吾人ハ資本家ノ迷宮ヲ開キ共存共榮ノ國家の大念ニ生キンコトヲ待望ス
南町塾	一般團 家主義 團體	東京市赤坂 區青山南町 三ノ六〇宅 野方	昭七三	日本第一新聞	宅野田夫(清征) 未永節 養田胸喜 鈴木一 郎 生田目經德 (會員數)約三〇名	一、皇室至上主義ヲ信奉ス 一、勤王愛國思想ノ鼓吹ヲナシ非國家思想ヲ排撃ス
民力振興會	一般團 家主義 團體	東京市板橋 區中新井四 丁目			湯本 一 半田 一郎	

水(奉仕會) 三(南町塾、民力振興會)

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主要人物及會員數	主 義、綱 領
無名士俱樂部	一般團 家主義 團體	東京市牛込 區馬場下町 三五	昭七九	無名士新聞	直原豐四郎 依田 孟 須一義雄 莊 策 郎 黒木秀夫 國 悌 治 加藤 義 一 永藤 一 雄 古 毅 一 悌 治	一、傳統的日本精神ヲ基調トシ、ソノ發揚タル創造生活ノ實現ヲ期ス(創造生活) 一、貨幣經濟ヲ中心トスル經濟政策コリ一變シテ人間生活ヲ中心トスル經濟政策ヘノ轉向(人間生活) 一、政治政策トシテ中央集權ヲ是認スルモ地方分權ノ擴大強化ヲ期ス(自治生活)
明治會	教化團	東京府下武 藏野町吉祥 寺	大正四		田中巴之助 (會員數)約八、〇〇〇名ト稱ス	本會ハ篤ク先帝ノ御遺訓今上ノ聖旨ヲ奉シテ明治大帝ノ盛徳大業ヲ瞻仰シ大帝垂訓ノ洪猷ヲ服膺スルコトニ依リ國民精神ノ統一ヲ期シ因ツテ國家興隆ノ實ヲ舉ケントスル同志者ヲ以テ團結ス
明道會	教化團	東京市澁谷 區大和田町 九五	昭三三		岸 一 大	本會ノ目的トスルコトハ四魂具足ノ精神ヲ大達ヲ開明シ國教ヲ確立ヲ期スルニ在リ即チ之ガタメニ國民各戸ニ眞ノ氏神ヲ奉養セシムルト共ニ各々ノ祖先ヲ奉養セシメテ敬神崇祖ノ實行ヲ主張ス
明德會	一般團 家主義 團體	東京市赤坂 區青山南町 五ノ八四	昭二三	明德論壇	鹽谷慶一郎 庄野利一 淺井正純 平野善三 川口政好 (會員數)約三〇名	一、吾人ハ皇室ヲ尊ブ 一、吾人ハ我が王道ノ大任ニ依リテ全世界ノ統御ヲ期ス 一、吾人ハ「ホルセウイズム」並ニ

五(無名士俱樂部) 六(明治會、明道會、明德會)

明倫會

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
明倫會	軍人中 心團體	東京市麹町 區丸の内一 ノ六海上ビ ル七階	昭六、五	明倫	田中重 奥平俊藏 二宮久三 渡邊良三 二宮甚郷 (會員數) 約八二〇〇名	一、皇祖垂統ノ神勅ヲ奉戴シテ天壤 無窮ノ我國體ヲ尊重シ忠君愛國及 ビ獻身奉公ノ至誠ト道義的觀念ト ノ普及徹底ヲ期ス 二、既成政黨ノ積弊ヲ打破シテ天皇 政治ノ確立及ビ國家本位ノ政治ノ 遂行ヲ期ス 三、退隱道徳外交ヲ排シテ自主正 義トシ基調トスル外交ヲ斷行シ以 テ國威國權ノ宣揚發展ヲ圖リ且大 亞細亞主義ノ實現ヲ期ス 四、統帥大權ノ發動及ビ國際的軍備 平等權ヲ確保シ以テ自主的國防ノ 安固ヲ期ス 五、根本的行政財政及稅制ノ整理ヲ 斷行シ且産業ノ振興中正ナル經濟 政策ノ遂行民族ノ海外發展ニ依テ 國力ノ充實及國民生活ノ安定ヲ期 ス

七六

靖國會、大和民勞會

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
靖國會	一般國 家主義 團體	東京市麹町 區九段坂上 階行社内	昭六、三	—	今泉定助 吉田茂	神武ノ本義ヲ發揚スルヲ以テ目的ト ス
大和民勞會	一般國 家主義 團體	東京市目黒 區上目黒五 七一	大〇、一	民勞 法律世 界	藤代善山 根本健光 福島士郎 (會員數) 約三〇〇餘名ト稱ス	主義綱領 一、皇室中心ノ大義ニ則リ上下一致 忠誠ヲ致シ以テ建國ノ美風ヲ發揚 セシメトシテ期ス 二、維新中興ノ宏願ヲ體シ國運ノ進 展ヲ圖リ文運ヲ扶植セシメテ期ス 三、教育ヲ獎勵シ民性ヲ陶冶シ實業 剛健ノ氣風ヲ作興シ以テ社會ノ健 全ナル發達ヲ期ス 四、國民ノ政治的自覺ヲ喚起シ政黨 ノ行動ヲ監視シ以テ純真ナル立憲 政治ノ確立ヲ期ス 五、勞資ノ協調ヲ圖リ社會事業ヲ促 進シ以テ充實セル産業組織ノ發達 ヲ期ス 六、正義公平ヲ旨トシ人類共存共榮 ノ立場ヲ以テ橫暴不公ノ癡滅ヲ期 ス 七、社會ノ平和ヲ念トシ人民ノ幸福 ヲ尊重シ反社會的ノ行動ニ依リ安 寧秩序ヲ案サントスル者ノ彈壓ヲ 期ス

七七

I-0726

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
有 終 會	軍人中 心團體	東京市芝區 榮町一三 東京水交社 内	大 二 五 一	有 終 紙	竹 下 勇	豫備軍人ト雖ドモ常ニ海軍ニ關スル 調査研究ヲナスノ必要アルヲ以テ各 自調査研究ヲナスト同時ニ現下海 軍ノ實狀ヲ側面觀察ヲナスヲ目的ト ス
洋 々 會	軍人中 心團體	東京市麻布 區霞町三三 宇佐川方	大 三 三 八	—	宇佐川直義 南郷次郎 (會員數) 約二〇〇名	主 義 一、吾人ハ吾國體ノ精華タル一君萬 民ノ皇室中心政治ヲ以テ其ノ主義 トス 一、吾人ハ亞細亞ノ盟主トナリ世界 ノ人種平等共存共榮ヲ主張シ眞ノ 平和主義ヲ以テ其ノ主張トス 綱 領 一、皇室ヲ尊崇シ苟モ累ヲ皇室ニ及 ボサントスル徒輩ヲ撲滅ス 一、國家の正義ヲ主張シ綱紀ノ肅正 ヲ期ス 一、國防ヲ充實シ自主外交ノ確立ヲ 期ス
立憲革新 青年黨	一般國 家主義 團體	東京市日本 橋區濱町二 ノ八九	昭 三 二	—	佐藤正吾 堀之内高潔 樋渡彦九郎 宮下 學 大崎 駒治 細貝泉吉 瀧川 一益 山口甚三郎	一、社會政策ヲ改良シ民心ノ安定ヲ 期ス 一、人口配分ノ調査ヲ促シ移民政治 ノ確立ヲ期ス 一、行政財政ヲ整理シ國民負擔ノ輕 減ヲ期ス 一、産業立國ノ基礎ヲ確立シ國產獎 勵ヲ期ス 一、國民ノ自覺ヲ促シ完全ナル立憲 法治國民タラシムル事ヲ期ス

ユ (有終會) ヨ (洋々會) リ (立憲革新青年黨) 七八

名 稱	系 統	本部所在地	創 立	機 關 紙	主 要 人 物 及 會 員 數	主 義 綱 領
立憲養正 會	一般國 家主義 團體	東京市麴町 區飯田河岸 一七	大 三 二 二	養 正 時 報 共 他	田中深二 遠藤祐太 金作之助 田村益喜 増永 浩 中島 博 前田 岳 寶珠山彌高 坂西隆策 寺山鉢三郎 森尾津一 高橋 豐 野村寛正 松浦義一 加藤喜孝 小平三四郎 (全員數) 四五四、四〇九名 (昭和十年三月現在)ト稱シ 居レリ	一、吾等ハ立憲ノ國命ヲ體シ神武天 皇「養正建國」ノ大義ニ基キ大公 至誠ノ王道ヲ翼贊シ仁覆慈戴ノ皇 風ヲ光揚シ以テ世界人類ノ究竟平 和ヲ現出セシムヘキコトヲ標準ト シテ國體主義ノ政治ヲ興立セシメ ンコトヲ期ス 一、吾等ハ立憲ノ國命ヲ體シ神武天 皇「積慶統民」ノ洪猷ニ基キ克忠 克孝ノ德政ヲ宣敷シ國民風俗ヲ學 化シ以テ世界平和ノ木鐸タラムヘ キコトヲ標準トシテ國體主義ノ政 治ヲ興立セムコトヲ期ス 一、吾等ハ立憲ノ國命ヲ體シ神武天

リ (立憲養正會) 七九

會 勞 働 護 國	名 稱	
家 主 義 團 體	系 統	一 般 團 體
ノ 一 〇 區 山 谷 町 三	本 部 所 在 地	東 京 市 淺 草
昭 六、 四	創 立	
	機 關 紙	—
伊 塚 直 義 安 藤 正 純	主 要 人 物 及 會 員 數	建 部 皓 正 清 岡 長 吉 田 長 言 尾 正 義 尾 正 義 尾 正 義
的 ト ス	主 義、 綱 領	本 會 ハ 皇 祖 列 聖 ノ 宏 護 ヲ 奉 體 シ 勞 働 護 國 ノ 精 神 ヲ 實 習 セ シ メ ル ヲ 以 テ 目 的 ト ス  皇 「 重 暉 濟 世 」 ノ 宏 化 ニ 基 キ 正 智 正 見 ノ 文 化 ヲ 扶 植 シ 以 テ 世 界 文 明 ノ 醇 化 ヲ 資 ケ 人 類 ノ 幸 福 ヲ 大 成 ス ヘ キ コ ト ヲ 標 準 ト シ テ 國 體 主 義 ノ 政 治 ヲ 興 立 セ ン コ ト ヲ 期 ス

口(労働護國會)

八〇

I-0726



調第三四號

昭和十年八月

國內情勢調査資料第七輯

國家主義團體系統一覽表

祕

外務省調査部

8P. 251

1

I-0726

0050

例言

一、國家主義諸團體ハ現在約六百餘(支部ヲ除ク)ノ多數ニ達シ居ルノミナラス其ノ離合集散極メテ頻繁且ツ迅速ニシテ是カ實體ヲ究ムルコト甚タ困難ナルカ此等團體ハ其ノ屬スル系統ニ依リ各々特徴傾向ヲ異ニシ居レル事實ニ鑑ミ本書ニ於テハ之ヲ大體ノ標準ニ依リ(イ)純粹國粹乃至浪人系(ロ)左翼轉向系(ハ)在郷軍人系(ニ)農民系(ホ)宗教系ノ五系統ニ分チ其ノ結成崩解ノ過程ヲ表示シ以テ現存主要有力團體ノ理解ニ資セントスルモノナリ

一、以上諸系統ノ中純粹國粹乃至浪人系ハ更ニ之ヲ(イ)大川周明、北一輝ノ猶存社系(ロ)頭山滿、内田良平ノ玄洋社系(ハ)上杉愼吉博士ノ興國同志會系(高島素之ト合體シテ經倫學盟ヲ結成セルニ付之ヲ經倫學盟系トモ見ルコトヲ得)ノ三系統ニ分チ得ヘク又左翼轉向系ハ(イ)滿洲事變前ノ轉向者即チ高島素之ノ大衆社系(上杉愼吉博士ト合體セル經倫學盟系トモ稱シ得)及ヒ(ロ)滿洲事變後ノ轉向者即チ日本勞働總同盟、社會大衆黨、全國勞働大衆黨等ノ脱黨者トニ分チ得ヘク又在郷軍人系ハ皇道會、明倫會等其ノ主ナル團體ニシテ農民系ハ(イ)井上日召ノ護國堂(ロ)楠孝三郎ノ愛郷會(ハ)權藤成卿等ノ日本村治派同盟ヲ主

SP. 251

2

I-0726

タル母胎トシテ出現セル諸團體ニシテ宗教系トシテハ目下ノ所大本教ヲ背景トスル出口王  
仁三郎ノ昭和神聖會ヲ舉クルヲ得ヘシ

一、以上諸團體ハ其ノ屬スル系統竝ニ發生過程ニ應ジテ各々其ノ特質ヲ有シ居レルカ就中  
實行力最モ大ナル點ヨリスレハ純粹國粹乃至浪人系ヲ第一トシ農民系之ニ次キ(血盟團  
五・二五、神兵隊各事件關係者ハ總テ浪人系及ヒ農民系ニ屬シ居レリ)「イデオロギ」及  
ヒ「タクチック」ノ優レ居ル點ヨリスレハ左翼轉向系ヲ舉クヘク黨員多數ノ點ヨリスレハ  
在郷軍人系及ヒ昭和神聖會ニシテ又資金豊富ナル點ヨリスレハ大體ニ於テ宗教系及ヒ在郷  
軍人系ヲ第一トシ純粹國粹乃至浪人系之ニ次キ左翼轉向系及ヒ農民系ハ最モ劣リ居レリト  
見ルヲ得ヘシ

昭和十年八月

外務省調査部

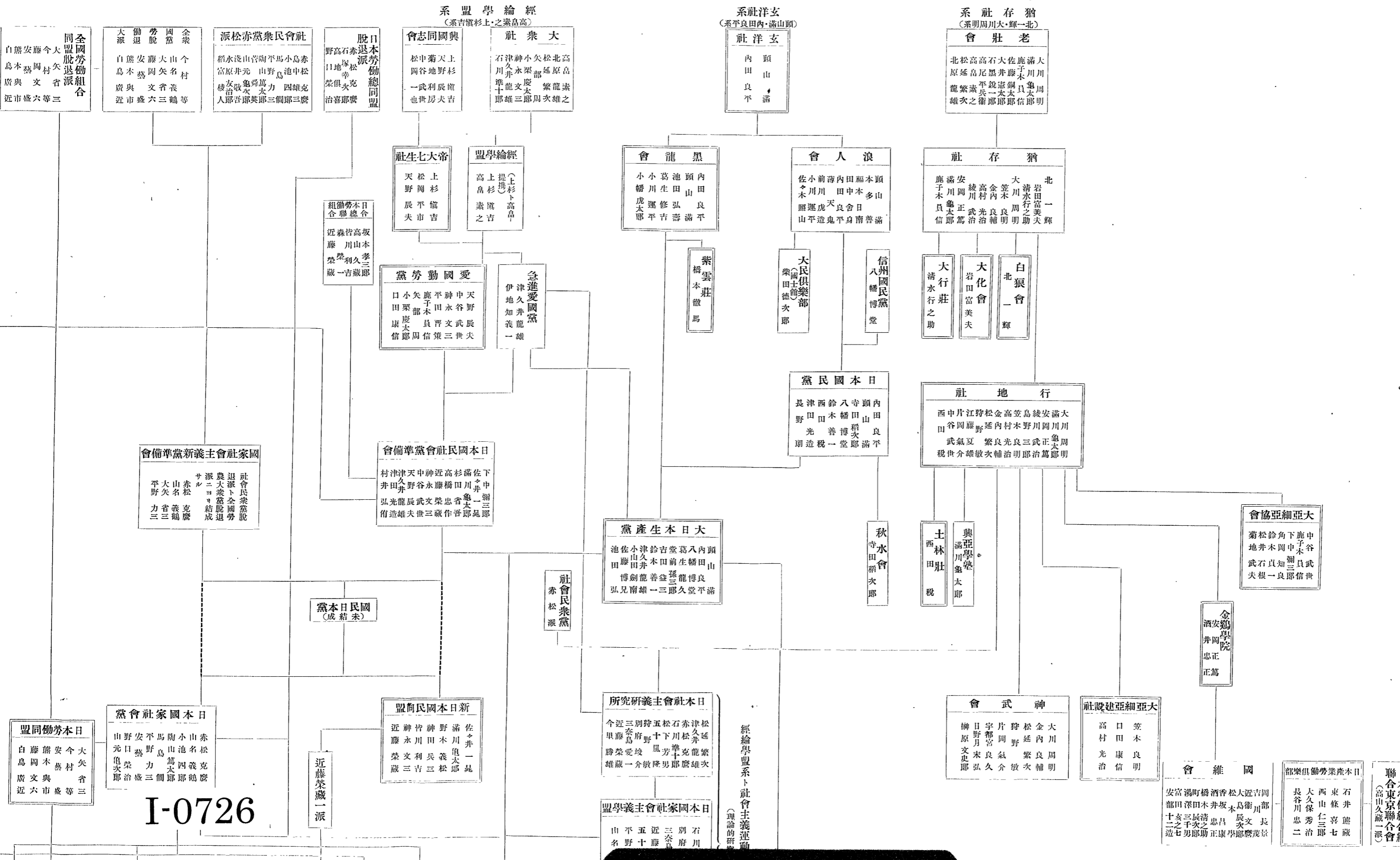
SP. 251

3

I-0726

系 向 轉 翼 左 (二)

系 人 浪 至 乃 粹 國 粹 純 (一)



〔備考〕二重枠ハ現存團體タルヲ示ス

I-0726



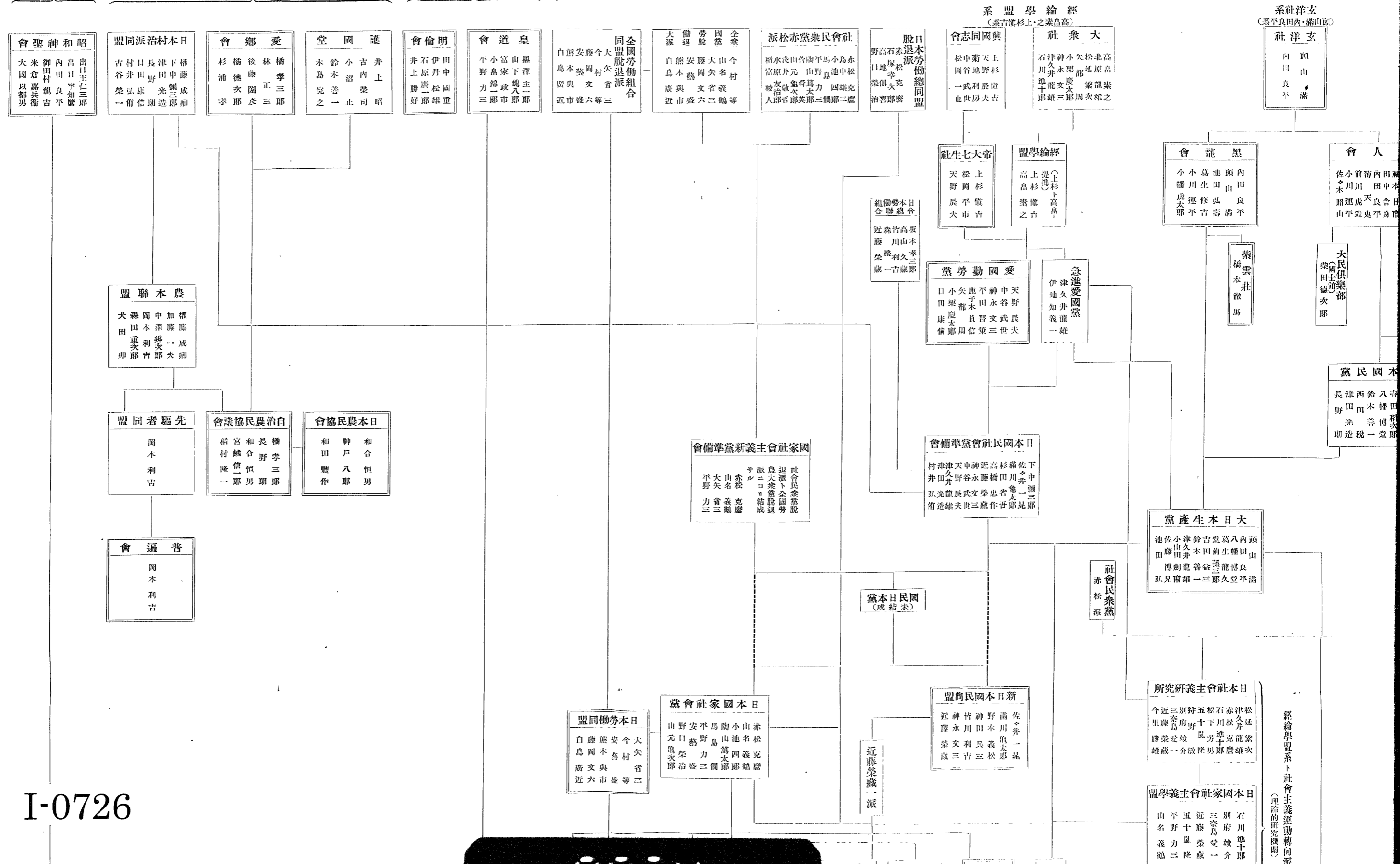
系人浪至乃粹國粹純

系向轉翼左 (二)

系人軍郷在 (三)

系民農 (四)

系教宗 (五)



I-0726





調 査 第 二 四 號

昭 和 十 年 一 月

國 内 情 勢 調 査 資 料 第 三 輯

右 翼 運 動 ノ 現 勢

極 祕

外 務 省 調 査 部

SP. 249

1

I-0726

0051

國內情勢調査資料發刊ノ辭

由來外交カ國內情勢ノ趨向ヲ無視シテ十分其ノ成果ヲ收メ得サルハ  
茲ニ贅スルヲ須キサル所ナルカ殊ニ滿洲事變ヲ契機トシテ國內各方  
面就中軍部竝ニ右翼諸團體ノ躍動一段ト熾烈ヲ加ヘ或ハ國內改造ヲ  
提唱シ或ハ外交刷新ヲ強調シ情勢ノ進展必スシモ豫斷ヲ許ササルモ  
ノアリ此ノ時ニ當リ外交ノ局ニ當ル者ハ宜シク進テ這般運動ノ誘因  
ヲ究メ其ノ主張ヲ檢討シ世局ノ趨向ヲ察知シテ豫メ之ニ備ヘ其ノ不  
可ナルモノニ對シテハ之ヲ是正シ其ノ可ナルモノニ對シテハ適宜之  
ヲ參酌シ以テ時局ノ推移ヲ指導シ帝國外交ヲシテ遺憾ナク其ノ使命  
ヲ達成セシムルニ努メサルヘカラサルヘシ國內ニ於ケル如斯情勢ヲ

以テ單ニ一部過激分子ノ盲動ニ依ル一時的現象ニ過キストシテ之ヲ白眼視シ或ハ之ヲ對岸ノ火災視シテ自ラ高踏不關ノ態度ヲ執ルカ如キ此ノ難局ニ對處スル所以ニ非サルヘキノミナラス斯クノ如クンハ或ハ不慮ノ突發事變ニ逢着シテ帝國ノ國際關係ヲ極メテ困難ナル事態ニ立テ至ラシムルカ如キコト絶無ト云フヲ得サルヘシ是レ當部カ内外ノ時局漸ク多事ナラントスルニ鑑ミ茲ニ新ニ國內情勢ノ基本的調査ヲ開始シ豫メ其ノ歸趨ヲ考察シ以テ時局對處ノ參考ニ資セントスル所以ナリ

昭和九年十二月

### 外務省調査部

SP. 249

3

### 凡 例

一、右翼運動ノ目標トスル所ハ單ニ國內問題ノミニ止ラス又一般外交問題ニモ直接重大ナル關聯(皇道宣布、大亞細亞結成ヲ主張ス)ヲ有スルモノニシテ右ハ最近同運動カ倫敦條約及滿洲事變ヲ契機トシテ激化シ來リタル事實ニ鑑ルモ將又海軍々縮問題ニ關スル右翼各派ノ態度ニ徵スルモ極メテ明瞭ナリ而已ナラス右翼運動ハ左翼運動ト異リテ(イ)實行力極メテ大ナルコト(ロ)軍部ト密接ノ關係ヲ有スルコト(ハ)其ノ性質上無下ニ之ヲ彈壓スル能ハサルコト等ノ理由ニヨリ運動今後ノ動向ニ對シテハ外交當路者トシテモ常ニ細心ノ注意ヲ拂ハサル可ラサル次第ニシテ是レ茲ニ本調査ヲ作成シタル所以ナリ

一、右翼諸團體ハ其ノ離合集散極メテ迅速且ツ多岐ニシテ是カ調査ハ甚タ困難ナルカ現在最モ活動シ居レル諸團體ニ關シテハ前編第四節ニ説述シ其他ノ諸團體ニ關シテハ之ヲ後編右翼團體要覽ニ讓リタリ

一、後編右翼團體要覽ハ昭和七年十二月現在ノ調査ニシテ現状ハ多少之ト相違スルモノ

SP. 249

4

I-0726

ナキニ非サレトモ最モ有力ナル主要團體ニ關シテハ前述ノ如ク前編第四節ニ是カ現狀ヲ説述シタルヲ以テ其ノ餘ノ團體ニ關シテハ暫ク前記調査ニ讓ル

一、右翼團體中各地ニ支部ヲ有スルモノニ關シテハ本部ニ關シテノミ記述シ支部ハ之ヲ省略シタリ

昭和十年一月

調 査 部

SP. 249

5

## 右翼運動ノ現勢目次

前編 右翼運動概観	一頁
第一節 序 説	一
一、右翼運動從來ノ經過	一
二、右翼運動現在ノ狀況	四
三、右翼運動ノ將來	五
第二節 一般右翼運動	九
一、大戦前ニ於ケル國粹主義運動	九
二、大戦後ニ於ケル萌芽時代(反社會主義運動)	一〇
(イ) 大川周明派	一
(ロ) 上杉愼吉派	二
(ハ) 高島素之派	三

SP. 249

6

I-0726

(三) 其ノ他	二四
三、昭和初頭ニ於ケル準備時代(國家社會主義運動)	二四
四、倫敦條約、滿洲事變直後ニ於ケル全盛時代(反政黨政治及反資本主義運動)	二五
五、五・一五事件以後ニ於ケル安定時代	二六
<b>第三節 農本主義運動</b>	二七
一、序 說	二七
二、農村ノ疲弊窮乏	二八
三、社會主義的農民運動ノ擡頭	二八
四、國家主義的農民運動ノ擡頭	二九
五、農本主義運動ノ擡頭並ニ其ノ現狀	三〇
<b>第四節 主要右翼團體ノ現勢</b>	三一
一、序 說	三一
二、昭和神聖會	三三

三、大日本國家社會黨	三三
四、新日本國民同盟	三四
五、皇道會	三六
六、愛國政治同盟	三七
七、青年日本同盟	三七
八、大日本生産黨	三八
九、明倫會	三九
十、立憲養正會	三〇
<b>後編 右翼團體要覽</b>	
<b>第一節 東京地方</b>	三一(五)
一、東京	三一(五)
(1) 一般右翼團體	三一(五)
(2) 農本主義團體	三五(二八)
(3) 學生團體	三五(三五)

I-0726



二、横濱	三六(二六四)
(1) 一般右翼團體	三六(二六四)
三、浦和	三六(二六六)
(1) 一般右翼團體	三六(二六六)
四、千葉	三七(二六九)
(1) 一般右翼團體	三七(二六九)
(2) 農本主義團體	三七(二七四)
五、水戸	三七(二七六)
(1) 一般右翼團體	三七(二七六)
(2) 農本主義團體	三七(二八五)
六、宇都宮	三八(二九三)
(1) 一般右翼團體	三八(二九三)
七、静岡	三八(二九五)
(1) 一般右翼團體	三八(二九五)

四

八、長野	三八(二九九)
(1) 一般右翼團體	三八(二九九)
(2) 農本主義團體	三八(三〇三)
九、新潟	三八(三〇四)
(1) 一般右翼團體	三八(三〇四)
(2) 農本主義團體	三九(三一一)
第二節 近畿及四國地方	
一、京都	三九(三二七)
(1) 一般右翼團體	三九(三二七)
(2) 學生團體	四〇(三五二)
二、大阪	四〇(三六五)
(1) 一般右翼團體	四〇(三六五)
(2) 學生團體	四二(四〇八)
三、神戸	四二(四二二)

五

I-0726

(1) 一般右翼團體	四二(四二)
四、奈良	四二(四二五)
(1) 一般右翼團體	四二(四二五)
五、和歌山	四三(四二九)
(1) 一般右翼團體	四三(四二九)
六、徳島	四三(四三一)
(1) 一般右翼團體	四三(四三一)
第三節 中部地方	
一、名古屋	四三(四三五)
(1) 一般右翼團體	四三(四三五)
二、安濃津	四三(四四二)
(1) 一般右翼團體	四三(四四二)
三、岐阜	四四(四四七)
(1) 一般右翼團體	四四(四四七)

六

SP. 249

11

四、福井	四四(四五〇)
(1) 一般右翼團體	四四(四五〇)
五、金澤	四四(四五二)
(1) 一般右翼團體	四四(四五二)
六、富山	四四(四五五)
(1) 一般右翼團體	四四(四五五)
第四節 中國地方	
一、廣島	四四(四五七)
(1) 一般右翼團體	四四(四五七)
(2) 學生團體	四四(四六二)
二、山口	四五(四六五)
(1) 一般右翼團體	四五(四六五)
(2) 學生團體	四五(四六六)
三、岡山	四五(四六七)

七

SP. 249

12

I-0726

八

(1) 一般右翼團體……………四五(四六七)

四、鳥取……………四五(四七三)

(1) 一般右翼團體……………四五(四七三)

五、松江……………四五(四七五)

(1) 一般右翼團體……………四五(四七五)

(2) 學生團體……………四五(四七六)

六、松江……………四五(四八〇)

(1) 一般右翼團體……………四五(四八〇)

第五節 九州地方

一、長崎……………四六(四八三)

(1) 學生團體……………四六(四八三)

二、佐賀……………四六(四八五)

(1) 一般右翼團體……………四六(四八五)

三、福岡……………四六(四八七)

九

(1) 一般右翼團體……………四六(四八七)

四、熊本……………四六(四九九)

(1) 一般右翼團體……………四六(四九九)

五、鹿兒島……………四六(五〇二)

(1) 一般右翼團體……………四六(五〇二)

六、那覇……………四七(五〇四)

(1) 一般右翼團體……………四七(五〇四)

第六節 東北地方

一、仙臺……………四七(五一二)

(1) 一般右翼團體……………四七(五一二)

(2) 學生團體……………四七(五二三)

二、福島……………四七(五一五)

(1) 一般右翼團體……………四七(五一五)

(2) 農本主義團體……………四七(五一八)

I-0726

一〇

(3) 學生團體……………四七(五二〇)

三、山形……………四八(五二二)

(1) 一般右翼團體……………四八(五二二)

四、青森……………四八(五二五)

(1) 一般右翼團體……………四八(五二五)

(2) 農本主義團體……………四八(五三〇)

第七節 北海道地方

一、函館……………四八(五三七)

(1) 一般右翼團體……………四八(五三七)

二、札幌……………四八(五四二)

(1) 一般右翼團體……………四八(五四二)

三、旭川……………四九(五四五)

(1) 一般右翼團體……………四九(五四五)

四、釧路……………四九(五五〇)

(1) 一般右翼團體……………四九(五五〇)

## 右翼運動ノ現勢

### 前編 右翼運動概観

#### 第一節 序 説

一、我國ニ於ケル右翼運動ハ明治維新以後ノ歐米物質文明謳歌時代ニ之ニ反抗シテ起リタル所謂國粹保存主義ニ濫觴スルモノナルカ近年急速ニ發展シ來リタル右翼運動ナルモノハ寧ロ世界大戰直後ニ於ケル「デモクラシー」全盛時代ニ源ヲ發スルモノト見ルヲ適當トスヘシ

即チ大戰直後澎湃トシテ起リタル民主主義及自由主義的思想ハ社會主義乃至共產主義等ト共ニ我國各階層殊ニ青年學生層ヲ席捲シ勢ノ趨ク所終ニハ國體ノ基礎ヲスラ危殆ナラシメントスルガ如キ情勢トナリタルヲ以テ當時此等外來危險思想ヲ排除シテ國體ノ擁護ト國粹ノ保存トヲ實現セントスルノ運動期セスシテ擡頭シ來リタリ、是レ今日ノ右翼運動ノ濫觴ヲ爲スモノニシテ同運動ガ當時主タル目的ヲ社會主義ノ撲滅ニ置キタルニ鑑ミ假ニ之ヲ反社會主義運動時代ト稱

右翼運動  
從來ノ經過

スルヲ得ヘシ

然ルニ其ノ後資本主義制度ノ基礎強化ニ伴ヒ農村ノ疲弊、都市「プロレタリアート」ノ困窮益々激化シ各地ニ労働争議乃至小作争議等頻發シ來リタルガ他方政黨政治家、財閥等ノ醜聞世間ノ耳目ヲ聳動スルアリ茲ニ右翼運動ハ從來ノ反社會主義的運動ヨリ一轉シテ政黨政治ノ打破、資本主義制度ノ改變ヲ目標トスルニ至リタリ之ヲ反政黨政治及反資本主義運動時代ト稱スルヲ得ヘシ

其ノ後倫敦條約問題ノ紛糾、滿洲事變ノ勃發等ニヨリ愛國熱興シ軍部ノ政治的進出漸ク顯著トナリタルカ軍部ノ懷抱スル政黨政治排除、財閥腐蝕ニ國家改造ノ主張ハ右翼運動ノ夫レト完全ニ一致スルモノアリタル一方右翼運動指導者中ニハ國家改造ノ斷行ハ眞ノ愛國者タル軍部ノ支援ナクシテハ不可能ナリトノ見解ヲ有スルモノアリ旁々右翼運動ハ新ニ軍部ニ接近シ之ト提携セントスルニ至リタリ之ヲ假ニ軍部提携時代ト稱スルヲ得ヘキ乎

抑々國家主義ヲ提唱スル右翼運動ト社會主義ヲ標榜スル左翼運動トハ國家社會主義的主張ノ點ニ於テ理論上一脈相通スルモノアリ往年國家主義者上杉愷吉博士ト社會主義者高島素之トノ提携ハ此ノ間ノ消息ヲ如實ニ示スモノナルガ滿洲事變ヲ契機トシテ愛國の思潮全國ヲ風靡スルニ

SP. 249

17

及ヒ左翼運動指導者中國家社會主義ノ理論ヲ提ケテ右翼陣營ニ投スルモノ相次テ起リタル一方右翼指導者亦巧ニ國家社會主義ノ理論ヲ加味採擇シテ大衆獲得ニ邁進スルニ至リ茲ニ往年ノ右翼運動ハ思想的ニハ國家主義ト國家社會主義トノ併用、運動方針トシテハ從來ノ軍部トノ單獨提携ヨリ軍部大衆併行ノ所謂昭和維新運動ニ進展スルニ至リタリ

翻テ農村ヲ見ルニ昭和初頭以來急速ニ深刻化シタル農村ノ疲弊ハ先ヅ社會主義運動トシテノ農民運動（農民組合運動）ヲ勃發セシメタルモ同運動ハ我國農村ノ實狀ニ即セサル爲メ農民大衆ヲ獲得スルニ至ラザリシガ其ノ後國家主義運動隆盛トナルニ及ヒ之ニ刺戟セラレテ新ニ國家主義運動トシテノ農民運動擡頭スルニ至リタリ是レ所謂農本主義運動ト稱スルモノニシテ橋孝三郎、長野朗、岡本利吉、風見章等はカ主タル指導者ナリ

斯クノ如ク我國右翼運動ハ之ヲ歴史的二見レハ大別シテ前期（即チ明治初年ヨリ世界大戰迄）及ヒ後期（世界大戰ヨリ今日迄）ト爲シ得ヘク後期ニ於テハ更ニ細別シテ思想的ニハ（一）反社會主義時代（二）反政黨政治及ヒ反資本主義時代（三）國家主義及ヒ國家社會主義併用時代等ニ分チ得ヘク又運動方針トシテハ（一）單獨運動時代（二）軍部提携時代（三）軍部大衆併行時代等ト爲スコトヲ得ヘシ

SP. 249

18

I-0726

右翼運動  
現在ノ狀

二、前述ノ如ク右翼運動ハ客觀的情勢ノ變化ニ應シ思想的ニ將タ又行動方針ニ幾多ノ變遷推移ヲ見タル次第ナルヲ以テ今日右翼諸團體ハ其ノ主義綱領ニ於テモ又運動上ノ傾向ニ於テモ幾多ノ系統分派ニ別レ居レリ然レトモ之ヲ大體ノ傾向ニヨリテ大別スレハ

(イ) 純粹日本主義團體

(ロ) 國家社會主義的團體

(ハ) 農本主義團體

ノ三者ニ分ケ得ルカ如シ

純粹日本  
主義團體

(イ) 純粹日本主義運動

純粹日本主義團體トハ主トシテ國體ノ擁護ト日本精神(皇道精神)ノ宣揚トヲ指導精神ト爲スモノニシテ又皇室中心主義(一君萬民主義)國粹主義運動等モ亦之ニ包含セラルルモノナリ從來ノ所謂右翼團體ハ多ク此ノ一派ニ屬スルモノナリ

國家社會  
主義團體

(ロ) 國家社會主義的運動

國家社會主義的團體モ歐米流ノ國家社會主義國家ノ實現ヲ目標トスルモノニアラスシテ純粹日本主義團體ト同様國體ノ擁護ヲ指導精神トスル國家主義團體ニシテ國權ノ發揚ヲ標榜スル

一方社會主義的理論ヲ加味シテ中産及無産階級ノ利益擁護、資本主義制度ノ是正等新日本建設ヲ指針ト爲スモノナリ現在是カ主タル指導者ハ赤松克麿(國家社會主義的傾向最モ顯著ナリ)、下中彌三郎、佐々井一晁等ナリ

國家社會主義運動カ右翼運動トシテノ形體ヲ探ルニ至リタルハ故高島素之カ故上杉愼吉博士ト提携シタルニ始マルモノニシテ最近ニ於ケル同運動ノ隆昌ハ滿洲事變以後左翼運動ノ指導者カ國家主義陣營ニ轉向投合シテ以來ノコトナリ

農本主義  
團體

(ハ) 農本主義運動

右翼運動  
ノ將來

農本主義團體ハ最近ニ於ケル農村ノ疲弊窮乏ノ現實ニ直面シテ是カ打開ヲ主タル目的ト爲スモノニシテ我國草創以來ノ國是タル『農村ヲ基礎トスル自治的共同社會ノ建設』ヲ目的トスルモノナリ現在是カ主タル指導者ハ橋孝三郎、權藤成郷、岡本利吉、長野朗等ナリ

三、右翼運動ハ左翼運動ト異リ其ノ主義主張ニ於テ何等批議スヘキモノナキノミナラス寧ロ進テ之ヲ支援助長スヘキモノナルモ之ニ從事スル者カ動モスレハ越軌ノ行動ニ出テ徒ニ治安ヲ紊亂スルヤノ虞大ナルヲ以テ目下内務司法等取締當局ニ於テハ特ニ專任ノ右翼係ヲ新設シテ是カ取締ニ當リ居レリ(註)

五

I-0726

見透ノ困難

(註) 内務省ハ警保局保安課内ニ左翼係ノ外ニ新ニ右翼係ヲ設ケ、又東京地方裁判所ハ検事局内ニ別ニ右翼係檢事ヲ、又司法省ハ刑事局内ニ一名ノ專任右翼係書記官ヲ設置セリ。  
然レトモ右翼ノ取締ハ左翼ニ比シ極メテ困難ナル事情アリ此等諸種ノ事情ハ甚タ複雑ナルモノナルカ今當局ノ説明ニ基キ大要ヲ記述スレハ左ノ如シ

(イ) 見透ノ困難

左翼團體ハ其ノ主義主張ニ準據シテ之カ行動ヲ監視スル時ハ其ノ將來ノ動向ニ對シテモ大體ノ豫見ヲ爲スコト必スモ困難ナラス是レ團體員カ所屬團體ノ主義綱領ヲ逸脱シテ單獨行動ヲ執ルコト極メテ少ナキニ基クモノナリ然レトモ之ニ反シテ右翼諸運動ニ於テハ團體所屬員ハ其ノ團體ノ主義綱領ト離レテ個別的ニ單獨行動ニ出テ或ハ幾多ノ團體ニ屬スル者ノ中血氣旺盛ナル者カ夫レ々々所屬團體ヲ離レテ全然別個ノ一團體ヲ新ニ結成シ以テ直接行動ニ出ツル場合アリ從テ右翼團體ヲ如何ニ細密ニ監視スルモ此等團體ト離レテ行フ單獨ノ不穩行動ハ之ヲ豫見乃至豫想スルコト殆ント不可能ニシテ旁々右翼運動ハ將來ノ動向ニ對スル見透ヲ爲スコト甚タ困難ナル狀況ナリ(註)

(註) 五、一五事件、血盟團事件等最近幾多ノ不穩事件ハ決シテ單獨團體ノ團體的行動ニ非シテ何レモ數個ノ團體ニ屬スル者ノ中血氣旺盛ナルモノカ相集リテ直接行動ニ出テタルモノナリ今此等不穩事件犯人ノ所屬團體ヲ見レハ

左ノ如シ

血盟團事件關係

- (一) 帝大七生社
  - (二) 京大猶興學會
  - (三) 日本皇政會
- 五、一五事件關係
- (一) 神武會
  - (二) 天行會
  - (三) 愛郷會
- 神兵隊事件關係
- (一) 愛國勤勞黨
  - (二) 大日本生産黨
  - (三) 日本愛國農民同盟
  - (四) 群馬神風連
  - (五) 大日本聯盟
  - (六) 日本國家社會黨
  - (七) 大政愛國青年聯盟
  - (八) 神武會

七

六

I-0726

強行力ノ

(ロ) 實行力ノ強大

左翼運動ハ主トシテ社會ノ實情ニ疎キ學生其ノ他ノ所謂「インテリゲンチヤ」ノ分子多キニ反シ右翼運動ハ知識階級ノ外ニ多數ノ浪人、俠客ノ類ヲ抱擁シ居レルト且諸種ノ事情ヨリ資金竝ニ武器ノ入手等比較的容易ナルトニヨリ例ヘハ直接行動ニ出ツルカ如キ場合其ノ實行力極メテ大ナリ

殊ニ滿洲國ノ成立以來同國ハ此ノ種運動ノ策源地乃至逃避地トシテノ一種ノ安全地帯タルヤノ感ヲ呈スルニ至リ旁々右翼運動ノ取締ハ益々困難トナレリ

軍部トノ提携

(ハ) 軍部トノ提携

倫敦條約問題紛糾及ヒ滿洲事件ノ勃發以來右翼運動ハ軍部ノ直接間接ノ庇護ヲ受クルニ至リタルカ警察當局ニ對シ一種ノ治外法權ノ存在タル軍部ノ支援ハ右翼取締ヲシテ甚タシク困難

徹底彈壓ノ不可能

(ニ) 徹底の彈壓ノ不可能

左翼運動ハ其性質上斷乎之ヲ彈壓スルコトヲ得ヘキモ右翼運動ハ國體ノ擁護、國威ノ發揚等極メテ正當ナル主義ヲ提唱スルモノナルヲ以テ必スシモ之ヲ排除スヘキモノニ非サルノミナラス場合ニ依リテハ進テ之ヲ支援助長スヘキモノナルヲ以テ之ヲ彈壓スルカ如キハ素ヨリ不可ナリ然レトモ右翼團體中若シ徒黨ヲ組ミテ金品ヲ脅嚇シ或ハ濫リニ不穩ノ行動ニ出テントスルモノアルニ於テハ徹底的ニ之ヲ彈壓セサル可カラサルカ此等團體ハ軍部竝ニ政界方面ニ幾多複雑ナル關聯ヲ有シ居リ旁々是カ徹底的彈壓モ亦甚タ困難ナル狀況ニアルカ如シ

第二節 一般右翼運動

大隈前ニ於ケル國粹主義運動

一、我國右翼運動ハ之ヲ歴史的二見レハ淵源ハ遠ク明治維新以後ニ於ケル歐化主義時代ニ發スルモノニシテ即チ當時歐米物質文明全盛ナルニ對シ國粹保存ヲ標榜シテ起リタル所謂國粹保存主義運動ニシテ三宅雪嶺、西村茂樹(明治二十年弘道會ヲ創立ス)等カ主タル指導者ナリキ其後日清戰爭ニヨリ帝國ノ對外發展其ノ緒ニ就クニ及ヒ從來ノ國粹保存主義ヨリ一轉シテ國威

九

八



大戦後ニ  
芽ケル  
時代  
（社會主  
義運動）

ノ發揚ト亞細亞民族ノ復興支援トヲ提唱スルノ運動漸次擡頭シ來リ明治三十四年二月黒龍會組  
織セララルルニ及ヒ歐米物質文明ノ排除ト對外強硬政策遂行トヲ指導精神トシテ同運動益々熾烈  
トナリタルカ日露戰役ノ勝利、日韓合併等ニヨリ帝國ノ威信宣揚セララルルニ及ヒ右翼運動亦其  
ノ直接ノ對象ヲ失ヒ稍々沈衰屏息ノ状態ニ陥リタリ

二、然ルニ世界大戦終焉直後「デモクラシー」ノ思想澎湃トシテ勃興シ東大吉野作造博士、早大  
大山郁夫教授等ニヨリ或ハ雜誌解放、中央公論、改造等ヲ通シ或ハ新人會、黎明會等ノ團體ヲ  
中心トシテ全國各階層ニ傳播普及セララルル一方河上肇博士等ヲ中心トスル社會主義運動、福本  
和夫、佐野學等ヲ中心トスル共產主義運動亦漸次隆盛タラントスルニ及ヒ一時沈衰シタルヤノ  
右翼運動ハ新ニ社會主義及ヒ共產主義打倒運動トシテ再ヒ擡頭シ來リ大正九年黒龍會及ヒ浪人  
會ノ所謂大阪朝日赤化反對事件及ヒ吉野作造博士等トノ立會演說ヲ契機トシテ左右兩翼ノ對立  
抗争ハ漸ク熾烈ナラントスルニ至リタリ（註）

（註）荒木、春兩大將（當時佐官級）カ軍部内ニ社會主義撲滅ト皇道精神發揚トヲ鼓吹シタルハ是レ亦此ノ時代ニシテ  
爾來軍部内ニ國家改造運動擡頭シ遂ニ天劍黨事件、三月事件、十月錦旗革命事件、五一五事件、月桂寺事件等相次テ  
勃發スルニ至レリ

當時ノ右翼運動ハ前述ノ如ク社會主義打倒ヲ主タル目的ト爲スモノナルヲ以テ之ヲ反社會主義

SP. 249

25

（イ）大川周  
明派

運動トモ稱スルヲ得ヘク而シテ同運動ノ特色ハ是カ指導者ノ個人的色彩濃厚ニシテ統一的中心  
體ト稱スヘキモノナク數個ノ分派ニ別レ各々其ノ欲スル所ニ從ヒ思ヒ思ヒノ活動ヲ爲ス狀況ナ  
リキ今此等諸分派ヲ便宜上（イ）大川周明派（ロ）上杉愼吉派（ハ）高島素之派（ニ）其ノ他ノ四派ニ  
大別シテ其ノ概要ヲ説述スヘシ

（イ）大川周明派

大川周明派ニ屬スルモノトシテハ猶存社及ヒ行地社等ヲ舉クルヲ得ヘク猶存社ハ大正八年大  
川周明、北一輝、滿川龜太郎、鹿子木員信等ニヨリ結成セラレタルモノニシテ北一輝ノ『日  
本改造法案大綱』ヲ指導原理ト爲シ日本國家ノ改造ト大亞細亞ノ建設トヲ標榜シ西田稅其ノ  
他軍部關係者ノ加盟ニヨリ漸次隆盛ニ赴キタルモノナルカ其ノ後北ト大川トノ思想的竝ニ感  
情的疎隔ニヨリ大正十二年兩者缺ヲ分ツニ及ヒ同社亦解散ノ已ムナキニ至リタリ  
猶存社解散後舊同人等ハ各々別個ノ立場ヨリ各種團體ヲ組織シ運動ハ爲ニ一時無政府状態ニ  
陥リタルガ此ノ間北ハ西田稅等ト提携シテ殊ニ西田カ豫備軍人タルノ關係上現役軍人乃至在  
郷軍人等ニ接近シ漸次軍部内ニ潛行的活動ヲナシ十月事件ニ於テモ北及ヒ西田ハ是カ黒幕中  
ノ人物タリ（註）

SP. 249

26

I-0726

(註) 其ノ後北ハ軍部及ヒ一般右翼陣營ヨリ敬遠セラレ目下此ノ種運動ニハ直接關與シ居ラス  
 一方大川周明ハ大正十二年四月行地社ヲ組織シ滿川龜太郎、笠木良明、安岡正篤、綾川武治  
 等ト共ニ舊本丸内ニ大學寮ヲ設ケテ國士ノ養成ニ努メツツアリタルガ將來ノ國家改造運動ノ  
 推進力ハ之ヲ真ノ愛國主義者タル軍部ニ求メサル可ラスト爲シ努メテ青年將校ニ接觸シ來リ  
 タルカ他方其ノ間漸次自覺擡頭シ來リタル中産及ヒ無産大衆ノ勢力モ亦輕視ス可ラサルヲ悟  
 リ從來ノ國粹主義的理論ニ國家社會主義的理論ヲ加味シ其ノ活動方針ニ關シテモ亦之ヲ軍部  
 大衆併行主義ニ改メタリ

而シテ大衆獲得ノ手段トシテハ大衆運動指導ノ理論ト經驗トヲ有スル社會主義運動ノ右翼派  
 フ自己ノ陣營ニ轉向投合セシムルヲ捷徑ナリト爲シ秘ニ機會ノ到來ヲ窺ヒ居リタル處滿洲事  
 變ノ勃發ヲ契機トシテ左翼運動指導者ノ獲得ニ成功シタルヲ以テ昭和七年二月軍部ト大衆ト  
 ノ結合機關トシテ神武會ヲ組織シタリ同會ハ其ノ中心人物ノ顔振ト資金ノ豊富トニ依リテ急  
 速ニ勢力ヲ擴大シタルカ大川ガ血盟團事件ノ被告人トナルニ及ヒ中心勢力ヲ失ヒ來ル二月十  
 一日紀元節ヲ期シテ一先ツ解散スルニ決シタリ

(ロ) 上杉慎  
 吉派  
 (ロ) 上杉慎吉派

(ハ) 高島素  
 之派

(ハ) 高島素之派

大戦終焉當時吉野作造博士等ニヨリテ東京帝國大學内ニ黎明會、新人會等創立セラレ民主主  
 義自由主義思想盛ニ宣傳普及セラレタルカ當時同大學教授上杉慎吉博士ハ之ニ對抗シテ大正  
 九年興國同志會、次テ同十四年帝大七生社(現存)ヲ創立シタリ元來上杉博士ノ主張ハ其ノ憲  
 法論ニ基ク國家主義ナルモ大正十二年頃當時國家社會主義ヲ標榜シ居リタル高島素之一派ト  
 提携シテ經倫學盟ヲ組織シテ以來國家社會主義ノ影響ヲ多分ニ受クルニ至リタリ博士ノ門下  
 生トシテ今尙ホ活躍シツツアルモノニ、中谷武世、天野辰夫等アリ(註)

(註) 天野ハ神兵隊事件ノ中心人物ナリ

高島素之ハ大正七年三月頃社會主義運動ヨリ國家社會主義ニ轉向シタルモノニシテ當時ハ  
 「サンヂカリスム」運動盛ナリシ時代ニシテ高島ハ此等社會運動家ヨリ反動家トシテ嘲罵セ  
 ラレツツ國家社會主義運動今日ノ隆盛ヲ見スシテ世ヲ去リタルカ前述ノ如ク上杉慎吉博士一  
 派ト提携シテ以來國家主義運動ニ少カラサル思想的影響ヲ與ヘタリ  
 門下ノ矢部周、神永文三、小栗慶太郎、石川準十郎、津久井龍雄等ハ今尙ホ健在ニシテ國家  
 主義運動ノ有力ナル闘士ナリ

(ハ)其ノ他

(ニ)其ノ他

一四

其ノ他大正八年以來相次テ組織セラレタル大日本國粹會、大和民勞會、大日本正義團、赤化防止團、建國會等亦有方ナル右翼團體ナルカ此等ノ構成員ハ前記三分派ノ團體カ多ク國士又ハ志士ノ集合ナルニ反シ二、三ノ例ヲ除キテハ主トシテ俠客乃至博徒ノ類ナルヤノ觀アリ而シテ其ノ組織ニ際シテモ資本家乃至政治家等ノ之ニ關與シ居レルノミナラス其ノ標榜スル所亦主トシテ社會主義撲滅ニ在ル關係上之ト利害ヲ一ニスル資本家乃至政治家等ヨリ財政的援助ヲ受クルコト多ク前記諸團體ノ思想的結合タルニ比シ寧ロ單ナル反動主義團體ニ墮スルヤノ嫌ヒアリ

昭和初頭  
準備於ル  
國家社會主義運動

三、世界大戰直後ニ於ケル國民ノ愛國心高潮ニ乘シテ擡頭シタル右翼運動ハ其ノ後資本主義ノ高度化ニ伴フ勞資鬭爭ノ激化、農村疲弊ニ基ク小作爭議ノ頻發等ニヨリ社會主義乃至共產主義運動漸次隆盛トナルニ及ヒ一時沈衰スルヤニ見受ケラレタルカ昭和初頭以來ノ三、一五事件、四、一六事件等(註)共產黨ノ連續的斷崖ニヨリテ左翼陣營ニ一大障害ヲ與ヘラレ右翼運動ノ展開ニ有利ノ情勢トナリタルカ他方右翼運動亦從來ノ理論ニ新ニ國家社會主義的理論ヲ加味シテ大衆ノ利害ヲ考量ニ入ルルニ及ヒ一時衰頹シツツアリタル右翼運動ハ茲ニ新ナル推進力ヲ得テ大衆

SP. 249

29

ノ基礎ノ上ニ勃興セントスルノ機運ニ向ヒタリ而シテ此ノ機運ニ決定的拍車ヲ與ヘタルモノハ實ニ倫敦條約及ヒ滿洲事變ナリ

(註) 昭和三年三月十五日(三、一五事件)及ヒ昭和四年四月十六日(四、一六事件) 共產黨員ノ一齊檢舉ニヨリ共產黨陣營ニ決定的彈壓ヲ加ヘタリ

倫敦條約  
及滿洲事  
變後ニ於  
ケル全盛  
時代(反  
政黨政治  
主義運動)

四、即チ昭和六年春帝國議會開會中倫敦條約問題意外ニ紛糾シ其ノ結果政府軍部間ニ確執ヲ生シ軍部側ノ態度硬化シ殊ニ陸海軍青年將校中一部ノ者ハ政府ノ所謂軟弱外交ヲ論難攻撃スルニ及ヒ右翼團體ハ期セスシテ軍部側ノ意嚮ニ共鳴シ昭和六年三月『對外硬同盟』ヲ結成シ對外的ニハ強硬外交、對内的ニハ財閥膺懲、既成政黨打破ヲ絶叫スルニ至リタルカ之ト相前後シテ行地社ノ大川周明等カ中心トナリテ黒龍會系、高島素之系ノ諸團體ヲ糾合シ昭和六年三月『全日本愛國者共同闘争協議會』(日協)ヲ組織シ一切ノ財産ノ天皇奉還、議會制度ノ抹殺、天皇政治ノ確立、資本主義ノ打倒、錦旗革命ノ施行ヲ標榜シ果敢ナル運動ヲ展開スルニ至リタリ當時漸ク獨占資本主義ノ重壓ニ苦シミ不安ト動搖トノ裡ニ在リタル中産階級ハ右翼運動ノ反資本主義及ヒ反政黨政治的態度ヲ以テ自己ノ苦惱ヲ表明スルモノト爲シ之ニ共鳴スル者多ク右翼運動ハ茲ニ從來ノ國士の乃至英雄的運動ヨリ一轉シテ新ニ廣汎ナル國民大衆ニ基礎ヲ置ク大衆

一五

SP. 249

30

I-0726

運動ニ進展セントスルノ氣運ヲ示スニ至リタリ

折柄突發シタル滿洲事變並ニ軍部青年將校ノ所謂十月事件(所謂錦旗革命)ハ此ノ種運動ニ強力ナル拍車ヲ加ヘ同運動ハ遂ニ一般無産大衆運動陣營ニ對シテモ異常ナル衝動ヲ與ヘ急激ナル勢ヲ以テ國家主義ノ波瀾ヲ其ノ内部ニ浸透セシムルニ至ルヤ社會民衆黨ノ赤松克麿一派及ヒ全國勞農大衆黨ノ近藤榮藏等ヲ始メトシ無産運動家下中彌三郎等相次テ從來ノ日和見主義的態度ヲ一抛シテ右翼陣營ニ投スルニ至リタリ是ニ於テ右翼運動ハ戰線ヲ擴大シ國民ノ各階層ヲ席捲シテ全國的ニ決河ノ勢ヲ以テ進展シ所謂『フアツシヨ』勃興時代ヲ出現スルニ至リタリ

五、斯クノ如ク倫敦條約問題ノ紛糾ヲ契機トシテ再燃化シタル右翼運動ハ時代ノ思潮ヲ取入レテ反資本主義及反政黨政治的色彩ヲ帶ヒ來リタルカカテ滿洲事變ノ勃發スルニ及ヒ新ニ無産運動ヨリノ轉向者ヲ迎ヘテ茲ニ大衆運動ニ進展シ其ノ行動亦從來ノ高踏的、觀念的態度ヨリ進テ具體的、實踐的トナリタルノミナラス他面軍部青年將校ノ強力ナル支援ト急迫セル社會情勢ニ押サレテ急激ニ奔騰シ血盟團事件、五、一五事件、神兵隊事件等ヲ勃發セシメ右翼運動ハ正ニ最高潮ニ達シタルヤノ觀アリ

然ルニ其ノ後齋藤舉國一致内閣ノ出現、滿洲國ノ承認等客觀的情勢ノ變化ハ嵐ノ如ク進展シ來

五、一五  
事件後ニ  
於テハ安  
定時代

リタル右翼運動ノ氣勢ヲ殺キ更ニ當初友軍トシテ多大ノ期待ヲ掛ケ居リタル軍部ハ五、一五事件後ニ於テ其ノ態度稍々消極化スルニ及ヒ右翼運動ハ茲ニ少クトモ表面的ニハ安定靜觀ノ時代ニ入りタルヤノ觀ヲ呈スルニ至レリ

即チ右翼運動カ最高潮ニ達シタル當初一時三千有餘ノ多數ニ達シタル右翼諸團體ハ此ノ時代ニ入りテハ資金貧弱ナルモノ、會員少數ナルモノ或ハ確固タル指導精神ナキモノ等ハ漸次有力輩固ナル主流團體ニ合併統一セラレ表面的ニハ稍々衰退シツツアルヤノ觀ナキニ非サルモ右翼諸團體ノ改革セントスル資本主義制度ノ弊害、既成政黨政治ノ缺陷等少クトモ客觀的諸情勢ハ殆ント何等變改セラレ居ラサル現狀ニ於テハ右翼運動ハ何時再ヒ奔騰激化スルニ至ルナキヤヲ保セサルヘシ(註)

(註) 右翼運動取締當局(内務省警保局保安課、警視廳特高部、司法省刑事局、東京地方裁判所檢事局、文部省思想局)等ノ見解ヲ綜合スレハ現在ノ鎮靜ハ表面的ノモノニシテ何時血盟團事件、五、一五事件等ノ如キモノカ發シタルヤモ測ラレス小規模ナカラ客年十一月末ノ月桂寺事件ノ如キ此ノ間ノ消息ヲ示スモノト爲シ居レリ

### 第三節 農本主義運動

序說 一、最近急速ニ進展シ來リタル農本主義運動ハ之ヲ概言スレハ近代都市資本主義經濟下ニ於ケル

農村ノ疲弊窮乏

農民現實ノ苦悶ノ反響ナリト云フコトヲ得ヘシ

一八

社會主義的農民運動ノ標頭

二、明治維新ニヨリ農村ハ封建的束縛ヨリ解放セラレタルモ其ノ後漸次發達シ來リタル商工業ノ重壓下ニ新ニ呻吟スルニ至リタリ商工業ノ農村壓迫ハ資本主義カ基礎鞏固トナリタル大正八九年頃ニ全面的ニ擴大強化セラレ爾來農村ノ疲弊漸ク顯著トナリ世人ノ注目ヲ惹クニ至リタルカ其ノ後屢々試ミラレタル農村振興策ハ農村窮乏ノ事實ヲ匡救スルニ至ラス農産物ノ下落、肥料竝ニ工業生産品ノ騰貴、負債其ノ他諸負擔ノ増大等ニヨリ農村經營ハ收支相償ハサルニ至リ農民生活ハ益々困窮ヲ加フルニ至リタルカ斯カル事態ハ昭和五年及九年ノ農業恐慌カ米及ヒ繭ノ急落ヲ齎ラスニ及ヒ茲ニ農村經濟ハ殆ンド破産ノ状態ニ陥リ農村救済問題ハ最モ重大ナル政治及ヒ社會問題トナリタリ

社會主義的農民運動ノ標頭

三、斯クノ如ク農村經濟ノ行詰ニ直面シ是カ匡救ノ聲漸ク大ナラントスルニ及ヒ當時恰カモ都市「プロレタリアート」ノ勞資闘争進展シ來リタルニ刺戟セラレテ社會主義的色彩ヲ帶フル農民運動カ農民組合運動トシテ擡頭シタリ然ルニ右社會主義的農民運動ハ元來地主ト小作農間ノ階級闘争運動ニシテ農民組合ノ基礎ハ之ヲ小作農ニ置キ自作農竝ニ小地主ハ寧ロ大地主ト共ニ運動ノ對象ト爲シ居リタルカ爲メ自作農竝ニ小地主ハ殆ント小作農ト同程度ニ於テ農村恐慌ノ機

國家主義的農民運動ノ標頭

牲タルモノナルニ拘ラス農民運動ノ埒外ニ放置サレタル狀況ナリキ是ニ於テ此等小農(自作農及小地主)ハ農民組合運動ニ投セスシテ新ニ自力ニヨリ局面ノ轉換ヲ計ラントスルニ至リタリ四、斯クノ如キ状態ノ下ニ國家主義運動漸次隆盛ナラントスルニ至ルヤ農民ハ從來ノ社會主義的組合運動ヲ棄テテ新ナル國家主義運動トシテノ農本主義運動ヲ開始スルニ至リタリ(註)即チ橘孝三郎、岡本利吉等ノ農村指導者ハ各地ニ割據シテ塾又ハ農民學校等ヲ經營シ農本主義ニ基キテ農村改革ニ努力スルニ至リタルガ昭和六年秋ノ北海道及ヒ東北地方凶作等ニ刺戟セラレテ農村救済ノ聲全國的ニ瀾漫スルニ至ルヤ之ヲ指導シ組織スル強力ナル中心體ヲ求ムルノ機運讓成セラレ昭和六年十一月津田光造及ヒ橘孝三郎主唱ノ下ニ下中彌三郎、權藤成郷、岡本利吉(静岡縣下ニ農民協同學校經營)加藤一夫(農本塾經營)長野朗(農民新聞發行)等發起人トナリ

- (イ) 唯物文化ノ超克
- (ロ) 農本文化ノ建設
- (ハ) 自治社會ノ實現

ヲ目的トシテ『日本村治派同盟組織準備會』ヲ創立シタリ

一九

SP. 249

34

33

SP. 249

I-0726

農本主義  
運動ノ概  
ノ現狀ニ共

五、然ルニ右同盟、純農本主義者ノミナラス農本主義的傾向ニ共鳴スル國家主義者、評論家又ハ宗教家等難多ナル要素ヲ包含シ統一アル實行運動ヲ爲スニ適セサル點アリタルニヨリ純農本主義者ノミニテ右同盟ト別個ニ昭和七年三月農本聯盟ヲ組織シタルカ其ノ後農本主義運動ニ於テハ政治運動ノ可否ニ關シ異見ヲ生シ岡本利吉、加藤一夫等ハ之ヲ否定シタルニ對シ橋孝三郎、長野朗等ハ之ヲ肯定シ茲ニ非政治派（共働派）ト政治派トニ分裂シタリ  
共働派ハ先ツ共產的共同農場ヲ起シテ農村自治社會ヲ建設セントスルニ對シ政治派ハ現實本主義制度ノ打倒ヲ先決問題トシテ政治運動ノ必要ヲ提唱シ農本聯盟ヨリ分裂シテ昭和七年四月政治運動ノ機關トシテ自治農民協會ヲ組織シタリ

（註）農本主義トハ

人類ノ社會生活上農業カ根本的基調ナルコト及ヒ「自然而治」ノ實現ヲ理論的前提トシテ農業ヲ基本トスル經濟組織ヲ樹立シ農村ヲ基礎トスル自治的共同社會（是レ我國草創以來ノ國是ナリ）ヲ建設セントスルニ在ルカ如シ

斯クノ如ク自治農民協會（後自治農民協議會ト改稱）ノ成立ニ依リ農本聯盟ハ其ノ有力會員大半ヲ喪失シタル爲メ非政治派ノ岡本利吉ハ前記自治農民協會ニ對抗シテ昭和七年六月先驅者同盟ヲ結成シ八年三月ニ至リ之ヲ普遍會ト改稱シ以テ今日ニ及ヘリ

前述ノ如ク今日農本主義運動ニ從事スル最モ有力ナル團體ハ右長野朗ノ自治農民協議會及ヒ岡本利吉ノ普遍會ナルカ其ノ他ニモ橋徳次郎ノ愛郷會（註）、吉田賢一ノ皇國農民同盟、石橋彌ノ皇國農民自治聯盟等亦相當ノ活動ヲ爲シ居レリ

（註）愛郷會ハ昭和四年十一月橋孝三郎ニ依リテ創立セラレタルモノナルガ其ノ後橋ノ收監ニ依リ現在同人弟橋徳次郎是ガ指導者タリ

#### 第四節 主要右翼團體ノ現勢

序説

一、右翼團體ハ其ノ數極メテ多數ニ上リ滿洲事變直後ノ如キ一時三千有餘ヲ數ヘタルコトアリシ程ナルガ昭和七八年頃ヨリ漸次統一的傾向現ハレ其ノ數亦從テ徐々ニ減少シ居レル處現在最モ活動シ居レルモノハ昭和神聖會、大日本生産黨、明倫會、立憲義正會、大日本國家社會黨、新日本國民同盟、皇道會、愛國政治同盟、青年日本同盟等ニシテ運動ノ指導者トシテハ赤松克麿、石川準十郎、小池四郎、田中澤二、近藤榮藏、佐々井一晁、下中彌三郎、今村等、内田良平、田中國重大將、等々力林藏中將、出口王仁三郎等其ノ主タルモノナリ  
右翼諸團體ノ消長ハ其ノ指導者並ニ主義綱領ノ如何ニ拘ハルコト素ヨリナルガ他面其ノ活動資

金ノ如何ニ左右セラルル所極メテ大ニシテ此等諸團體中資金相當豐富ナルハ等々力中將ノ皇道會、田中大將ノ明倫會、田中澤二ノ立憲養正會及ヒ出口王仁三郎ノ聖和神聖會等ニシテ就中聖和神聖會ハ極メテ豐富ナル資金ヲ擁シ弱小諸團體ヲ漸次牽引又ハ合併シツツ急速ナル勢ヲ以テ全國的ニ黨務ヲ擴大強化シ居レリ

以下此等主要諸團體ニ就テ説述スル所アルヘシ

昭 and 神聖會  
二、昭 and 神聖會（指導者、出口王仁三郎）

昭 and 神聖會ハ昭和九年十一月大本教ノ出口王仁三郎ヲ總裁トシテ結成セラレ目下全國的ニ黨員獲得ニ努力中ナルガ

(イ) 同會ハ大本教信者ヲ中心トシテ勢力擴大ニ努メ居レルコト  
(ロ) 極メテ豐富ナル活動資金ヲ有シ居レルコト

等ノ理由ニヨリ會ハ目下驚クヘキ速度ヲ以テ全國的ニ擴大強化セラレツツアリ且ツ同會ハ前述ノ如ク活動資金極メテ豐富ナル爲メ資金貧弱ナル各種弱小諸團體モ漸次同會ニ投合又ハ牽引セラレ居ル狀況ニシテ同會今後ノ發展ハ十分注視スヘキモノナリ

同會ハ目下表面修養教化ヲ標榜シ居レルガ漸次會ノ基礎鞏固ヲ加フルニ伴ヒ政治的活動ヲナス

ニ至ルヘキハ十分豫想セサル可ラサル所ニシテ現ニ客年來「ワシントン」條約廢棄問題起ルヤ頻リニ各支部ヲシテ同條約ノ即時廢棄方外務大臣ニ電報セシメ居レル事實、最近國家改造斷行請願運動ヲ支援シ居レル事實等ニ鑑ルモ這般ノ消息ヲ窺知スルニ足ルヘシ

大本教信者中ニハ現役軍人極メテ多數ニシテ同會亦延テ多數ノ將官ヲ會員ニ有シ居リ旁々同會今後ノ活動ニ對シテハ細心ノ注意ヲ拂ハサルヘカラス

(註) 昭 and 神聖會ハ右翼團體中活動資金最モ豐富ニシテ嘗テ大本教本部出入ノ際現金約一億圓ヲ有シ居リタリト稱セラレ其ノ後出口ノ滿洲方面ニ於ケル活動ニヨリ相當ノ出費ヲ爲シタリトスルモ現在同會力尙ホ極メテ多額ノ資金ヲ有シ居レルコトハ疑フノ餘地ナキカ知シ(現在全員約二百五十萬人ヲ有スト自稱居レリ)

大日本國家社會黨  
三、大日本國家社會黨（指導者、石川準十郎）

昭和六年末下中彌三郎、佐々井一晁、滿川龜太郎等日本労働組合總聯合、愛國勤勞黨（中谷武世）、經濟問題研究會（下中彌三郎）等國家主義諸團體ヲ糾合シテ七年一月日本國民社會黨準備會ヲ結成シ次テ赤松克麿、今村等等ノ社會民衆黨及勞農大衆黨ノ脱退派ト合流シテ一黨ヲ樹立スルニ決シタルカ同年五月ノ結黨當日兩者ノ意見一致スルニ至ラス即日日本國民社會黨準備會ハ新日本國民同盟ヲ又社會民衆黨、勞農大衆黨轉向派ハ日本國家社會黨ヲ結黨シタリ

其ノ後日本國家社會黨ハ黨内ニ於ケル日本主義ト國家社會主義トノ對立ニヨリ再ヒ分裂シテ赤

二四  
松一派ノ脱退トナリ殘黨ハ石川準十郎、近藤榮藏等ノ指導ノ下ニ幾多ノ迂餘曲折ヲ經テ昭和九年三月大日本國家社會黨ヲ創立シタリ  
大日本國家社會黨ハ『光輝アル建國ノ本義ニ基キ君民一如搾取ナキ新日本ノ建設ヲ期スル』ヲ以テ黨誓ト爲シ

(イ) 國體ノ擁護

(ロ) 資本主義的經濟組織ノ改廢

(ハ) 集中的計畫經濟ノ施行

(ニ) 汎ユル國民ハ其ノ生存ノ自然的基礎(土地及ヒ資源)ニ於テ平等ノ權利ヲ有スルヲ信シ我

カ國民ノ生存ニ必要ナル土地及ヒ資源ヲ公然世界ノ過當占有國民ニ向テ要求ス

(ホ) 亞細亞民族及ヒ有色民族ノ解放ハ世界人類ニ負フ我カ國民ノ使命ナルヲ信シ一大民族運動

ニヨリ是カ實現ヲ期ス  
ルヲ以テ黨ノ綱領ト爲シ居レリ

新日本國  
民同盟

四、新日本國民同盟(指導者、佐々井一晁)

前述ノ如ク昭和七年五月日本國民社會黨準備會ト赤松、今村等ノ社會民衆黨及ヒ勞農大衆黨轉

SP. 249

39

向派トノ合併交渉決裂スルヤ日本國民社會黨準備會ハ直ニ新日本國民同盟ヲ結成シ日本主義及  
ヒ國家社會主義ヲ標榜シ島中雄三ヲ相談役、鹿子木貞信、小野武夫、貴志彌次郎、權藤成卿ヲ  
顧問、下中彌三郎ヲ中央委員長、佐々井一晁ヲ書記長トシ『建國ノ本義ニ基キ搾取ナキ新日本  
ノ建設』ヲ「スローガン」ト爲シ

(イ) 金權支配ノ廢絶ト天皇政治ノ徹底

(ロ) 資本主義機構ノ打破ト國家統制經濟ノ實現

(ハ) 人種平等資源衡平ノ原則ニヨル新世界秩序ノ創建  
ヲ綱領トシ

(イ) 私有財産限度ノ制定ト超過額ノ國家收納

(ロ) 金融機關、基本的産業及ヒ公益企業、保險事業ノ國營又ハ公營

(ハ) 私營企業ノ規模限定

(ニ) 貿易ノ國家管理

(ホ) 土地ノ國有

(ヘ) 教育ノ機會均等ト公費教育制度ノ徹底

二五

SP. 249

40

I-0726



(ト) 國民本位外交ノ確立

等ヲ政綱トシテ活動ヲ開始シタリ

然ルニ同年十一月思想的疎隔ヲ理由トシテ中谷武世ノ愛國勤勞黨及ヒ下中彌三郎ノ經濟問題研究會一派脱退シ昭和八年初頭以來近藤榮藏ノ國家社會主義ト佐々井一晁ノ日本主義トノ思想的對立ヨリ遂ニ近藤一派ノ脱退ヲ見佐々井自カラ盟主トナリタルカ黨ハ之ニヨリ實勢力ヲ減殺スルコトナク全國的ニ黨務擴張ニ努メタル結果最近黨務急速ニ増大シ現ニ新潟、山梨、信濃縣等ニ於ケル進出目醒シキモノアルカ如ク本黨ノ動向ハ特ニ注目ノ要アルベシ

皇道會

五、皇道會(指導者、等々力林藏中將)

先述ノ如ク昭和七年五月日本國民社會黨準備會ト社會民衆黨、勞農大衆黨轉向派トノ合併決裂後社會民衆黨、勞農大衆黨轉向派ハ日本國家社會黨ヲ結成シタルモ此等轉向派ハ永ク同黨ヲ擁護シ得ス日本農民組合ノ平野力三ハ逸早く兵農主義ヲ提唱シ等々力林藏中將ヲ總裁トシ高田豊樹、山下魏八郎、貴志彌次郎、黒澤圭一郎等ノ豫備將軍ヲ幹部トシ日本國家社會主義學盟ト反撥シタル林葵未夫及ヒ島中雄二等ヲ顧問トシテ新ニ皇道會ヲ結成シタルカ同會ハ創立當時黨勢大ニ奮ヒタルモ日本農民組合ノ不振ト黨内ノ空氣不安定ノ爲メ目下現狀維持ニ汲汲タル狀況ナ

愛國政治同盟

六、愛國政治同盟(指導者、小池四郎)

日本農民組合カ皇道會支持ノ態度ヲ表明シテ以來日本國家社會黨内部ニ於ケル對立ハ益々露骨トナリ赤松克麿、小池四郎ハ事毎ニ相反目スルニ至リ小池四郎ハ遂ニ陶山篤太郎ト結ヒテ昭和九年二月愛國政治同盟ヲ結成シタリ

青年日本同盟

七、青年日本同盟(指導者、赤松克麿)

昭和七年五月社會民衆黨及勞農大衆黨ノ轉向派ヲ以テ結成セラレタル日本國家社會黨ハ其ノ後日本主義ト國家社會主義トノ對立ニヨリ赤松一派ハ同黨ヲ脱退スルニ至リタルガ赤松ハ生産黨ヲ脱退シタル津久井龍雄ト提携シテ日本精神ノ國民的浸透ニ努メ兩者ノ關係緊密ヲ加フルニ及ヒ遂ニ昭和八年九月津久井ノ率ユル大日本青年同盟ト赤松ノ日本通信従業員組合ト合併シテ新ニ青年日本同盟ヲ創立シ津久井ヲ會長、伊地知義一ヲ主事、赤松ヲ顧問トシテ新ニ活動ヲ開始シタリ

青年日本同盟ハ

(イ) 一君萬民ノ本義ニ則ル皇道政治ノ確立



大日本生  
産黨

八、大日本生産黨（指導者、内田良平）

- (ロ) 一國一家ノ精神ニ基ク皇道經濟ノ樹立
  - (ハ) 忠孝一本ノ大義ニ從フ皇道教育ノ徹底
  - (ニ) 八始一字ノ理想ニ基ク日本民族ノ雄飛
- ヲ政策トシ全國青年ノ日本精神ニ依ル結盟ヲ通シ新興大日本ヲ建設スルヲ綱領ト爲シ居レリ

二八

大日本生産黨ハ國家主義ヲ標榜シテ昭和六年六月頭山滿ヲ顧問、内田良平ヲ總裁トシテ結成セラレタルモノニシテ黨員約十四、五萬人ヲ擁スト稱セラル

同黨ハ大日本主義ニ基キ國家ノ經濟ヲ行フヲ以テ主義ト爲シ政綱トシテ

(イ) 欽定憲法ニ從ヒ君民一致ノ善政ヲ徹底セシムルコト

(ロ) 國體ト國家邁進ニ適合セサル制度法律ノ改廢ヲ行ヒ政治機關ヲ簡易化セシムルコト

(ハ) 自給自足立國經濟ノ基礎ヲ確立スルコト

ヲ掲ケ又政策トシテ

(イ) 華族ハ遞下制トナシ新ニ臣民ヨリ列スルコトヲ止メ皇族降下ノ階梯トナスコト

(ロ) 外交官ヲ一新シ日本ノ天職遂行ノ外交方針ヲ確立スルコト

SP. 249

43

明倫會

九、明倫會（指導者、田中國重大將）

- (ハ) 世襲財産ノ限度ヲ制定シ限度以上ニ對シテハ累進的相續稅ヲ課スルコト
- 等ヲ政綱トシテ掲ケ居レリ

明倫會ハ國家主義ヲ標榜シテ昭和七年田中國重大將ヲ會長、奥平俊藏中將ヲ副會長トシテ成立シタルモノニシテ同會ノ成立ニ當リテハ石原産業主石原廣一郎ノ活動ニ負フ所大ニシテ活動資金亦主トシテ石原ノ醸出ニ係リ居リタルカ其ノ後石原トノ關係絶ヘ資金ハ目下主トシテ會員ノ醸金ニヨルモノノ如シ（註）

同會ハ豫備將軍就中少將級ノ軍人多數ヲ會員ニ有シ會ノ行動自ラ軍部擁護ニ傾キ居レルハ特ニ注目スヘキ所ナルヘシ

同會ノ主義綱領ハ

(イ) 國體ノ擁護

(ロ) 既成政黨ノ積弊打破ト皇室中心及ヒ國家本位ノ政治遂行

(ハ) 退嬰追隨外交ノ打破、自主正義外交ノ斷行、國威ノ發揚ト東洋民族固有ノ特質實現

等ヲ舉ケ居レリ

二九

SP. 249

44

I-0726

三〇

(註) 石原廣一郎ハ大川周明ノ神武會組織ニ當リ同會ノ趣旨ニ賛同シ時ニ財政的援助ヲ爲シタルカ同會ノ基礎ヲ鞏固ナラシメントスルニ當リ本部會頭ニ大川周明ヲ推サントスル急進派ト田中重次ヲ推サントスル穩健派トノ對立ヲ見ルニ至リ遂ニ本部ハ急進派ノ占ムル所トナリタルヲ以テ穩健派ハ同會ヲ脱退シ前記石原亦之ト行動ヲ共ニシ別ニ新ニ明倫會ヲ組織スルニ至リタルモノナリ

而シテ明倫會ノ組織並ニ田中大將ノ擁立ニ際シテハ石原ハ昭和七年四月中旬貴族院議員數名ヲ應訪シテ其ノ了解ヲ求メ且ツ其ノ實行上田中大將ヲ統帥ニ推戴スルコトトシ會務一切ノ費用ハ石原ニ於テ負擔スル條件ニテ(石原ノ資産ハ約一十萬圓ニ及フト稱セラレ)同大將ノ了解ヲ得タルモノナリト云フ

立憲養生會

一〇、立憲養生會(指導者、田中澤二)

立憲養生會ハ國家主義ヲ標榜シテ大正十二年十一月結成セラレタルモノニシテ田中澤二ヲ總裁トシ會員約二千名ヲ有シ目下全國的ニ急速度ヲ以テ擴大シツツアリ

活動資金ハ田中澤二個人ノ支出ニ係リ機關紙トシテ養生時評(月二回)ヲ發行シ又各所ニ講演會ヲ開催ス

同會ハ神武天皇ノ「養正建國」「積慶統民」「重暉濟世」ノ精神ニ基キテ國體主義ノ政治興立ヲ主義トシ皇風ノ光揚、國風民俗ノ惇化、世界人類ノ平和實現ヲ綱領トナシ居レリ

SP. 249

45

## 後編 右翼團體要覽目次

### 第一節 東京地方

一、東京

(1) 一般右翼團體

愛國社  
愛國皇民黨  
愛國勤勞黨  
愛國勞働社  
愛國青年聯盟  
愛國法曹聯盟  
一心會  
維新俱樂部

關東國粹會本部  
恢弘會  
關東國士團  
改造日本社  
行地社  
勤王聯盟  
舊邦會  
錦旗會  
金雞學院  
勤皇維新同盟  
勤勞青年塾

三一

SP. 249

46

I-0726

勤王中堅會  
 軍縮國民同盟  
 建國會  
 月旦俱樂部  
 經濟國策研究會  
 黒龍會  
 國士同盟會  
 更始會  
 皇國義團  
 國策座談會  
 國民戰線社  
 國民解放社  
 國民外交研究會

三 國防聯盟  
 二 國民青年同盟  
 一 國民同志會  
 〇 國民中堅同盟  
 九 興民會  
 八 國難打開聯合協議會  
 七 國家社會主義青年同盟  
 六 國家社會主義藝術家聯盟  
 五 國民社會主義準備會  
 四 國粹民衆黨準備會  
 三 産業奉還促進協議會  
 二 新國民會  
 一 辛未同志會  
 〇 神道聯盟  
 〇 思想善導協會  
 〇 神武會

一〇一  
一〇〇  
九  
八  
七  
六  
五  
四  
三  
二  
一  
〇  
〇  
〇

神武青年隊  
 時局研究會  
 新日本國民同盟  
 新國家同盟  
 スメラギズム研究所  
 赤化防止團  
 全國立憲青年同志會  
 全日本興國同志會  
 正義同志會  
 全國青年聯盟  
 全國大日本主義同盟  
 青年皇道會  
 祖國會  
 大日本國粹會總本部

三 大化會  
 二 大行社  
 一 大日本護國會  
 〇 大日本正義團關東本部  
 〇 大日本國民一誠會  
 〇 大日本殉國會  
 〇 大日本帝國振武會  
 〇 大日本神農會  
 〇 大日本奉公團本部  
 〇 大日本青年護國聯盟  
 〇 對露同志會  
 〇 大日本愛國社  
 〇 大日本國粹聯合會  
 〇 大命會  
 〇 大日本愛國義團  
 〇 對外同志會  
 〇 大日本生產黨  
 〇 大民俱樂部

一〇一  
一〇〇  
九  
八  
七  
六  
五  
四  
三  
二  
一  
〇  
〇  
〇

I-0726

大日本青年同盟  
 大亞義盟  
 大同俱樂部  
 大日本求道會  
 忠君愛國黨  
 天行會  
 東海聯盟  
 東洋共存會  
 東亞聯盟  
 東亞聯盟義會  
 獨立青年社  
 内外更始俱樂部  
 日本青年修養會

一七三 日本會  
 一七四 日本治道會  
 一七五 日本皇政會  
 一七六 日本思想研究會  
 一七七 日本生産大衆黨準備會  
 一七八 日本フアツシズム聯盟  
 一七九 日本主義同盟  
 一八〇 日本國家社會主義學盟  
 一八一 日本國家社會黨  
 一八二 日本國家社會婦人同盟  
 一八三 日本中小商工業者聯盟  
 一八四 日本弘隆會  
 一八五 白狼會  
 一八六 原組  
 一八七 七生義團  
 一八八 滿洲問題解決同盟

一七三  
一七四  
一七五  
一七六  
一七七  
一七八  
一七九  
一八〇  
一八一  
一八二  
一八三  
一八四  
一八五  
一八六  
一八七  
一八八  
一八九  
一九〇

SP. 249 49

滿洲問題國民同盟  
 滿洲問題舉國一致各派聯合會  
 明治會  
 明德會  
 明倫會  
 大和民勞會  
 洋々會  
 洛北青年同盟  
 立正愛國社  
 立憲養正會  
 立憲勤王黨  
 皇國農民同盟

三三三 先驅者同盟  
 三三二 自治農民協會  
 三三一 日本村治派同盟  
 三三〇 農本聯盟  
 三二九 農本聯盟  
 三二八 戊辰農民協會  
 三二七 (3) 學生團體  
 三二六 愛國學生聯盟  
 三二五 一高・瑞穂會  
 三二四 學生與國聯盟  
 三二三 救國學生同盟

三五

三三三  
三三二  
三三一  
三三〇  
三二九  
三二八  
三二七  
三二六  
三二五  
三二四  
三二三

SP. 249 50

I-0726

慶大・精神科學研究會  
 慶大・國防研究會  
 國大・全國大日本主義同盟  
 護國義勇團  
 全日本青年學生革正聯盟  
 全日本學生協議會  
 早大・國防研究會  
 早大・大和會  
 拓大・魂ノ會  
 帝大・七生社  
 帝大・朱光會  
 帝大・國防研究會

三四三 日大・國司會  
 三四三 日本學生聯合會  
 三四三 文理大・桐花明德會  
 三四三 明大・興國同志會  
 三四三 農業大學・一志會  
 三四三 二、橫濱  
 三四三 (1) 一般右翼團體  
 三四三 大日本國粹普及聯盟  
 三四三 三、浦和  
 三四三 (1) 一般右翼團體  
 三四三 草進社

SP. 249 51

愛國青年聯盟  
 四、千葉  
 (1) 一般右翼團體  
 安房國粹會  
 勤王成田山靈德鼓吹會  
 大統社農業塾  
 農村自治研究會  
 房總革新團  
 (2) 農本主義團體  
 日吉村農民更生研究會

三四七 葵會  
 三四九 皇風會  
 三四九 護國堂  
 三四〇 常陽明治記念會  
 三四〇 紫山塾  
 三四〇 春秋會  
 三四三 水戸學朗讀會  
 三四三 (2) 農本主義團體  
 三四四 愛郷會  
 三四四 愛郷塾

SP. 249 52

I-0726

六、宇都宮	三六	赤化鎮壓同盟	三〇
(1) 一般右翼團體		(2) 農本主義團體	
國華會	二九	日本農民協會	三〇
七、静岡		九、新潟	三〇
(1) 一般右翼團體		(1) 一般右翼團體	
君が代同盟	二五	愛郷青年聯盟	二四
静岡縣青年聯盟	二六	越南興國青年聯盟	二五
聖劍社	二七	下越愛國青年聯盟	二六
八、長野		(1) 一般右翼團體	
(1) 一般右翼團體		國防充實期成同盟會	二七
愛國至誠會	二九	興國會	二八
信州郷軍同志會	三〇	北溟社	二九

北越青年聯盟	三〇	農民文化研究會	三三
北新俠粹團	三〇	(1) 農本主義團體	
(2) 農本主義團體		有限責任六所共働社	三二
共働村落期成會	三二		
第二節 大阪地方			
一、京都			
(1) 一般右翼團體		興國青年同盟	三三
愛國青年會	三七	國體主義同盟	三三
愛國社本部	三六	皇國戰士同盟	三六
彌榮日本人同志會	三〇	國家社會農民組合準備會	三九
(1) 一般右翼團體		里見日本文化學研究所	三〇
改進青年同盟	三三	神州報國會	三三
(1) 一般右翼團體		辛羊會	三六
敬天愛人運動本部	三三	昭和維新聯盟	三七

I-0726

國防社  
 國粹大衆黨  
 國粹婦人聯盟  
 國粹日本黨  
 國防同志會  
 國防思想宣揚會  
 小倉俠勇會  
 護國青年聯盟  
 小楠公菊水會  
 昌武會  
 若龍會  
 神州護國黨本部  
 政研俱樂部  
 正道會  
 泉州報國團

浪花會  
 天祐會  
 天心會  
 大日本建國黨  
 大日本皇國黨  
 大日本報國會  
 大日本精華會本部  
 大日本勞資會  
 大日本國士會本部  
 大成組祐護會  
 大日本櫻花會  
 大日本正義團  
 大日本國光宣揚會

四一

四〇三  
 四〇二  
 四〇一  
 四〇〇  
 三九九  
 三九八  
 三九七  
 三九六  
 三九五  
 三九四  
 三九三  
 三九二  
 三九一

SP. 249 56

青年自由軍  
 大日本國粹會  
 天誅會  
 日本愛國同志聯盟  
 西陣賃業者組合  
 京都帝國大學猶興學會  
 京都愛國學生聯盟  
 日本新興學生協會  
 二、大阪  
 (1) 一般右翼團體  
 吾妻會

愛國青年黨  
 愛國奉公團  
 櫻花會  
 大阪中央市場國粹義團本部  
 大阪市敬愛會  
 大阪愛國青年聯盟  
 勤皇義會  
 極東亞細亞聯盟  
 建國俱樂部  
 蛟龍會  
 向友會  
 國柱會  
 國士會

四〇

三九八  
 三九七  
 三九六  
 三九五  
 三九四  
 三九三  
 三九二  
 三九一  
 三九〇  
 三八九  
 三八八  
 三八七  
 三八六  
 三八五  
 三八四  
 三八三  
 三八二  
 三八一  
 三八〇  
 三七八  
 三七七  
 三七六

SP. 249 55

I-0726



亡國の軍縮排撃聯盟 四〇五  
 憂士會 四〇六  
 立憲日本國粹黨 四〇七  
 (2) 學生團體 四〇八  
 大阪愛國學徒聯盟 四〇九  
 三、神戶 四一〇  
 (1) 一般右翼團體 四一一  
 愛國天浪會 四一二  
 神戸市殊勳會 四一三  
 皇國誠進會 四一四  
 國民明治會 四一五

城北立憲濟美會 四二六  
 大日本拳闘會 四二七  
 大日本青年黨 四二八  
 中興會 四二九  
 日本殉國青年聯盟 四三〇  
 御影町軍人至誠會 四三一  
 養正護國會 四三二  
 四、奈良 四三三  
 (1) 一般右翼團體 四三四  
 大日本白龍會 四三五

SP. 249 57

日本油勝會 四三六  
 五、和歌山 四三七  
 (1) 一般右翼團體 四三八  
 大日本國士團 四三九

六、徳島 四四〇  
 (1) 一般右翼團體 四四一  
 生活權防衛同盟 四四二  
 戴天社組織準備會 四四三

SP. 58

第三節 中部地方

一、名古屋 四四四  
 (1) 一般右翼團體 四四五  
 愛國誠進勤勞組合 四四六  
 昭和維新會 四四七  
 大日本會 四四八  
 大日本守國會 四四九

大日本建國義勇團總部(準) 四五〇  
 二、安濃津 四五〇  
 (1) 一般右翼團體 四五〇  
 神和會 四五〇  
 三重縣赤化防止團 四五〇  
 三重縣義勇會 四五〇  
 三重愛國々民同盟組織準備會 四五〇

SP. 249 58

I-0726

二、山口  
 (1) 一般右翼團體  
 白色同盟  
 (2) 學生團體  
 由道會  
 三、岡山  
 (1) 一般右翼團體  
 青谷共存會  
 一心會  
 岡山縣嚴正團  
 青年更生會  
 帝國更生會

四、鳥取  
 (1) 一般右翼團體  
 正義團  
 五、松江  
 (1) 一般右翼團體  
 島根愛國正義黨  
 (2) 學生團體  
 大陸同志會  
 松江射擊會  
 六、松江  
 (1) 一般右翼團體  
 今治ハタラクキ會  
 八洲社

SP. 249

60

三、岐阜  
 (2) 一般右翼團體  
 愛國大道團  
 四、福井  
 (1) 一般右翼團體  
 光修會  
 福井國粹會本部

第四節 中國地方

一、廣島  
 (1) 一般右翼團體  
 尾福福山正義會  
 正民義團  
 五、金澤  
 (1) 一般右翼團體  
 共榮會  
 明治志士敬養會  
 六、富山  
 (1) 一般右翼團體  
 伏木愛國青年同盟  
 大日本青年國士黨  
 (2) 學生團體  
 愛國青年聯盟

SP. 249

59

I-0726

第五節 九州地方

- 一、長崎
  - (1) 學生團體 四九三
  - 長崎高商・日本精神研究會 四九四
  - 二、佐賀
    - (1) 一般右翼團體 四九五
  - 大詔實踐團 四九六
  - 三、福岡
    - (1) 一般右翼團體 四九七
    - 愛國無産同盟 四九八
    - 愛國日新會 四九九
    - 愛國青年聯盟 五〇〇
    - 愛國青年同盟 五〇一
- 四、熊本
  - (1) 一般右翼團體 四九八
  - 昭和青年聯盟 四九九
  - 五、鹿児島
    - (1) 一般右翼團體 五〇〇
    - 鹿兒島國粹會 五〇一
- 六、大分
  - (1) 一般右翼團體 五〇二
  - 新與日本主義國民運動沖繩聯盟 五〇三
  - 新興青年隊 五〇四

第六節 東北地方

- 一、仙臺
  - (1) 一般右翼團體 五二五
  - 生田村忠誠會 五二六
  - 宮城愛國同志會 五二七
  - (2) 學生團體 五二八
  - 日本青年大陸研究會 五二九
  - 二、福島
    - (1) 一般右翼團體 五三〇
    - 菊水會 五三〇
    - 赤心會 五三一
    - 赤誠會 五三二
    - (2) 農本主義團體 五三三
    - 農本勤勞黨組織準備會 五三四
    - (3) 學生團體 五三五
    - 稽照會 五三六

I-0726

全日本護國聯盟 [セ] 五四三  
 三、旭川 (1) 一般右翼團體  
 愛國勤王黨 [ア] 五四五  
 青年日本社 [セ] 五四六  
 鐵血社 [テ] 五四八  
 四、釧路 (1) 一般右翼團體  
 釧路無産相互會 [シ] 五四九  
 十勝アイヌ旭明社 [ト] 五五一

SP. 249

64

四九

第七節 北海道地方

一、函館 (1) 一般右翼團體 [ア] 五四七  
 愛國青年同盟 [キ] 五四六  
 曉鐘會 [キ] 五四六  
 三、山形 (1) 一般右翼團體 [ナ] 五三三  
 中郡村國防研究會 [ナ] 五三三  
 四、青森 (1) 一般右翼團體 [ヒ] 五三五  
 弘前矯風團 [ヒ] 五三五  
 弘前國粹團 [ム] 四八  
 陸奥與國同志會 (2) 農本主義團體 [カ] 五三六  
 開拓社 [カ] 五三〇  
 陸奥與國農民運動聯盟 [ム] 五三二  
 大日本北粹會 [タ] 五四〇  
 二、札幌 (1) 一般右翼團體 [シ] 五四三  
 新興青年聯盟 [シ] 五四三

SP. 249

63

I-0726

後編 右翼團體要覽

第一節 東京地方

(1) 一般右翼團體

愛國社

事務所 芝區白金臺町一丁目八一番地  
 創立 昭和三年八月一日  
 系統 國家主義  
 關係團體 愛國青年聯盟、愛國學生聯盟  
 機關紙 愛國新聞（月三回）  
 資金ノ出所 寄附金其ノ他  
 幹部及主 社長―岩田愛之助。社員―角田知長。小山田大六、田邊宗英、橋本文治、吉井清春  
 ナル會員 數 約二〇〇名ト稱ス  
 會員數 約二〇〇名ト稱ス  
 主義綱領

一、愛國社ハ對支問題及思想問題ノ研究ヲ爲ス等問題ノ發生スル毎ニ重立者ノ會議ニ係リ種々

五一

I-0726

ナル運動ヲ爲スモノナリ  
二、本會ハ大陸積極政策ノ遂行及研究並ニ思想問題ノ研究ヲ以テ目的トス  
主ナル行動

- 一、昭和四年一月倒閣聯盟ニ加入シ同年三月上野公園國民大會ニ參加ス
- 一、同年二月十一日吉井清春ノ「田中内閣ハ何故對支政策ヲ失敗セルカ」ト題スルパンフレットヲ貴衆兩院議員及樞密顧問官其ノ他有志ヘ郵送ス
- 一、同年九月濱口、安達、江木ノ各大臣並ニ鹽野檢事正、石郷岡檢事等ニ危害ヲ加ヘントシ福岡縣ヨリ同志上京シタリトノ聞込ミアリタルモ實行ニ至ラス
- 一、同年十一月十一日社長岩田愛之助ハ東亞通信新妻二郎及日本新聞印刷部長大林政五郎等通牒シ濱口内閣總辭職ト題スル東亞通信號外ヲ發行ス
- 一、同年十一月二十日赤坂三會堂ニ於ケル海軍々縮會議有志發起人ニ社長岩田愛之助出席シ若槻全權出發反對ノ策動ヲナス
- 一、同年十一月二十二日建國會主催ノ日本青年館ニ於ケル對露懇談會ニ出席セル愛國社員松木良勝、青山三郎、赤星忠治、日堂則義ハ四谷署高等係ヲ毆打シ公務執行妨害並ニ傷害罪トシテ送局サル
- 一、昭和五年三月十一日對露問題ニ關スルパンフレットヲ印刷シ貴衆兩院議員其他有志ニ配布ス
- 一、同年三月二十六日銀座ニ於テ張作霖第二子帳學銘ヲ同志赤星其ノ他二、三名ニテ毆打負傷ス

五二

SP. 249

66

セシメ關係者送局サル

- 一、同年十一月十四日東京驛ニ於テ同志佐郷屋留雄ハ陸軍特別大演習陪觀ニ出發セントスル濱口首相ヲビストルニテ狙撃シ重傷ヲ負ハス
- 一、昭和六年十一月社長岩田愛之助ハ「最近ノ内外情勢ニ關スル雜感」ト題スル印刷物ヲ各方面ニ配布ス

其ノ他參考事項

- 一、現在ニ於テハ岩田愛之助ハ愛國青年聯盟、愛國新聞社ノ背後ニ在リテ活動ス

愛國皇民黨

事務所 少石川區指ヶ谷一四六番地  
創立 昭和三年  
系統 國家主義  
關係團體 黑龍會、縱橫俱樂部  
資金ノ出所 寄附金其ノ他  
幹部及主 會長―浦部武夫。松本清、中園武淳、小瀧正新、宮田貞吉  
ナル會員 數 目下會員ト稱スルモノナシ  
主義綱領

- 一、皇室中心主義ヲ稱ヘテ共產主義ヲ標榜スル徒輩ニ對シテハ絕對之レヲ排撃シ國體擁護ヲ以

五三

SP. 249

67

I-0726

テ目的トナス  
主ナル行動

- 一、昭和五年七月青山青年會館ニ於テ時局批判演說會ト稱シブラジル移民問題ニ關シ海外興業株式會社ノ糾彈運動ヲ計畫セルモ當局ノ注意ニ依リ中止
  - 一、昭和六年十一月芝公園ニ於ケル國民大會ニ參加ス
- 其ノ他參考事項
- 一、主幹者浦部武夫ハ日下神田三崎町滿蒙學校理事タリ

愛國勤勞黨

- 事務所 四谷區愛住町一三番地  
創立 昭和五年二月十一日  
系統 國家主義  
關係團體 新日本國民同盟  
機關紙 勤勞日本（月刊）  
資金ノ出所 主トシテ天野辰夫ノ出資  
幹部及主ナル會員 顧問―鹿子木員信。委員長―未定。中央委員―天野辰夫、赤神良讓、中谷武世、神永文三、綾川武治、太田耕造、小栗慶太郎。地方支部―長野―森本州平。新潟―小林仁左衛門。宮城―佐藤武雄。埼玉―宮本熊吉。青森―須田茂作。静岡―神谷銀

會員數  
主義綱領

次郎、横尾英敏。京都―福島佐太郎。和歌山―矢田行藏。兵庫―柴山滿、藤井湧吉。廣島―松浦保次郎、外六名  
東京地方約二、三百名

- 一、吾黨ハ天皇ト國民大衆トノ間ニ介在スル一切ノ中間勢力ヲ排撃シ一君萬民一家ノ本義ニ基キ搾取ナキ國家ノ建設ヲ期ス
- 二、吾黨ハ天皇政治ヲ徹底シ個人主義ヲ基調トスル諸般ノ組織ニ根本的ノ改革ヲ加ヘ産業大權ノ確立ニヨリテ全産業ノ國家的統制ヲ期ス
- 三、吾黨ハ農民大衆ト都市勤勞生活者トノ利害ノ調和ヲ圖ルト共ニ國民生活ノ農本還ヲ期ス
- 四、吾黨ハ資本主義ノ傀儡タル特權政黨ト國性ヲ無視セル無產政黨トニ鋭ク對立シ之カ克服ヲ期ス
- 五、吾黨ハ白人帝國主義ノ鐵鎖ヨリ有色民族ヲ解放シ人種平等資源衛平ノ原則上ニ新世界秩序ノ創建ヲ期ス

政策大綱

政治

- 天皇政治ノ徹底、議會政治ノ匡正、國防ノ整備、對外國策ノ振張ヲ以テ眼目トス
- 一、天皇政治ヲ徹底スル爲メノ立法行政諸制度ノ改廢
  - 二、華族ノ政治的並ニ經濟的特權ノ廢止

- 三、議院法ノ改正、貴族院ノ改革
  - 四、衆議院議員選舉法ノ改正—比例代表制度ノ採用、選舉義務制ノ實施、選舉被選舉資格ノ婦人ノ適用及ビ資格年齢ノ低下
  - 五、市町村制ノ改革—隣保制度ノ確立
  - 六、諸法規ノ改正—現行治安維持法等資本の特權擁護諸法令ノ廢止、國體擁護法ノ制定、瀆職罪背任罪ノ嚴罰、公序良俗義理人情ニ背反スル行爲ノ刑事罰制定、個人の利益擁護ヲ中心トセル金力萬能の惡法ノ改廢、職權濫用竝ニ冤罪ニ對スル國家賠償
  - 七、司法警察ノ獨立
  - 八、文官任用令及恩給法ノ改正
  - 九、國防ノ充實—國民皆兵ノ徹底、青少年訓練學生軍事教育ノ擴充、國家總動員施設ノ整備、戰死者遺族戰傷者家族ノ國家保護、廢兵ノ優遇
  - 一〇、世界政策ノ確立及之ニ必要ナル大調査機關ノ設置
  - 一一、滿蒙及東部西比利亞ノ經濟的竝ニ文化的開發
  - 一二、移植民事業ノ振作—集團移植民ノ獎勵、移植民教育ノ普及
  - 一三、國際聯盟規約ノ修正、亞細亞聯盟ノ實現促進
- 經濟
- 產業大權ノ確立、資本主義的自由競争ノ制遏、同產業ノ國家的統制ヲ以テ基調トス
  - 一四、產業大權發動ニ必要ナル諮詢機關ノ設置

五六

SP. 249

70

- 一五、全產業ノ國家的統制ニ必要ナル天皇直屬ノ調査機關ノ設置
- 一六、資本家大地主ニヨル土地兼併ヲ禁ジ自ラ耕作セザル土地ノ所有ヲ制限スル農地制度ノ制定、自作農小農民保護制度ノ確立
- 一七、稅制ノ根本的改革—相續稅、所得稅、資本金利子稅ニ於ケル高率累進稅ノ賦課
- 一八、高率累進財產稅、空地稅、高率奢侈稅ノ創設
- 一九、有閑稅、無兒稅、徵兵免役稅ノ創設
- 二〇、生活必需品ニ對スル消費稅ノ撤廢
- 二一、奢侈品ノ輸入制限乃至禁止
- 二二、米穀ノ國家管理、肥料ノ國營
- 二三、蠶業保險制度ノ創定
- 二四、最低賃銀制、最低俸給制竝ニ最高小作料制ノ制定
- 二五、信用組合ノ民衆化、勞働者農民小市民ノ爲メノ金融機關ノ設置
- 二六、主要食料品、主要被服材料ノ價格及家賃ノ公定
- 二七、商工業認可制ノ一般實施ニヨル自由競争ヲ制限、同業組合利益獨占ノ制壓
- 二八、株式會社重役賞與竝ニ配當制限ニヨル愛國積立基金制ノ創設
- 二九、發明ノ獎勵、發明者保護制度ノ擴充

社會

勤勞者ノ生活ノ保障、犧牲の公務奉仕者及ビ其ノ家族ニ對スル優遇、總シテ皇德ノ下ニ萬民平

五七

SP. 249

71

I-0726



- 等ナル社會ノ實現ヲ以テ骨子トス
  - 三〇、失業者ノ生活保障制度ノ制定
  - 三一、失業、疾病、老廢及炭害保險ノ制定
  - 三二、農民、勞働者及ヒ一般海上勤勞者ノ權益保護ヲ目的トスル組合法其ノ他諸規則ノ制定
  - 三三、俸給生活者並ニ被傭者保護ノ爲メノ法令ノ制定
  - 三四、徵兵其ノ他公務奉仕ニヨル失業及家族窮乏ニ對スル國家保護ノ實施
  - 三五、婦人人身賣買ノ禁止
  - 三六、不當ナル差別待遇ノ撤廢
  - 三七、住宅、日常生活品市場及ヒ百貨店ノ公營化
  - 三八、病院、藥局ノ公營化、村落ニ於ケル醫員駐在所ノ設置
  - 三九、毎朔、十五日及國祭日以外ニ於ケル飲酒ノ禁止
  - 四〇、神社ヲ中心トスル鄉村協同生活ノ促進
- 教育
- 日本精神ノ陶冶、國本思想ノ涵養、産業教育、技術教育ノ擴充ヲ以テ本旨トス
  - 四一、國本教育ノ徹底
  - 四二、義務教育ノ年限延長
  - 四三、中等學校、高等學校及專門學校制度ノ改革
  - 四四、大學制度ノ確立

- 四五、産業教育、技術教育、發明教育ノ普及奨勵
- 四六、教育文化施設ノ都市集中主義ノ打破
- 四七、教育養成施設ノ充實
- 四八、教職員ノ優遇

主ナル行動

- 一、昭和四年十月神田一ツ橋學生會館ニ於テ第一回黨組織準備委員會ヲ開催、出席者赤神良讓外十一名
- 一、同年十月二十六日同學生會館ニ於テ第二回準備委員會ヲ開催、出席者天野辰夫外七名
- 一、同年十月二十八日同學生會館ニ於テ第三回準備委員會ヲ開催、出席者天野辰夫外九名
- 一、同年十一月三十日及十二月二日ノ二日間明治神宮講會館ニ於テ黨組織第一回全國準備委員會開催、出席者中谷外二十二名
- 一、同年十二月八日本部員津久井龍雄、天野辰夫、中谷武世ノ三名ハ京都、奈良、大阪、廣島、和歌山、九州各地ヲ巡歴シ其ノ幹部ト協議ノタメ出席
- 一、昭和五年二月五日埼玉縣第二區ヨリ黨員宮本熊吉ハ黨公認トシテ衆議院議員ノ立候補ノ届出デヲナス
- 一、同年二月十一日紀元節ノ佳辰ヲトシ結黨大會開催ノ計畫豫定ナリシガ都合上無期延期トナリタル爲メ之レニ代ヘ明治神宮講會館ニ於テ結黨式ヲ舉行セリ、出席者中谷武世外二十九名
- 一、同年四月二十六日軍縮問題並ニ失業問題ニ關スル聲明書ヲ發表ス

- 一、昭和四年十二月二十五日福島佐太郎、伊地知義一ノ兩名ハ神奈川縣下鎌倉ニ靜養中ノ陸軍大將山梨半造ヲ訪問シ辭職勸告ヲ爲スベク面會ヲ求メタルモ拒絕セラレ勸告書ヲ提出シテ引揚ゲタリ
- 一、昭和五年五月十九日軍縮會議ニ列席セル財部全權歸京ニ當リ「倫敦條約破棄運動ヲ起セ」ト題スルビラヲ東京驛ホーム及九ビル七階ヨリ撒布セリ
- 一、同年九月十七日、十八日明治神宮講堂ニ於テ全國協議會ヲ開催セリ、出席者中谷武世外十二名
- 一、昭和六年三月十日「極東再戰ニ備ヘヨ」及「三月十日ハ愛國日ダ」ト題スルポスターヲ作成シ市内外要所ニ貼布又ハ撒布セリ
- 一、同年四月三日本部事務所ニ於テ懇談會ヲ開催セリ、出席者中谷武世外三十九名
- 一、同年五月二十日「草刈少佐ノ憤死ヲ犬死タラシメルナ」ト題スル印刷物約二千枚ヲ作成シ日本橋、日比谷、四ツ谷見附附近ニ於テ撒布セリ
- 一、同年十月二十日付「國際聯盟ヲ脱退シ滿蒙國策ヲ斷行セヨ」ト題スル印刷物約一萬枚ヲ作成シ黨支部及勤勞日本ノ讀者並ニ在郷軍人分會其ノ他軍部關係方面ニ發送シタル模様
- 一、同年十一月初旬頃ヨリ幹部天野辰夫、神谷文三、小栗慶太郎、中谷武世等下中彌三郎ノ主張セル國民社會黨準備會ニ參加新黨組織ニ奔走中

愛國勞働社  
事務所 東京市落合區下落合四丁目二、一九八 長澤方

創立 昭和六年十月十五日  
關係團體 錦旗會、産業奉還促進協議會  
機關紙 時々パンフレット並ニニュースヲ發行、愛國勞働(月刊) 休刊  
資金ノ出所 同志ノ據出  
幹部及主 主事―長澤九一郎。客員―森清人。代表社員―入澤吉次郎、長澤九一郎、山川鐵馬  
會員數 十名以內  
主義綱領

宣言

- 一、吾等ハ皇道ニ副ハス直譯的ノ模倣制度ニ反對ス
- 二、マルキシズムノ日本主義モ又日本主義ニアラズ故ニ我等ハ兩者何レニモ反對ス
- 三、階級闘争ハ資本主義トマルキシズムトノ衝突ニシテ斷シテ日本主義トマルキシズムトノ衝突ニアラス故ニ我等ハ階級闘争ヲ以テ日本主義ニ對スルマルキシズムノ抗議ト見タル過去ノ錯誤ヲ超ヘテ今ヤ何レニモ與セサルナリ我國土ヲ驅テ外國思想同志ノ修羅場ヲラシメントスル國賊資本主義、マルキシズム兩者ノ所謂階級闘争ニ對シテハ誓ツテ之レカ絕對克服ヲ宣言ス
- 四、資本主義承認ハ應テマルキシズム肯定ノ發階ナリ何レ我等ハマルキシズムヲ否定スルト同時ニ其ノ母體タル資本主義ヲモ強ク否定ス
- 五、吾等ハ經濟組織ノ變革ヨリ以上ニ政治ノ復古維新ニ重點ヲ置ク

I-0726

六、吾等カ日本主義ヲ高唱スル所爲其ノ日本人ナルカ故ニアラス實ニ日本主義ハ眞現ナリト信スルカ故ナリ

主ナル行動

一、組織後印刷物ヲ發行シタルノ外見ルベキ行動等ナシ

其ノ他參考事項  
一、主事長澤九一郎ハ元無政府主義ヨリ國家主義的思想ニ轉向シタルモノニシテ昭和五年十月同志ト共ニ國粹勞農同盟ヲ組織シタルガ同年五月尊皇急進黨ト改稱シ更ラニ愛國勞働社ニ改組シタルモノナリ

愛國青年聯盟

事務所 神田區金澤町一六番地 大澤方  
創立 昭和七年三月十五日  
系統 國家主義  
關係團體 愛國社、愛國學生聯盟  
機關紙 愛國新聞 (月三回)  
資金ノ出所 會費及有志寄附金  
幹部及主ナル會員 總務委員長—大澤米吉。常任總務委員—柳町茂道、大澤武三郎、上田幸作、松井秀雄、藤井邦人。總務委員—高田傳信、井上義夫、柴部右衛門、榮田三郎、大地春松、

瀧野正元

會員數 約二五〇名位

主義綱領

盟誓

一、吾等ハ純眞潑刺タル青年ノ立場ニ依リ犧牲殉國ノ精神ヲ以テ團結シ大日本帝國ノ國威ヲ發揚センコトヲ期ス

綱領

一、吾等ハ建國ノ本旨ニ則リ刻苦勉勵以テ人格ノ向上ヲ圖リ國家ノ忠良ナル臣民タランコトヲ期ス

二、吾等ハ欺瞞政治ヲ排撃シ非國家主義的思想ノ撲滅ヲ期ス

三、吾等ハ大陸積極政策ノ確立遂行ヲ期ス

四、吾等ハ常ニ愛國ノ眞髓ニ基キ祖國防衛ノ士タランコトヲ期ス

五、吾等ハ正義ニヨリ正シキ輿論ノ喚起ヲ期ス

主ナル行動

一、昭和七年三月十日上野明治製藥株式會社三階ホールニ於テ準備委員會ヲ開催シ結成大會舉行ニ關ス協議ヲ行フ處アリタリ

一、同年三月十五日於京橋區銀座西七丁目二番地國民新聞社講堂ニ於テ結成大會ヲ開催シ宣言、盟誓、綱領、規約等ヲ可決シタルガ會同者約三五〇名ニシテ閉會後林逸郎、岩田愛之助

等ノ講演アリ

- 一、同年五月二十一日午後七時三十分建白書ヲ作成シ齋藤首相邸ヲ訪問手交セリ
- 一、同年六月七日六十三議會ヲ目標トシテ農村救済請願運動ヲナス處アリ
- 一、同年七月四日入京セル國際聯盟調査員一行ニ對シ滿洲問題ニ關スル委員會ヲ開催セリ
- 一、同年八月二十四日聯盟員工藤秀顯、明部豊ノ兩名ハ衆議院傍聽人入口附近ニ於テ「開け吾等の要求を」ト題スルビラヲ約五、六十枚撒布セリ

其ノ他參考事項

- 一、城北支部 昭和七年四月十六日結成
- 二、神田青果市場支部 昭和七年五月二十三日結成(約三十名 支部長代理藤井邦人)

愛國法曹聯盟

事務所 麻布區六本木町二七番地

創立 準備中

關係團體 愛國學生聯盟、愛國社、愛國青年聯盟

資金ノ出所 會費

背後ノ人物 岩田愛之助

幹部及主

發起人 理事—○林逸郎、角田知良、兒玉信夫、○松村喜三郎、木下好太郎、齋藤重治、伊藤清、阿部直之、五十嵐治孝、福田秀一、草野正慶、○櫻村弘史、岡田金

六四

SP. 249

78

會員數 約二〇名 作、有賀成可、榎本均爾

主義綱領

主義

社會正義ノ擁護者ヲ以テ任スル在野法曹タル我等同志結成シテ起テ法律ノ權威ヲ失墜セシメ世相ヲ暗黒ナラシムル之等ノ陋習妄想ヲ排擊廓清シ崇高至純ナル日本精神ニ基キ凡ユル法律ノ解釋適用竝ニ改善ニ精進セントス斯クテ祖國ハ骨肉相食ム修羅場ヨリ救ハレ道義燦然生氣凜然タル共榮ノ樂土タルヲ得ヘク率テハ其ノ世界的大使命ヲモ成就スルコトヲ得ヘシ

綱領

- 一、現行法律ノ日本主義的解釋適用ヲ期ス
- 一、法律生活ノ日本主義的克服融合ヲ期ス

主ナル行動

- 一、昭和七年五月十三日九ノ内會館ニ於テ第一回發起人會ヲ開催意見ノ交換ヲ行フ
- 一、同年五月二十一日第二辯護士會館ニ於テ第二回發起人會ヲ開催理事及幹事ヲ互選シ(幹事ハ實行機關)趣意書、綱領、規約等ノ起草ヲ林逸郎ニ一任セリ
- 一、同年八月二十一日日比谷公園松本樓ニ於テ總會ヲ開催ス、出席者十一名

一心會

事務所 澗野川區田端一九五番地 内藤方

六五

SP. 249

79

I-0726

創立 大正六年三月  
 系 統 國家主義  
 機關紙 一心（不定期）廣刊  
 資金ノ出所 有志ノ寄附  
 幹部及主 總裁―陸軍中將楠瀬幸彦。會長―欠。總務―増田寛之助、石橋秀夫。理事長―島田  
 ナル會員 忠兵衛。幹事長―内藤貞造  
 會員數 五〇名位  
 主義綱領  
 一、統一指導ノ團體的偉力ニ依リ動搖セル我國民思想ノ育成ヲ期シ皇室中心主義ニ依リ實踐窮  
 行ノ續ヲ舉ゲントスルモノナリ  
 主ナル行動  
 一、特記スベキヲ以テ記事省略  
 其ノ他參考事項  
 一、目下有名無實ノ状態ニアリ  
 維新俱樂部  
 事務所 麴町區内幸町大阪ビル四階假事務所  
 創立 準備中

SP. 249

80

系 統 國家主義  
 關係團體 大日本生産黨、日協  
 資金ノ出所 有志ノ寄附  
 幹部及主 津久井龍雄、兒玉譽士夫  
 ナル會員 數 計畫中ニシテ目下會員トシテ目スベキ者ナシ  
 主義綱領  
 一、昭和維新ニ何等カノ關心ヲ持ツ同志ガ自由ニ寄り合ツテ茶ヲ喫シタリ雜談ヲ交ハシ個人的  
 ニ知り合ヒ大同團結ノ前提トナスヲ目的トス  
 主ナル行動  
 一、昭和七年二月下旬維新俱樂部設置趣旨、規約等ノ印刷物ヲ作成シ都下各國家主義關係者ニ  
 配布シタル外特記スベキ行動等ナシ  
 其ノ他參考事項  
 一、本俱樂部ハ事實上兒玉譽士夫個人ノ計畫ニ係ルモノニシテ組織擴大ノ見込薄シ、其ノ後行  
 動見ルベキモノナク獨立青年社代ツテ組織セラレタルモノノ如シ  
 關東國粹會本部（大日本國粹會關東本部改稱）  
 事務所 麴町區内幸町二ノ四虎ノ門ビル第二十七號室  
 創立 大正八年十月十日（昭和五年一月十八日改稱）

SP. 249

81

I-0726

系 統 國家主義(國粹主義)  
機關紙 會報(月刊)  
資金ノ出所 幹部其ノ他有志ノ寄附  
幹部及主 總裁―子爵東園基光。顧問―青木信光、牧野忠篤、井上清純、高山公通、梅小路定  
ナル會員 介、堀田正恒。總長―木田伊之助。理事長兼幹事長―梅津勘兵衛。理事兼副幹事長  
―金井米吉。理事―倉持直吉、鈴木榮太郎。理事兼評議員長―篠信太郎。理事兼廣  
張委員長―中村三吉。理事兼常務幹事―松本清太郎、小島長治郎、三浦繁次郎、平  
松兼三郎

會 員 數 會員五萬ト稱ス(關八州ニ支部十七アリ)  
主義綱領

- 一、本會ハ一意專心皇室中心主義ニ結束シ益々實行的威力ヲ蘊蓄スルト共ニ最モ其ノ行動ヲ慎  
重ニシ我國體ヲ擁護シ其ノ精華ヲ發揚スル爲メ好機ニ投シテ全力ヲ傾注センコトヲ期ス
  - 二、本會ハ政黨政派ニ超越シテ嚴正批判ノ位置ニ立脚シ苟モ我國體ノ基礎ヲ搖カシ道德ノ淵源  
ヲ危クスル一切ノ事相ヲ剷除センコトヲ圖ルベシ
  - 三、本會ハ現時ノ世態ニ鑑ミ進ミテ社會的正當防衛ニ當リ誠實ナル公論正義ヲ援護シ其ノ健全  
ナル發達ニ貢獻センコトヲ努ムベシ
- 主ナル行動
- 一、昭和二年十二月野田勞働爭議ニ際シ本會常務幹事倉持直吉ハ野田町出身ナル關係ニテ爭議

調停ニ入ラントシタルガ爭議團側之レニ應ゼザリシタメ爭議團本部タリシ野田劇場ノ道具一  
式ヲ金三千五百圓ニテ買受ケ之レガ明渡シヲ要求シ會員多數ヲ動員セントシ形勢不穩ノ點ア  
リタルタメ警戒シ日本刀其ノ他ノ武器ヲ押收シ阻止シタリ

- 一、昭和七年一月ヨリ二月ニ至ル大日本相撲協會對新興力士團ノ紛爭問題ニ關シ之レガ調停ニ  
入リタルモ新興力士團側ノ入ルル處トナラザルヲ以テ面目問題ヲ起シ一時兩者ノ間ニ相當險  
惡ナル情勢見ヘタルモ當應幹部ノ斡旋ニヨリ解決セリ
- 一、同年六月一日總長木田伊之助ハ内閣更迭ニ付齋藤内閣成立ニ關シ齋藤内閣ニ對スル不安ト  
失望ノ言ヲ洩シタルモノノ如シ
- 一、同年九月總裁子爵伊藤祐弘死亡ニ依リ後任總裁物色中顧問東園基光ヲ總裁ニ推戴スルコト  
ニ決シ來ル十月下旬推戴式ヲ舉行スベク準備中
- 一、同年九月總長木田伊之助ハスポーツニ關シ鳩山文相ノ態度ニ關シ不滿ノ意ヲ洩ラセリ
- 一、同年九月總長木田伊之助ハ第六十三議會閉會後議會ニ關シ政黨ノ腐敗墮落ノ言ヲ洩ラセ  
リ

恢弘會

事務所 東京市九段偕行社  
創立 大正十三年四月三日  
機關紙 會報(月二回)  
幹部及主 會長―陸軍大將大井成元。副會長―海軍中將石橋甫、陸軍中將筑紫熊七。常務理事  
ナル會員

I-0726

海軍少將大山巖之介、陸軍中將高田豊樹、海軍少將南郷次郎、陸軍計監八木籬、  
海軍中將佐藤卓藏、陸軍中將兩角三郎  
會 員 數 二千五百名 (豫後備役將校)

主義綱領

- 一、明治天皇ノ御遺徳ヲ顯揚シ今上陛下ノ聖旨ヲ奉體シテ國民精神ヲ作興シ時弊ヲ矯正シ以テ國體ノ精華ヲ發揚センコトヲ期ス
- 一、教育國防等ニ關スル事項ヲ討究シ以テ國運ノ發展ニ資センコトヲ期ス

關 東 國 士 團

事 務 所 日本橋箱崎町四ノ一  
創 立 大正十四年  
幹 部 及 主 團長―熊澤今太郎。總長―鈴木宗吾。顧問―檜原正章  
ナ ル 會 員

主義綱領

- 一、皇室ヲ中心トシテ忠節ヲ盡シ不信不忠ノ所爲ナキコト
- 一、長上ヲ敬ヒ等輩ヲ慈シミ粗暴倨傲ノ所爲アルヘカラサルコト
- 一、國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ苟モ干犯スルカ所爲アルマシキコト
- 一、武士道ヲ尊ヒ正義ヲ重シ邪惡ヲ挫キ恐怯ノ所爲アルヘカラサルコト
- 一、道徳ヲ修メ業務ヲ精勵シ質素ニシテ浮華墮弱ニ流レサルコト

- 一、是非ヲ辨ヘ血氣ノ小勇ヲ誇リ鬪争ヲ好ミ世人ノ厭忌ヲ來ス所爲アルマシキコト

改 造 日 本 社

事 務 所 日本橋區江戸橋二ノ七  
創 立 昭和六年四月  
系 統 國家主義  
關 係 團 體 大日本生産黨、大日本青年同盟  
機 關 紙 改造戰線 (月刊)  
資 金 ノ 出 所 機關紙收入  
幹 部 及 主 顧問―内田良平、松永材。相談役―吉田益三。社長―八幡博堂。主幹―永富以徳。  
ナ ル 會 員 理事―鈴木善一、川崎清司、小澤董次、千葉直太郎、白井爲雄、高橋輝  
會 員 數 約二〇名位  
主 義 綱 領  
一、一定ノ主義綱領等ハ掲ケサルモ全日本主義運動ノ全國的統一ヲ計リ大日本生産黨内部ノ清  
黨運動ニ資スル目的ヲ以テ組織セラレタルモノノ如シ  
主 ナル 行 動  
一、毎月一回 (二十日) 機關紙「改造戰線」ヲ發行シテ主義ノ宣傳ヲ爲スノ外目下特記スベキ  
行 動 ナシ

SP. 249

85

七一

SP. 249

84

七〇

I-0726

一、機關紙第十二號(昭和七年三月二十日發行)？ 學生版ヲ増刊シ全日本主義學生運動ノ全國的統一ヲ計ルコトトセリ  
一、昭和七年四月「本社創立一週年に際して」ト題スル印刷物ヲ發行  
其ノ他參考事項  
一、本社ハ全日本主義運動ノ全國的統一ヲ計ル目的ノ下ニ大日本生産黨及大日本青年同盟ノ一部ヲ以テ組織セラレタルモノナリ

七二

行 地 社

事務所 麻布區宮村町三四番地 狩野敏方  
創立 大正十四年二月十一日  
系 統 國家主義(日本主義)  
關係團體 神武會、大日本生産黨、日本國家社會黨、洛北青年同盟  
機關紙 日本(月刊)(神武會機關紙「日本」ト合併シ廢刊)  
資金ノ出所 主幹者出費ノ外寄附金其ノ他  
幹部及主 社長―法博大川周明。副社長―村上德太郎。狩野敏、安岡正篤、千倉武夫、松延繁  
ナル會員 次、金内良輔、平田九野、横山初美、大石茂、藪本正義、齋藤正義、柳原文次郎、山本泰久、中川祐、鈴木茂、小野長右衛門  
會員數 同人ト稱スルハ三十名位

SP. 249

86

主義綱領

- 一、維新日本ノ建設
- 二、國民的理想ノ確立
- 三、精神生活ニ於ケル自由ノ實現
- 四、政治生活ニ於ケル平等ノ實現
- 五、經濟生活ニ於ケル有愛ノ實現
- 六、有色民族ノ解放
- 七、世界ノ道義的統一

主ナル行動

- 一、大正十三年大川周明主宰ノ下ニ行地會ヲ設置シ日本精神ノ研究ヲ始メタルガ大正十四年二月行地社ト改稱シ機關紙「日本」ヲ發行スルコトトセリ當時ノ行地社幹部ハ大川周明、安岡正篤、笠木良明、綾川武治、島野三郎、中谷武世、松岡繁治、柳瀬薫ナリ
- 一、大正十五年二月行地社本部ニ於テ松井等、大川周明、安岡正篤等ハ參謀將校數名ト共ニ滿蒙政策竝ニ行地運動ニ付協議セリ
- 一、同年九月島野三郎、滿川龜太郎、村上德太郎、綾川武治ノ四名ハ宮内省怪文書事件發生ト相前後シテ退社シタルモノナリ
- 一、同年十月十五日日本部ニ於テ大川周明以下會員十八名出席、參謀本部板垣中佐ヨリ「支那ニ就テ」ノ講演ヲ聽ス

七三

SP. 249

87

I-0726



- 七四
- 一、昭和五年四月二十七日機關紙「日本」發行、名義人津田光藏ハ狩野敏ニ變更ス
  - 一、昭和六年六月二十二日九ノ内東洋ビルニ於テ時局懇談會ヲ開キ出席者百名、參謀本部附砲兵中佐橋本欣二郎「最近ニ於ケルソヴエツト・ロシヤ事情」ト題シ講演ヲ爲ス
  - 一、昭和七年三月一日右同所ニ於テ出席者約八十名、參謀本部花谷少佐ノ「新滿洲國家ニ就テ」ト題シテ講演會ヲ開催ス

勤王聯盟

- 事務所 四谷區愛住町七二番地 鈴木勇方  
創立 大正十五年一月十六日  
系統 國家主義 (國粹主義)  
機關紙 勤王 (月刊)  
資金ノ出所 會費及有志ノ寄附  
幹部及主ナル會員 會長—陸軍中將男爵菊地武夫。副會長—陸軍中將佐藤清勝。顧問—子爵小笠原長生  
陸軍中將堀内文次郎。理事—菅澤重雄、豊田紫識。主事—鈴木勇。監事—吉田勝造、鈴木庸之助  
會員數 約五千名 (主トシテ地方在郷軍人青年團等)  
主義綱領 一、國民思想ノ惡化防止團體擁護、忠君愛國心涵養ノ爲メ天皇中心主義ヲ國民ニ宣傳鼓吹スル

SP. 249 88

- ヲ以テ目的トス
- 二、會員ハ忠君愛國ヲ主眼トスル天皇中心主義ヲ固守シテ天皇及皇室ヲ尊敬シ苟クモ不純思想ヲ抱カサルコト
  - 三、會員ハ諸詔勅ヲ遵奉シ一致協力以テ國運發展ヲ期スルコト
  - 四、會員ハ日本魂ノ所有者トシテ如何ナル誘戒ニ遭フモ不純思想ニ染マス身命ヲ惜マス日本國體ヲ擁護スルコト
- 主ナル行動

- 一、大正十三年十一月五日以降二十九日マデ千葉縣下ニ於テ十個所十六回ノ講演ヲナス
  - 一、大正十四年四月在京知名士ニ「愛國ノ士ニ告グ」ト題スル檄文ヲ郵送ス、本團體ハ創立以來都下及千葉、茨城、群馬其ノ他近縣ニ思想善導講演會、教育映畫等ヲ開催シツツアリ
  - 一、昭和七年八月「中農村疲弊ノ原則ト救済私案」ト題スルパンフレット約一千部作成シ貴族院關係及地方有力者ニ配布セリ
- 其ノ他參考事項

- 一、本團體ハ教化團體ナリ
  - 一、現役軍人及政友會トモ關係アリ
- 事務所 麻布區本村町一五〇番地 友野直二方

七五

SP. 249

89

I-0726

創立 昭和二年二月十一日  
系統 國家主義  
資金ノ出所 自己出費其ノ他  
幹部及主 理事長―友野直二。理事―伊喜見禎吉、小山勝清、仁木幸太郎、益田忠雄、坂本直、  
ナル會員 林末五郎、横田彌作、宮川守喜、加藤亮太郎、池畑十太郎、北直藏、川添脩平、後  
藤一男  
會員數 約五〇〇名ト稱ス  
主義綱領

我日本ハ國ヲ肇ムルコト宏遠ニシテ徳ヲ樹ツルコト新ナリ故ニ吾人ハ謔ノ天ノ明命ニ顧ミ盛  
ニ維新ノ經綸ヲ行ヒ進ンテ大義ヲ四海ニ布キ以テ人類ノ進歩ト光榮トヲ顯揚スヘク左ノ綱領  
ニ依リ邁進スルモノトス  
一、傳統ヲ尙ヒ天業ヲ翼贊ス  
二、義ニ據リ道ニ遵ヒ維新ノ經綸ヲ行フ  
三、學ヲ勉メ職ヲ勵ミ俗ヲ替スルモ風ヲ改メス  
主ナル行動

一、昭和二年二月十一日麻布區富士見町天現寺ニ於テ發會式ヲ舉行シ續イテ演說會ヲ開催セリ  
一、昭和三年六月七日「内閣總理大臣田中義一閣下ニ呈ス」ト題シ優待問題ニ關スル勸告狀ヲ  
印刷シ貴衆兩院議員及各大臣並ニ會員ニ郵送セリ

七六

SP. 249

90

一、同年九月六日麻布廣尾亭ニ於テ「ダンス撲滅麻布區民大會」ヲ開催セリ  
一、昭和四年四月二十八日「建國精神ノ歴史の觀察」ト題スルパンフレットヲ出版セリ  
一、昭和五年六月八日芝増上寺ニ於テ航空殉難者追悼會ヲ開催セリ  
一、昭和六年四月舊邦社理事友野直二名義ヲ以テ「我國難ハムツソリニ一ノ出現ニ依リ救ハレ  
ルカ」云々ノ記事ヲ公論社發行ノ「國民ハ叫ブ」ト題スル雜誌ニ寄稿セリ

錦 旗 會

事務所 牛込區喜久井町四番地 遠藤方  
創立 昭和二年五月十一日  
系統 國家主義（純正日本主義）  
關係團體 尊皇急進黨、産業奉還促進協議會  
機關紙 日本思想（月刊）  
資金ノ出所 遠藤個人ノ出費  
幹部及主 會長―遠藤友四郎。日野庄太郎  
ナル會員 讀者數七〇〇名ト稱ス  
主義綱領  
一、我等ハ吾日本現津神ニシテ慈父ナル上御一人ト臣子ニシテ赤子タル下萬民トノ神在ラナル  
合一體タルコトヲ信ス

七七

SP. 249

91

I-0726

二、吾等ハ吾神威日本ノ君ト臣ト國土トノ即チ不離ニ於ケル天壤無窮性ト之レヲ抱懷シ表現セ  
ル吾民族祖先ノ思想的精神偉大性ト而シテ是等ヲ基トシテ優越シ來レル民族國家獨得ノ歴史  
的個性ヲ信ス他ハ省略

七八

主ナル行動

- 一、昭和二年五月十一日明治神宮ニ於テ發會式ヲ舉行ス
- 一、昭和三年五月十八日青山會館ニ於テ殉國演說會ヲ開催シ入場者百五十名アリ、野尻祐通、大森有聲、三浦延治、高橋常雄、田尻隼人、渥美勝、遠藤友四郎等日本主義思想ノ講演ヲ爲シタリ
- 一、昭和五年五月統帥權問題ニ關シ「明白ナル統帥大權ノ干犯」ト題スル小冊子ヲ作成シ各方面ニ發送シタリ
- 一、其ノ他純正日本主義ヲ標榜シ月刊雜誌ヲ發行スル時出入ノ同志ニ日本主義思想ヲ普及セント努メ居ルモ一部ノ者ヨリハ偏狹者トシテ取扱ハレ居ル傾向アリ
- 一、昭和七年五月二十一日「政黨禁止ノ勅令煥發シ仰キ翹望ス」ノビラ一萬枚ヲ軍部及學校方面ニ配布セリ

金雞學院

事務所 小石川區原町一三番地  
創立 昭和五年十月三十日  
關係團體 國維會、新日本同盟

機關紙 時々パンフレットヲ發行、金雞會報（月刊）  
資金ノ出所 有志據出

幹部及主ナル會員

院長 酒井忠正。學監 安岡正篤。理事長 東方壽。教官 菅原兵治。學生監 野口靜雄。農務主任 渡邊繁夫。名譽幹部 和田彦次郎、町田辰次郎、佐藤慶太郎、池田清、赤池濃、後藤文夫、江口定條、關屋貞次郎、麻生義之助、鶴見左吉雄、松本學

會員數 一萬二、三千名ト稱ス

主義綱領

- 一、儒教ヲ中心ニ東西聖賢ノ學ヲ修ム
- 一、特ニ日本民族精神並ニ國體ト治道トヲ研究シ社禮ノ士ヲ養フ
- 一、政治經濟ノ代用ヲ習ヒ世界ノ情勢ヲ講究ス

主ナル行動

最近ノ動靜

同學院ニハ右左兩翼思想運動者等相當多數出入シツアルト共ニ現役少壯軍人等モ出入シツアリ  
一、學監安岡正篤ハ朝鮮地方視察ト稱シ七年六月十六日東京發京城方面ニ旅行シ同地ニ國維會ノ支部ヲ設置シタル模様ニテ七月上旬歸京セリ  
一、昭和七年七月二十日午後七時ヨリ小石川區音羽町六ノ一四殉國會本部ニ於テ學監安岡正篤

七九

SP. 249

93

SP. 249

92

I-0726

ハ「風俗ト時勢」ト題スル講演會ヲ爲セリ  
其ノ他參考事項

- 一、埼玉縣比企郡菅谷村ニ山林田畑二十町歩ヲ有スル菅谷ノ莊ナル農場（農士學校）ヲ設ケ學院ノ道業ヲ修メシメ自治ノ風習ヲ訓スル目的ヲ以テ二ヶ年修業テ約三十名ノ生徒ヲ起居センメツツアリ、之等ハ卒業後歸農シ農村ノ中堅青年トナル
- 一、學院内ニハ東洋思想研究所ヲ設ケ陸王ノ學及廣ク儒教考莊ノ思想ヲ研究シツツアリ

勤皇維新同盟

- 事務所 深川區古石場町四ノ五 石井方  
創立 昭和七年二月十一日  
系統 國家主義  
關係團體 勤王聯盟、大命會、吾和會、愛國勤勞黨  
機關紙 日本主義評論（月刊）名古屋支部ニ於テ發行  
資金ノ出所 會費及寄附  
幹部及主 總理―日大教授永井了吉。副總理―田尻隼人、三浦大寬。理事長―欠。書記長―丸川長次郎。會計―長岡理泉。理事―大森一聲、石渡山達、綿引美佐男、丸川長次郎、長岡理泉、石井常吉、市尾康隆。名古屋―三浦延治  
會員數 同盟約二、三百名ト稱スルモ事實ハ五、六名位

主義綱領

- 一、我等ハ建國勲業ノ第一主義ニ立脚シ歴史ニ依ル維新ノ興國運動ニ直進スル
- 二、我等ハ明治維新ノ第二次連結トシテ民主的金融機關ノ返上奉還ヲ絶叫スル
- 三、我等ハ大化改新ノ精神ニ復古シ民有生産ノ皇本の統制並ニ政治經濟文化等萬般ノ日本の大完成ヲ待望スル

主ナル行動

- 一、昭和六年十一月十五日夜本郷區富士前町八四番地長岡理泉方ニ於テ發起人會ヲ開催
- 一、同年十一月二十七日夜前同所ニ於テ第一回創立準備協議會ヲ開催シ委員ノ決定ヲ爲セリ
- 一、昭和七年一月二十六日府下千駄ヶ谷町原宿二三〇田尻隼人方ニ於テ第二回協議會ヲ開催シ併セテ新年宴會ヲ催セリ
- 一、同年二月十一日夜府下青山穩田一九一番地敬愛會館ニ於テ創立總會並宣誓式ヲ舉行シ宣言、綱領、規約ノ決定及役員ノ發表ヲ爲セリ
- 一、同年二月十三日大義名分論ト題スルパンフレット約三萬部ヲ印刷シ夫レ々關係各方面ニ配布セリ

其ノ他參考事項

- 一、事實上ノ主幹者石井常吉ハ元建國會員ニシテ昭和五年五月十三日帝國議場内ニ「失業者ニパント職ヲ與ヘヨ」ト題スルビラヲ撒布シ罰金三十圓懲役三ヶ月（但シ三年間執行猶豫）ノ判決アリ